

令和8年度着手

団 体 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

坂 下 地 区 農 業 用 用 排 水 施 設 事 業

【 ため池等整備事業（防災重点緊急整備型） 】

福 井 市

## 目 次

第 1 章 目 的	1
第 2 章 地 域 及 び 地 積	1
第 1 節 地 域	1
第 2 節 地 積	1
第 3 章 現 況	1
第 1 節 気象及び海象	1
1 . 一般気象	1
2 . 特殊気象	2
3 . 海 象	2
第 2 節 土地状況	2
1 . 地形、土壌及び侵食の程度	2
2 . 土地分類	3
3 . 土地利用の状況	3
4 . 土地所有の状況	3
第 3 節 水利状況	4
1 . 用水状況	4
2 . 排水状況	7
3 . 河川状況	9
第 4 節 道路概況	10
1 . 道路概況	10
2 . 主要道路一覧表	11
第 5 節 地域農業の概況	11
1 . 産業別就業人口	11
2 . 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	11
3 . 動力農機具及び主要家畜頭数	11
4 . 主要作物作付け状況 農業の動向	12
第 6 節 地域環境の概況	12
第 4 章 一般計画	13
第 1 節 事業計画の要旨	13
1 . 要 旨	13
2 . 事業別面積	13

第2節	営農計画及び土地利用計画	13
1.	営農計画の概要	13
2.	土地利用区分	13
3.	作付方式	14
4.	生産計画	14
5.	労働改善計画	15
6.	級地別土地利用区分	15
7.	土地配分計画	15
第3節	用水計画	16
1.	計画基準年	16
2.	計画かんがい方式	16
3.	計画用水系統	16
4.	計画用水量	17
5.	水源計画	18
第4節	排水計画	19
1.	計画基準雨量	19
2.	計画排水方式	19
3.	計画排水系統	19
4.	計画排水量	20
5.	排水対策	20
6.	たん水検討	20
第5節	道路計画	21
1.	道路及び索道	21
2.	路線配置図	21
第6節	農用地造成計画	22
1.	農用地造成計画	22
2.	土壌改良	22
第7節	洪水調節計画	22
1.	計画基準雨量	22
2.	計画洪水量及び調節量	22
3.	貯水池	22
4.	洪水調節検討	23
5.	管理計画	23
第8節	干拓計画	23
第9節	農用地整備計画	24
1.	区画整理	24
2.	暗渠排水	25
3.	客土	25
4.	農地保全	25

第10節	老朽ため池改修計画	26
1.	洪水吐改修計画	26
2.	堤体補強計画	26
3.	取水施設改修計画	26
第5章	主要工事計画	27
第1節	用水施設	27
1.	貯水池	27
2.	頭首工	27
3.	揚水機	27
4.	用水路	27
5.	その他かんがい施設	27
第2節	排水施設	28
1.	排水水門	28
2.	排水機	28
3.	排水路	28
4.	その他排水施設	28
第3節	道路及び索道	29
1.	道路	29
2.	索道	29
第4節	農用地造成	29
1.	農用地造成	29
2.	土壌改良	30
第5節	洪水調整施設	31
1.	貯水池	31
2.	頭首工及び導水路	31
第6節	干拓施設	31
1.	堤防	31
2.	潮止め	31
3.	付属施設	31
4.	埋立	32
第7節	農用地整備施設	32
1.	区画整理	32
2.	暗渠排水	32
3.	客土	33
4.	除礫	33
5.	農地保全	33

第 8 節 老朽ため池改修施設	34
1 . 貯水池	34
2 . 堤体補強施設	34
第 6 章 附帯工事計画	34
第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期	34
第 8 章 環境との調和への配慮	34
第 9 章 換地計画の概要	35
第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	35
第 2 節 換地区の設定	35
1 . 換地区の名称、所在、面積	35
2 . 換地区を設定する理由	35
第 3 節 換地計画樹立の基本方針	35
1 . 従前の土地の地積の基準	35
2 . 用途別予定地積	36
3 . 農用地集団化の方針	37
4 . 非農用地の換地方法	37
第 4 節 土地の評価及び清算の方法	37
1 . 評価の方法	37
2 . 清算の方法	37
第 5 節 換地計画樹立の年度計画	37
第 6 節 換地処分の特則	38
第 10 章 事業費の総額及び内訳	39
第 11 章 効 用	40
第 12 章 関連する事業	40
第 13 章 現況・計画平面図	40

## 第1章 目 的

本地区のため池は3つあり、坂下第1、第1-2、第2と造成年が不明だが、2.4haの農地をかんがいしている。

本地区のため池は、令和2年10月に施行された防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法に基づく防災重点農業用ため池に指定されており、この法律に基づいて実施した地震・豪雨耐性評価の調査により、基準値を下回る結果となっている。ため池堤体が常時・地震時における安定性に欠け、堤体崩壊の危険が極めて高い状態である。

よって、本事業により安全性に欠けた不安定なため池の改修を実施し、営農労力と維持管理の低減を図るとともに、農業生産の維持、農業経営の安定および地域住民の暮らしの安全の確保を図り、災害に強い農村づくりを目指す。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農業用排水施設	福井市 坂下町 地係

### 第2節 地 積

令和7年11月

(第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農業用排水施設	福 井 市	2.4	—	—	—	—	2.4	
計		2.4	—	—	—	—	2.4	

## 第3章 現 況

### 第1節 気象及び海象

#### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	福井観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H23年～R2年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		23.8	8.9	15.1	
降水量	平均 (mm)	194	207	202	
	基準年 (mm)	—	—	—	
降水日数	平均 (日)	11	17	15	
	基準年 (日)	—	—	—	
根雪期間		12月～	3月	日間	
無霜期間		4月～	11月	— 日間	
最多風向		S (南)	最大風速	21.8 m/S	H30.9.4

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 福井観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間 H 3年～R 2年																
最大日雨量 (mm)	198	H16. 7. 18	1/17	162	H18. 7. 18	1/22	144	H7. 7. 3	1/11	138	H25. 7. 29	1/9	134	H24. 9. 6	1/8	
最大時間雨量 (mm)	75	H16. 7. 18	1/61	63	H21. 8. 2	1/17	63	H24. 9. 6	1/17	55	H25. 7. 13	1/10	55	R2. 9. 4	1/10	
最大4時間雨量 (mm)					記録なし											
最大連続雨量 (mm)	567	H7. 7. 1 ～H7. 7. 22	1/61	534	H18. 7. 11 ～H18. 7. 27	1/45	350	H25. 11. 15 ～H25. 12. 11	1/8	347	H30. 9. 3 ～H30. 9. 18	1/8	341	H26. 8. 2 ～H26. 8. 30	1/7	
最大連続干天日数 (mm)	34	H30. 7. 13 ～H30. 8. 15	1/47	32	H6. 7. 8 ～H6. 8. 8	1/32	29	H9. 8. 8 ～H9. 9. 5	1/17	25	H22. 7. 16 ～H22. 8. 9	1/8	23	H14. 5. 19 ～H14. 6. 10	1/5	

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名 観測期間	年～年	既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位	備考	
実測値					該	当	事	項	な	し

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高 (m)		備考		
		傾斜区分	1/1000以下	1/1000 1/100	1/100 1/20	1/20 1/11.5	1/11以下	計	3°以下	3° 8°	8°～15°			15° 20°	20°以上	計		最高	最低
農業用排水施設	面積 (ha)	—	—	2.4	—	—	2.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	67.6	41.7	
	比率 (%)	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
計	面積 (ha)	—	—	2.4	—	—	2.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	67.6	41.7	
	比率 (%)	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—			

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壌 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)		備考
	色	腐植層	レキ層	酸化沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 及びグライ層	堆積様式	母材	事 業 名		
					表土	下 層 土					農業用排水施設	計	
						一層	二層						
D-32	Y/G	なし	なし	雲状有	粘質	粘質	強粘質	あり	沖積世	非固結水成岩	2.4	2.4	
計											2.4	2.4	

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ侵食程		備考
		0%	0%～25%	25%～50%	50%以上	0mm	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)	該 当 事 項 な し										
	比率 (%)	該 当 事 項 な し										

2. 土地分類

(第4表-2-1)

市町村名	農 用 地 造 成											計 (ha)	備 考	
	一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地				
		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)			
														※は傾斜以外の要因によるもの

市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
						該 当 事 項 な し

3. 土地利用の状況

令和7年11月 (第4表-3)

事業名	市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農業用排水施設	越前市	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	
合 計		2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	

4. 土地所有の状況

令和7年11月 (第4表-4)

事業名	所 有 別 区 分	民有地	国有地	県有地	市町村	土地改良区	計	備 考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
農業用排水施設	面 積 (ha)	2.4	-	-	-	-	2.4	
	受 益 者 数 (人)	7	-	-	-	-	7	
	筆 数 (筆)	20	-	-	-	-	20	
	権 利 関 係	-	-	-	-	-	-	
	備 考							
合 計	面 積 (ha)	2.4	-	-	-	-	2.4	
	受 益 者 数 (人)	7	-	-	-	-	7	
	筆 数 (筆)	20	-	-	-	-	20	
	権 利 関 係	-	-	-	-	-	-	
	備 考	-	-	-	-	-	-	

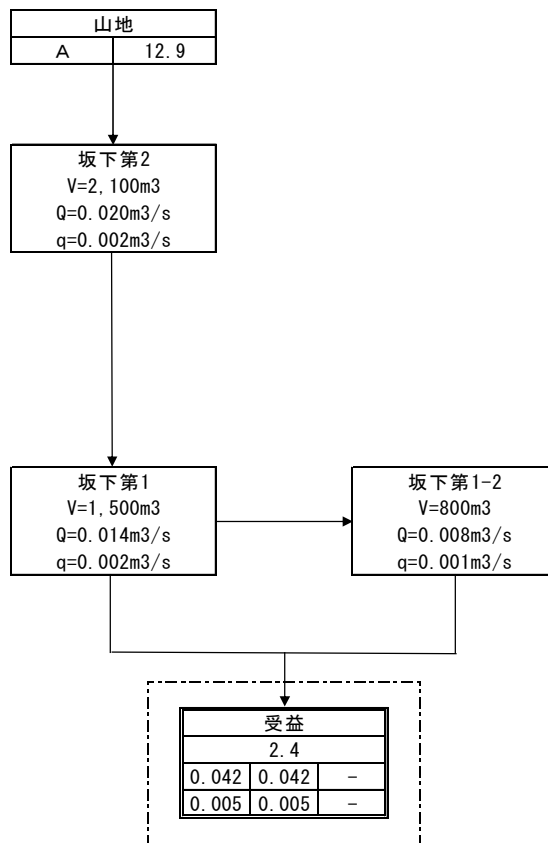
第 3 節 水利状況

1. 用水状況

本地区の用水は溪流水を水源としており、不足分はため池を活用し、パイプライン（一部開水路）により受益地まで送水して

いる。

(1) 現況用水系統



凡 例			
地区内			
(イ)			
(ロ)			
(ハ)	(ホ)	(ト)	
(ニ)	(ヘ)	(ト)	
地区外			
(イ)			
(ロ)			
(ハ)	(ホ)	(ト)	
(ニ)	(ヘ)	(ト)	
(イ)	(イ) 流域面積		
(ロ)	(ロ) 代掻期流量		
(ハ)	(ハ) 普通期流量		

(2) 用水施設  
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計	水利権	その他		延べ 取水量 m³/s	備考		
		500ha以上		50~100ha		50ha未満				箇所	ha			箇所	m³/s
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農業用排水施設	貯水池	-	-	-	-	3	2.4	3	2.4	-	-	-	0.042		
	井 堰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	自 然 取入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	計	-	-	-	-	3	2.4	3	2.4	-	-	1	-	0.042	
合 計	-	-	-	-	3	2.4	3	2.4	-	-	1	-	0.042		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は更新年	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
井 堰	-	-	-	-	-	-		
自 然 取入口	-	-	-	-	-	-		
揚水機	-	-	-	-	-	-		
用水路	-	-	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-	-	-		
計	3	2.4						
合 計	3	2.4						

(3) 用水に関する被害状況  
 (ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均 減産量		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量(t)	
				平均(m <sup>3</sup> /s)	基準年(m <sup>3</sup> /s)	平均(千m <sup>3</sup> )	基準年(千m <sup>3</sup> )			
				該 当 事 項 な し						
	計									
合	計									

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積(ha)	水 温 (°C)		水 質	被 害 量(t)	備 考
			最 高	最 低			
			該 当 事 項 な し				

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設	公 共 施設	家 屋 その他	計	
農業用 排水 施設	2.4	-	-	2.4	-	10,881	21,370	60,663	188,195	281,109	
合計	2.4	-	-	2.4	-	10,881	21,370	60,663	188,195	281,109	

2. 排水状況

該 当 事 項 な し

(1) 排水系統

該 当 事 項 な し

(2) 排水施設  
(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
			500ha以上		100~500ha		100ha未満		箇所	ha			
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合計													

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合計									

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況(ha)						平均減産量		備考
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
								乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均													
			基準年													
			平均													
			基準年													
計																
合計																

3. 河川状況  
 (1) 河川状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量	既往最大洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			該 当 事 項	な し		

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額			該 当 事 項	な し	
平均被害額					

第 4 節 道路概況

1. 道路概況

該 当 事 項 な し



4. 主要作物作付け状況

農林水産統計年報 R7現在 (第7表-4)

市町村名		福井市						計	平均	作付率	備考
総耕地面積(ha)		7,730						7,730	7,730		
総本地面積(ha)		7,220						7,220	7,220		
作物名	区分	作付面積	単位面	作付面積	単位面	作付面積	単位面	作付面積	単位面	%	
		(ha)	積 当り取量 (kg/10a)	(ha)	積 当り取量 (kg/10a)	(ha)	積 当り取量 (kg/10a)	(ha)	積 当り取量 (kg/10a)		
輪 換 田	表 作	水 稲	4,970	511					4,970	511	68.9
	裏 作	大 豆	466	119					466	119	6.5
		そ ば	574	67							
	小計	6,010						6,010			
畑	春夏作										
	秋冬作										
	小計	-									
樹 園 地											
	小計	-									
計		6,010						6,010			
市町村別 延べ作付率(%)		83.2						83.2			

5. 農業の動向

農林水産統計年報 R7現在 (第7表-5)

項目	農 家		土 地		主要作物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備考		
	B	A	B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農 機 具 名	B	A				
変化の状況  (C年を100とする指数)	総農家数	82	57	耕 地	99	96	水 稲	97	89	乳 牛	29	30	田 植 機	73	-	福井市(旧福井市) 農業振興指定 指定 S46. 3. 9 認可 S47. 11. 30	A:令和2年 B:平成27年 C:平成22年
	専業農家	130	-	田	100	96	麦 類	105	103	肉 用 牛	-	-	動 力 耕 耘 機	-	-		
	第一種兼業農家	86	-	畑	101	102	豆 類	95	117	豚	-	-	トラクター	78	-		
	第二種兼業農家	78	65	樹園地	-	-				採 卵 鶏	101	1	バインダ	-	-		
	農業従事者数	71	-	草 地	-	-							コンバイン	74	-		
変化の理由	担い手農家への農業経営のシフト		農地転用に伴う改廃		農地の汎用化に伴う転作面積の拡大			農業離れ			農業離れに伴う農機具所有台数の減						

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの -:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

第6節 地域環境の概況

本地区は、福井市の中心部に位置する山間地で、坂下集落の農地が広がる地域である。希少な生物としてニホンイシガメが確認されている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本ため池は、洪水吐の通水断面能力が不足しており、余裕高も殆どなく越水跡もみられるため豪雨時耐性が極めて脆弱である。また、堤体下流側法尻部にて一部土水路となっている箇所があり、浸食や一部漏水がみられることから、当該ため池の堤体は地震時や大雨時に崩壊する危険性が高く、危険な状態である。

2. 事業別面積

(第 8 表)

事業名 土地利用区分	農業用排水施設												計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
事業目的														
農業用排水施設	2.4	-	-	-	-	2.4							-	2.4
計	2.4	-	-	-	-	2.4							-	2.4

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区では、水稻、大麦、キュウリを作付けしている状況であり、今後も現況作付作物を継続して行っていく予定である。

2. 土地利用区分

(第 9 表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	小計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用排水施設	現況	2.4	-	-	-	-	-	2.4	-	-	-	2.4	
	計画	2.4	-	-	-	-	-	2.4	-	-	-	2.4	
計	現況	2.4	-	-	-	-	-	2.4	-	-	-	2.4	
	計画	2.4	-	-	-	-	-	2.4	-	-	-	2.4	

3. 作付方式

(第 9 表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												3年目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
農業用排水施設	現況	水稲+畑作物	輪換田	水稲												水稲												水稲												
				大麦												キュウリ																								
				畑																																				
	計画	水稲+畑作物	輪換田	水稲												水稲												水稲												
				大麦												キュウリ																								
				畑																																				
				樹園地																																				
				樹園地																																				

4. 生産計画

(第 9 表-3)

事業名	土地利用区分	項目	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収穫量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考	
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当収量増加		
				農業用排水施設	輪換田	表作	水稲	1.1	1.1	-	47.8	47.8	529	529	-	5.8		5.8
大麦	1.1	1.1	-				47.8	47.8	331	331	-	3.6	3.6	-	-	-		
裏作	キュウリ	0.1	0.1			-	4.3	4.3	5,820	5,820	-	5.8	5.8	-	-	-		
畑	春夏作																	
	秋冬作																	
樹園地																		
合計					2.3	2.3	-	99.9	99.9									

※表内の作付面積は、本地率を考慮した値である。

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考	
				区分	現況	計画	増減		
農業用排水施設	輪換田	水 稻	1.1	人 力	19.83	19.83	-		
				機 械	5.97	5.97	-		
		大 麦	1.1	人 力	6.68	6.68	-		
				機 械	3.08	3.08	-		
		きゅうり	0.1	人 力	336.86	336.86	-		
				機 械	8.06	8.06	-		
	樹園地								
合 計			2.3						

※表内の作付面積は本地率を考慮した値である。

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

土地利用区分	区 分 級地名	農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地 (桑園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

区分	項目 配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)							計	備考
		田	輪換耕地	畑						
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
入 植		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	

第3節 用水計画

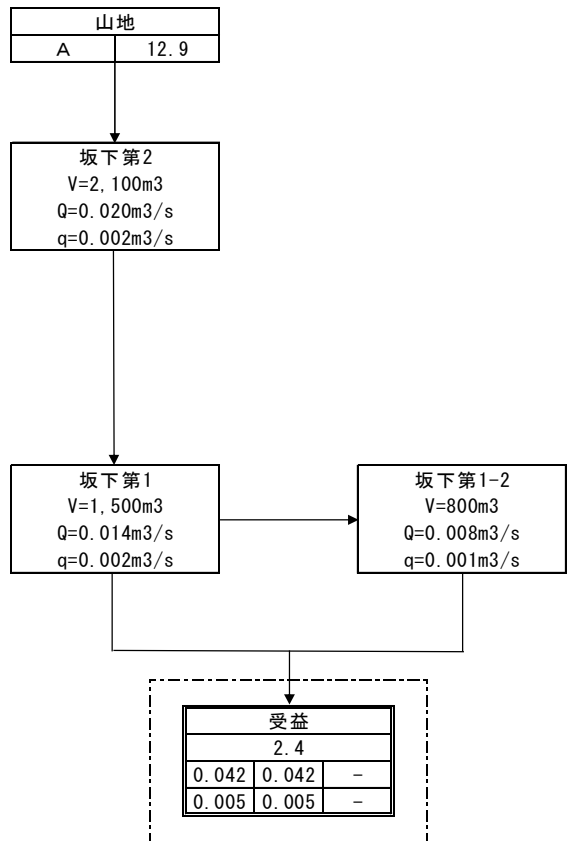
1. 計画基準年

計画基準年……………1997年  
 連続干天日数29日

2. 計画かんがい方式

かんがい方式……………開水路による送水

(1) 計画用水系統



凡 例		
地区内		
(イ)		
(ロ)		
(ハ)	(ホ)	(ト)
(ニ)	(ヘ)	(ト)
地区外		
(イ)		
(ロ)		
(ハ)	(ホ)	(ト)
(ニ)	(ヘ)	(ト)
(イ)	(イ) 流域面積	
(ロ)	(ロ) 代播期流量	
(ハ)	(ハ) 普通期流量	

4. 計画用水量  
(1) かんがい用水

系統名	項目 種別	面積 (ha)				水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい		
		事業名				普通期	代掻期	面積 (ha)	一日当たり 平均かん 水深 (mm/日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)
		農業用 排水施 設			計	計画平 均単位 用水量 (mm/日)	計画代 掻単位 用水量 (mm/日)							
坂下	用水	2.4			2.4	2	19	2.4	—	—	—	—	—	—
計		2.4			2.4			2.4			—			—

(第10表-1-1)

その他		消費 水量 ( $m^3/s$ )	損失 率 (%)	粗用水量		備考
計画平均 単位用水 量 (mm/日)	面積 (ha)			平均 ( $m^3/s$ )	最大 ( $m^3/s$ )	
—	—	0.012	15	0.003	0.014	
—	—	0.012		0.003	0.014	

※消費水量は代掻期の値、粗用水量の平均値は出穂開花期、最大値は代掻期の値とした。

## (2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量 (ℓ/日)	最大給水量 (ℓ/日)			
				計					
		該 当 事 項			な	し			

## 5. 水源計画

## (1) 水利用計画

(第10表-2)

項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量				不足水量		水源依存量		水源工種	備考
					水源名	取水地点利用可能量	圃場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量			
区分	a (千㎡)	b (千㎡)	c=a-b (千㎡)	d=c/(1-a) (千㎡)	e (千㎡)	f (千㎡)	g=c-f (千㎡)	h=d-e (千㎡)					損失率 α	
事業名					該 当 事 項				な	し				
計														

## (2) 用水対策

## (ア) 貯水池

(第10表-3)

項目	流域面積 (k㎡)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千㎡)	利用貯水量 (千㎡)	利用回数 (回)	最大取水量 (㎡/s)	備考
	直接	間接	事業名	用排水	計					
貯水池名										
坂下第1	0.120	—	2.4		2.4	1.500	1.500	—	0.014	
坂下第1-2	0.120	—	2.4		2.4	0.800	0.800	—	0.008	
坂下第2	0.120	—	2.4		2.4	2.100	2.100	—	0.020	
計	0.120	—	2.4		2.4	4.400	4.400	—	0.042	

## (イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目	河川名	流域面積 (k㎡)	かんがい面積 (ha)			取水量 (㎡/s)		渇水量 (㎡/s)	備考
			事業名	計	最大	平均			
取水施設名									
			該 当 事 項			な	し		
計									

## (ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (㎡/s)		揚水機				備考
		事業名	計	最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (㎡/s)	台数 (台)	全揚水量 (㎡/s)		
名称											
			該 当 事 項			な	し				

## (エ) 用水路

(第10表-6)

項目	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (㎡/s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名	計					
		該 当 事 項			な	し	

## (オ) その他の水源施設

該 当 事 項 な し

(3) 水質水温

(第10表-7)

時間別	かんがい面積	水温		水質	被害量	備考
		最高	最低			
		該当	事項なし			

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

該当 事項なし

2. 計画排水方式

該当 事項なし

3. 計画排水系統

該当 事項なし

4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (km <sup>2</sup> )		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量 (m <sup>3</sup> /s)			単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		
	事業名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
			計									自然排水	機械排水			
計																

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計 排水量 (m <sup>3</sup> /s)	画 地区内湛水深 (m)	排水本川			備考
		事業名					名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
				計						
計										

(2) 排水機

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計 排水量 (m <sup>3</sup> /s)	画 地区内湛水深 (m)	排水本川				備考
		事業名					実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
				計							
計											

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画 排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名						名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
				計							
計											

(4) その他

該 当 事 項 な し

6. たん水検討

該 当 事 項 な し

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項目 路線名	幅 (有効) × (m)	延長 (km)	構造	既設道路との関係	備考
	該 当 事 項 な し				
計					

(2) 索道

(第12表-2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考
	該 当 事 項 な し			

2. 路線配置図

該 当 事 項 な し

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考
		該 当 事 項 な し			

(2) 末端道水路配置図

2. 土壤改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土 壤 統(区)名	P H		置換酸度 (Y1)	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	h a 当 たり 所 要 量			備 考
			H <sub>2</sub> O	KCl			石灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	
				該 当 事 項 な し						

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該 当 事 項 な し

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水到達 時間 (hr)	計画	安全	必要	ピーク時	ピーク時	調節後	調節前後	最大
			洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	調節量 (m <sup>3</sup> /s)	調節量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後 流量 (m <sup>3</sup> /s)	の最大 流量の差 (m <sup>3</sup> /s)	調節量 (m <sup>3</sup> /s)	
				該 当 事 項 な し						

3. 貯 水 池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km <sup>2</sup> )		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯水量(千m <sup>3</sup> )			計画調節 流量(m <sup>3</sup> /s)	可能調節 流量(m <sup>3</sup> /s)	備 考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			
坂下第1	0.120	—	1.80	1.5	—	—	—	—	
坂下第1-2	0.120	—	1.80	0.8	—	—	—	—	
坂下第2	0.120	—	1.08	2.1	—	—	—	—	

4.洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該 当 事 項 な し

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該 当 事 項 な し

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該 当 事 項 な し

5.管理計画

(1) 管理機構

該 当 事 項 な し

(2) ダム管理操作上の各種基準

該 当 事 項 な し

(3) 洪水調節要領

該 当 事 項 な し

第8節 干拓計画

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (hPa)	備考
			該 当 事 項 な し			

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長 辺× 短 辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
	該 当 事 項 な し				
計					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m <sup>3</sup> )	備 考
	該 当 事 項 な し			

(3) 末端道水路配置図

該 当 事 項 な し

2. 暗渠排水  
(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ( $\frac{m^3}{s/ha}$ )	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備考
	事業名	計							
				該 当 事 項	な	し			
計									

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	事業名	計				
				該 当 事 項	な	し
計						

3. 客 土

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 ( $m^3$ )	土壌の性質		備考
	事業名	計			現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地	採土地 (客土材料)	
				該 当 事 項	な	し						
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
		該 当 事 項	な	し

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 ( $\frac{m^3}{s/ha}$ )	全排水量 ( $\frac{m^3}{s}$ )	
		該 当 事 項	な	し		

(3) 侵食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考
		該 当 事 項	な	し

## 第10節 老朽ため池改修計画

### 1. 洪水吐改修計画

#### (1) 計画基準雨量

1 / 200年確率……76.0mm/hr

#### (2) 計画洪水量

坂下第1……1.80m<sup>3</sup>/s

坂下第1-2……1.80m<sup>3</sup>/s

坂下第2……1.08m<sup>3</sup>/s

### 2. 堤体補強計画

豪雨対策……洪水吐工の改修

地震対策……築堤盛土による耐震性の確保

### 3. 取水施設改修計画

堤体補強のための掘削に影響を及ぼすため、撤去更新を行う。

・ 斜樋ゲート

・ 底樋 φ200 → φ600

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称	坂下		位置	福井市坂下町地係						備考
	型式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m <sup>3</sup> )	基礎地盤地質	貯水量 (千m <sup>3</sup> )		
直接		間接	総貯水量					有効貯水量		
堤体	[第1] 傾斜遮水ゾーン型	0.120	—	4.10	51.00	1.890	粘質・強粘質	1.5	1.5	
	[第1-2] 傾斜遮水ゾーン型	0.120	—	3.20	32.00	0.912	粘質・強粘質	0.8	0.8	
	[第2] 傾斜遮水ゾーン型	0.120	—	3.60	40.00	1.012	粘質・強粘質	2.1	2.1	
洪水吐	型式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)		取水施設	型式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	型式	放流量 (m <sup>3</sup> /s)	
	[第1] 正面越流型	1.80			[第1] 斜樋	0.014		[第1] —	—	
	[第1-2] 正面越流型	1.80			[第3] 斜樋	0.008		[第3] —	—	
	[第2] 正面越流型	1.08			[第4] 斜樋	0.020		[第4] —	—	

2. 頭首工

(第17表-2)

名称	位置	位置			取水位置 (m)	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	備考
型式	堤高 (m)	提長 (m)						
		固定部	可動部	計				
		該 当 事 項 な し						

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kW)	台数 (台)	
			該 当 事 項 な し								

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				開きよ	トンネル その他	計				
			計								
	該 当 事 項 な し										
計											

5. その他かんがい施設

該 当 事 項 な し

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			該 当 事 項 な し				
計							

2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kW)	台数 (台)	
					該 当 事 項 な し						
計											

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				開きよ	トンネル その他	計				
			計								
					該 当 事 項 な し						
計											

4. その他排水施設

該 当 事 項 な し

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
			該	当	事	項	な	し		
計										

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考		
		該	当	事	項	な	し

2. 索道

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考	
				形式	動力		
		該	当	事	項	な	し

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考	
		該	当	事	項	な	し
計							

(2) 除礫

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面積 (ha)	工法	備考		
		該	当	事	項	な	し
計							

## ( 3 ) 開墾作業

(第20表-3)

項目		面積 (ha)	工 法	備 考
区分	造成工法			
		該 当	事 項 な し	
計				

## ( 4 ) 地目変換

(第20表-4)

項目		面積 (ha)	工 法	備 考
区分				
		該 当	事 項 な し	
計				

## ( 5 ) 末端用水路等

(第20表-5)

項目		数 量	規 模	構 造	備 考
区分					
		該 当	事 項 な し		
計					

## ( 6 ) 末端排水路等

(第20表-6)

項目		数 量	規 模	構 造	備 考
区分					
		該 当	事 項 な し		
計					

## 2. 土壤改良

(第20表-7)

項目		面 積 (ha)	石 灰 量 ( t )	りん酸質資材量 ( t )	有機質資材量 ( t )	備 考
区分						
			該 当	事 項 な し		
計						

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

該 当 事 項 な し

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名称	集水面積 (km <sup>2</sup> )		位置		計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
			堤	長 (m)			
型式	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	固定部	可動部	計		
			該	当	事	項	な し

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他	計			
					該	当	事 項 な し

第6節 干拓施設

1. 堤 防

(第22表-1)

項目 名称	型 式	延長 (m)	構 造				原地盤標高 (m)		備 考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	
									該 当 事 項 な し

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考
							該 当 事 項 な し

3. 付属施設

該 当 事 項 な し

4. 埋 立

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m <sup>3</sup> )	施工方法	備考
		該 当 事 項	な し		

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土量(m <sup>3</sup> )	面積(ha)	土量(m <sup>3</sup> )	
		該 当 事 項	な し			

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当 事 項	な し	

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当 事 項	な し	

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠					集 水 渠 出 口 以下の排水施設			備 考	
	事業名	計		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
計																	

## (2) 心土破碎

(第23表-4-2)

区分	項目 対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項	な し		
計					

## 3. 客 土

(第23表-5)

区分	項目	面積 (ha)		客入土量 (千m <sup>3</sup> )	土取場土量 (千m <sup>3</sup> )	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
		事業名	計					
				該 当 事 項	な し			
計								

## 4. 除 礫

(第23表-6)

区分	項目 対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項	な し		
計					

## 5. 農地保全

## (1) 防風林

(第23表-7)

区分	項目 幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考
			該 当 事 項	な し		
計						

## (2) 排水路

(第23表-8)

区分	項目 延長 (m)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	構 造	備 考
		該 当 事 項	な し	
計				

## (3) 侵食防止工

(第23表-9)

名称	項目 構 造	数 量	備 考
		該 当 事 項	な し
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名称	坂下				位置	福井市坂下町地係		
	型式	流域 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤長 (m)		堤体積 (千m <sup>3</sup> )	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )
堤体	[第1] 傾斜遮水 ゾーン型	0.120	4.10	51.00	1.890	3.00	1.5	
	[第1-2] 傾斜遮水 ゾーン型	0.120	3.20	32.00	0.912	3.00	0.8	
	[第2] 傾斜遮水 ゾーン型	0.120	3.60	40.00	1.012	3.00	2.1	
洪水吐	型式	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	規模 (m)	備考	取水設備	型式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	[第1] 正面越流型	1.80	B3.4×H2.1			[第1] 斜樋	0.014	
	[第1-2] 正面越流型	1.80	B3.4×H2.1			[第3] 斜樋	0.008	
	[第2] 正面越流型	1.08	B1.5×H2.0			[第4] 斜樋	0.020	

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

- ・坂下第1 …… 張ブロックにより、法面保護を行う。
- ・坂下第1-2 …… 張ブロックにより、法面保護を行う。
- ・坂下第2 …… 張ブロックにより、法面保護を行う。

(2) 漏水防止工

- ・坂下第1 …… 堤体盛土（改良土）による改修を行う。
- ・坂下第1-2 …… 堤体盛土（改良土）による改修を行う。
- ・坂下第2 …… 堤体盛土（改良土）による改修を行う。

第6章 附帯工事計画

- ・坂下第1 …… 取水施設（斜樋、底樋）、洪水吐の撤去・更新
- ・坂下第1-2 …… 取水施設（斜樋、底樋）、洪水吐の撤去・更新
- ・坂下第2 …… 取水施設（斜樋、底樋）、洪水吐の撤去・更新

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

換地区または工区	着手	完了予定	備考
全区	令和8年度	令和12年度	

第8章 環境との調和への配慮

施工の際は、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、保全対象生物であるニホンイシガメ等の配慮対策について検討するとともに、地区内の発生土は再利用し、多様な緑地の保全に努める。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該 当 事 項 な し

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
	該 当 事 項 な し	

2. 換地区を設定する理由

該 当 事 項 な し

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準
	該 当 事 項 な し

2. 用途別予定地積

用途 (取得 予定者)	非農用地区域外に換地する土地											創設農用地	合計
	田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に 含める土地(令第1条 の9( )書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地				
					土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計		
換地区名													
前・後													

(単位：ha) (第25表-3)

非農用地区域に換地する土地								機能交換に係る土地					一般 国公有地	総合計
特定用途用地			異種目換地	創設非農用地				合計	国	県	市町村他	合計		
宅地	その他	計		農業経営合理化 施設用地	生活上・経営上 必要な施設用地	公用・公共用 施設用地	宅地等							

3 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取扱い
		該 当 事 項	な し	

4 非農用地の換地方法

該 当 事 項 な し

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評 価 の 方 法

該 当 事 項 な し

2 清 算 の 方 法

該 当 事 項 な し

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

換地区名	区分一時利用地の	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備 考
		該 当 事 項	な し	

第6節 換地処分の時期に関する特則

該 当 事 項 な し

区分	事業名	農業用排水施設 (単位:千円)	備考
	堤体工	62,400	令和7年度単価
	基礎地盤工	4,000	
	護岸工	11,900	
	洪水吐工	12,500	
	取水施設工	41,500	
	進入路工	20,600	
	仮設工	31,900	
	直接工事費	184,800	
	諸経費	184,800	
	工事費	369,600	
	消費税	36,960	
	純工事費	405,000	
	測量試験費	34,000	
	用地補償買収費	10,000	
	総事業費	449,000	
関連事業 (参考)			

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区 分	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備 考
農業用排水施設	食料の安定供給の確保 に関する効果	814	—	
	作物生産効果	1,006	—	
	営農経費節減効果	△ 153	—	
	維持管理費節減効果	△ 39	—	
	農村の持続的発展 に関する効果	8,262	—	
	災害防止効果 (農業資産)	8,262	—	
	農村の振興 に関する効果	2,663	—	
	災害防止効果 (一般資産)	2,663	—	
	多面的機能の発揮 に関する効果	12,407	—	
	災害防止効果 (公共資産)	12,341	—	
	景観・環境保全効果	66	—	
	そ の 他 効 果	154	—	
	国産農産物 安定供給効果	154	—	
	計	24,300	—	令和7年度単価

総費用(現在価値化) : 442,884 千円

総便益額(現在価値化) : 503,495 千円

総費用総便益比 : 1.13 ≥ 1.00

総所得償還率 : — % ≤ 20 %

増加所得償還率 : — % ≤ 40 %

第12章 関連する事業

(第28表)

区 分	事 業 名	事業主体	受益面積 (h a)	備 考
		該 当 事 項 な し		

第13章 現況・計画平面図

別途添付

1. 計画平面図

令和 8 年度 新規採択希望 ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）

# 効 果 算 定 調 査 表

坂 下 地 区  
（ 農 業 用 水 路 ）

福 井 市

## 地 区 の 概 要

坂下(第1, 第1-2, 第2)地区

項 目	内 容	備 考																																														
地区概要	<p>当該施設は築造が古く、堤体は上下流とも安定に欠け、特に上流側堤体は浸食が著しく、堤体崩壊の危険が極めて高い状態である。また、洪水吐はB600×H500のコンクリートのU形開水路であり、大雨時には堤体からの越流が懸念されている。</p> <p>取水施設については簡易的な構造であり、老朽化が著しく取水施設としての機能を損失しており、施設管理に多大な労力とコストを費やしている状況である。</p> <p>以上のことから、本事業によりため池の堤体、洪水吐を改修し、災害の発生を未然に防止する。また、取水施設、底樋を改修し、維持管理と営農労力の軽減を図ることで地域農業構造の改善を図り、安定した農業経営を確立したい。</p>																																															
計画内容	<p>(本 地 区) 農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">ため池名</th> <th style="width: 15%;">数 量</th> <th style="width: 45%;">規格・規模等</th> <th style="width: 20%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>坂 下 第 1</td> <td>1.0 箇所</td> <td>堤幅3.9m、堤高2.7m、堤頂長49.2m、貯水量1,500m<sup>3</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>坂 下 第 1 - 2</td> <td>1.0 箇所</td> <td>堤幅3.6m、堤高2.2m、堤頂長34.7m、貯水量700m<sup>3</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>坂 下 第 2</td> <td>1.0 箇所</td> <td>堤幅3.9m、堤高2.5m、堤頂長38.2m、貯水量1,300m<sup>3</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	ため池名	数 量	規格・規模等	備 考	坂 下 第 1	1.0 箇所	堤幅3.9m、堤高2.7m、堤頂長49.2m、貯水量1,500m <sup>3</sup>		坂 下 第 1 - 2	1.0 箇所	堤幅3.6m、堤高2.2m、堤頂長34.7m、貯水量700m <sup>3</sup>		坂 下 第 2	1.0 箇所	堤幅3.9m、堤高2.5m、堤頂長38.2m、貯水量1,300m <sup>3</sup>																																
ため池名	数 量	規格・規模等	備 考																																													
坂 下 第 1	1.0 箇所	堤幅3.9m、堤高2.7m、堤頂長49.2m、貯水量1,500m <sup>3</sup>																																														
坂 下 第 1 - 2	1.0 箇所	堤幅3.6m、堤高2.2m、堤頂長34.7m、貯水量700m <sup>3</sup>																																														
坂 下 第 2	1.0 箇所	堤幅3.9m、堤高2.5m、堤頂長38.2m、貯水量1,300m <sup>3</sup>																																														
受益区域	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">工 種</th> <th colspan="2" style="width: 15%;">田 (ha)</th> <th colspan="2" style="width: 15%;">畑 (ha)</th> <th colspan="2" style="width: 15%;">計 (ha)</th> <th rowspan="2" style="width: 20%;">備 考</th> </tr> <tr> <th style="width: 5%;">現 況</th> <th style="width: 10%;">計 画</th> <th style="width: 5%;">現 況</th> <th style="width: 10%;">計 画</th> <th style="width: 5%;">現 況</th> <th style="width: 10%;">計 画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農 業 用 用 排 水</td> <td>2.4</td> <td>2.4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2.4</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2.4</td> <td>2.4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2.4</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工 種	田 (ha)		畑 (ha)		計 (ha)		備 考	現 況	計 画	現 況	計 画	現 況	計 画	農 業 用 用 排 水	2.4	2.4	—	—	2.4	2.4																		計	2.4	2.4	—	—	2.4	2.4		
工 種	田 (ha)		畑 (ha)		計 (ha)		備 考																																									
	現 況	計 画	現 況	計 画	現 況	計 画																																										
農 業 用 用 排 水	2.4	2.4	—	—	2.4	2.4																																										
計	2.4	2.4	—	—	2.4	2.4																																										

# 営農状況及び営農計画

坂下(第1, 第1-2, 第2)地区

項 目	内 容	備 考																																																					
営 農 計 画 概 要	<p><b>1. 作付状況及び計画</b></p> <p><b>(1) 作付状況</b> 本地区では、水稲を中心に次表に示す作物を作付けしている状況である。</p> <p><b>(2) 作付計画</b> 本地区では、現状で作付けしている作物を令和6年度の作付け実績をもとに、転作率及び本地率を考慮して整理を行った。</p>																																																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 20%;">経営区分</th> <th colspan="3" style="width: 60%;">現 況 (ha)</th> <th rowspan="2" style="width: 20%;">備 考</th> </tr> <tr> <th style="width: 20%;">受益</th> <th style="width: 20%;">不可避受益</th> <th style="width: 20%;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稲</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大麦</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>きゅうり</td> <td style="text-align: center;">0.1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延 作 付 面 積</td> <td style="text-align: center;">2.3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">2.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本 地 面 積</td> <td style="text-align: center;">2.3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">2.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作 付 率</td> <td style="text-align: center;">100.0</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">100.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経営区分	現 況 (ha)			備 考	受益	不可避受益	計	水稲	1.1		1.1		大麦	1.1		1.1		きゅうり	0.1		0.1																	延 作 付 面 積	2.3	-	2.3		本 地 面 積	2.3	-	2.3		作 付 率	100.0	-	100.0		
	経営区分		現 況 (ha)				備 考																																																
		受益	不可避受益	計																																																			
	水稲	1.1		1.1																																																			
	大麦	1.1		1.1																																																			
	きゅうり	0.1		0.1																																																			
延 作 付 面 積	2.3	-	2.3																																																				
本 地 面 積	2.3	-	2.3																																																				
作 付 率	100.0	-	100.0																																																				

## 総費用対象施設の整理

坂下(第1, 第1-2, 第2)地区

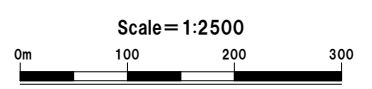
項 目	内 容													備 考
総 費 用 対 象 施 設	当該事業で整備する施設は、更新整備として「ため池」「用水路」である。用水施設は、取水先の河川から支線用水までを総費用の対象とした。次に総費用対象施設を示す。													
	区分	施設 番号	施 設 名	管理団体名	設置 年度	供用 開始 年度	大 改修 年度	施 設 の 概 要 構造・数量・機能	耐用 年数	整備区分及び内容				予防 保全 対策
										事業 区分	整備区分	整 備 理 由	事業 主体	
	団体営造成	1-1	廃)坂下第1、1-2_堤体	坂下町	S. 1	S. 1	-	【第1】 堤幅3.9m, 堤高2.7m 堤頂長49.2m, V=1,033m <sup>3</sup> 【第1-2】 堤幅3.9m, 堤高2.2m 堤頂長34.7m, V=578m <sup>3</sup>	80	前歴事業	廃止	-	団体営	
	県営造成	1-2	更)坂下第1、1-2_堤体	坂下町	R. 12	R. 13	-	【第1】 堤幅3.0m, 堤高4.1m 堤頂長51.0m, V=1,890m <sup>3</sup> 【第1-2】 堤幅3.0m, 堤高3.2m 堤頂長32.0m, V=912m <sup>3</sup>	80	当該事業	更新	耐震補強及び老朽化対策	県営	
	団体営造成	2-1	廃)坂下第1、1-2_構築物	坂下町	S. 1	S. 1	-	洪水吐、取水施設、斜樋	40	前歴事業	廃止	-	団体営	
	県営造成	2-2	更)坂下第1、1-2_構築物	坂下町	R. 12	R. 13	-	洪水吐、取水施設、斜樋	40	当該事業	更新	耐震補強及び老朽化対策	県営	
	団体営造成	3-1	廃)坂下第2_堤体	坂下町	S. 1	S. 1	-	堤幅3.9m, 堤高2.5m 堤頂長38.2m, V=729m <sup>3</sup>	80	前歴事業	廃止	-	団体営	
	県営造成	3-2	更)坂下第2_堤体	坂下町	R. 12	R. 13	-	堤幅3.0m, 堤高3.6m 堤頂長40.0m, V=1,012m <sup>3</sup>	80	当該事業	更新	耐震補強及び老朽化対策	県営	
	団体営造成	4-1	廃)坂下第2_構築物	坂下町	S. 1	S. 1	-	洪水吐、取水施設、斜樋	40	前歴事業	廃止	-	団体営	
県営造成	4-2	更)坂下第2_構築物	坂下町	R. 12	R. 13	-	洪水吐、取水施設、斜樋	40	当該事業	更新	耐震補強及び老朽化対策	県営		
団体営造成	5	既)末端用水路	坂下町	S. 46	S. 47	-	HF700×700	30	前歴事業	既設利用	-	団体営		

令和8年度 新規採択希望 農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業  
【ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）】 坂下地区 総費用位置図



5 末端用水路

- 坂下第2ため池
- 3. 坂下第2 堤体
- 4. 坂下第2 構造物
- 坂下第1、第1-2ため池
- 1. 坂下第1、第1-2 堤体
- 2. 坂下第1、第1-2 構造物



## 本事業により発生する便益の整理

坂下(第1, 第1-2, 第2)地区

項 目	内 容	備 考																													
作物生産効果	<p><b>1. 諸元の整理</b></p> <p><b>【転作率】</b> 地区の営農について、地区の農家と協議をした結果、今後も現在と同程度の作付け計画であるため、計画転作率は現況転作率と同様とする。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">転 作 率</th> <th style="width: 70%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現 況</td> <td style="text-align: center;">34.3 %</td> <td>現況転作率と同じとする。</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td style="text-align: center;">34.9 %</td> <td>直近年の転作率とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【作物単収】</b> 最近5ヶ年の単収の加重平均値をもって現況単収とした。（「農林水産統計年報」参照）なお「水稻」については関係市町の単収を採用した。その他作物については、関係市町において「指定産地」となっている作物については、関係市町の単収、その他の作物については福井県の単収を採用した。</p> <p><b>【作物単価】</b> 作物単価については最近5ヶ年の単価に消費者物価指数を乗じて算出した相対平均価格を採用した。なお、水稻については福井県農村振興課の調査による5ヶ年のデータを採用した。その他作物については農業物価統計調査における5ヶ年の全国データを採用した。（「農業物価統計調査」参照）</p> <p><b>【純益率・所得率】</b> 北陸農政局農村振興部通達資料に準拠した。 （「令和7年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について」参照）</p> <p><b>【本地率】</b> 現況については、地区の標準区画における本地率の算定値を採用した。また計画については、事業計画において整備される地区の標準区画における本地率の算定値を採用した。（「別添作物生産効果」参照）</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3" style="width: 15%;">区 分</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">本 地 率</th> <th rowspan="3" style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">現 況</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">計 画</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">田</th> <th style="text-align: center;">畑</th> <th style="text-align: center;">田</th> <th style="text-align: center;">畑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30a区画</td> <td style="text-align: center;">98.0 %</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">98.0 %</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	転 作 率	摘 要	現 況	34.3 %	現況転作率と同じとする。	計 画	34.9 %	直近年の転作率とする。	区 分	本 地 率				摘 要	現 況		計 画		田	畑	田	畑	30a区画	98.0 %	—	98.0 %	—		
	区 分	転 作 率	摘 要																												
	現 況	34.3 %	現況転作率と同じとする。																												
	計 画	34.9 %	直近年の転作率とする。																												
	区 分	本 地 率				摘 要																									
		現 況		計 画																											
		田	畑	田	畑																										
	30a区画	98.0 %	—	98.0 %	—																										

## 本事業により発生する便益の整理

坂下(第1, 第1-2, 第2)地区

項 目	内 容	備 考																																																												
作物生産効果	<p><b>2. 本地区において発生する効果</b></p> <p><b>【更新効果】</b></p> <p>・概 要 農業用排水路の更新により、現況で発揮されている「効果」が今後も継続して発揮されることから、当該効果を計上する。効果の発生割合については「改訂版 新たな土地改良の効果算定マニュアル」に基づく。</p> <p>・効果発生面積 用水受益の現況作付面積とする。</p> <p>・増 収 率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">効果要因</th> <th style="width: 20%;">対象作物</th> <th style="width: 15%;">増収率(%)</th> <th style="width: 15%;">記号</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水管理改良</td> <td>水稻</td> <td style="text-align: center;">58.0</td> <td>水管理-3</td> <td>通達資料</td> </tr> <tr> <td>田畑輪換</td> <td>大麦</td> <td style="text-align: center;">15.0</td> <td>田畑輪換</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>湿潤灌漑</td> <td>きゅうり</td> <td style="text-align: center;">15.0</td> <td>湿潤灌漑</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>田畑輪換</td> <td>きゅうり</td> <td style="text-align: center;">15.0</td> <td>田畑輪換</td> <td>〃</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	効果要因	対象作物	増収率(%)	記号	摘 要	水管理改良	水稻	58.0	水管理-3	通達資料	田畑輪換	大麦	15.0	田畑輪換	〃	湿潤灌漑	きゅうり	15.0	湿潤灌漑	〃	田畑輪換	きゅうり	15.0	田畑輪換	〃																																				
	効果要因	対象作物	増収率(%)	記号	摘 要																																																									
	水管理改良	水稻	58.0	水管理-3	通達資料																																																									
	田畑輪換	大麦	15.0	田畑輪換	〃																																																									
	湿潤灌漑	きゅうり	15.0	湿潤灌漑	〃																																																									
	田畑輪換	きゅうり	15.0	田畑輪換	〃																																																									

## 本事業により発生する便益の整理

坂下(第1, 第1-2, 第2)地区

項 目	内 容	備 考		
営 農 経 費 節 減 効 果	<p><b>1. 諸 元 の 整 理</b></p> <p><b>【 労 務 単 価 】</b>                      北陸農政局農村振興部通達資料に準拠した。                      (「令和7年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について」参照)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">労務単価</td> <td style="padding: 2px; text-align: center;">1,780 円/hr</td> </tr> </table> <p><b>【 機 械 稼 働 単 価 】</b>                      福井県土地改良事業諸元調査に基づき、地区の農業経営状況を考慮して算定した。</p> <p><b>【 更 新 効 果 】</b></p> <p><b>○水管理時間の増減</b></p> <p>・ 概 要                      「用水なかりせば」において用水施設の用水を送水する機能がなくなることにより、水管理に要する労働時間が変動するため、当該効果を計上する。</p> <p>・ 効果発生面積                      用水受益における現況作付け面積とする。ただし、純益率及び所得率の標準値を使用していない作物については対象外とする。</p>	労務単価	1,780 円/hr	
労務単価	1,780 円/hr			

## 本事業により発生する便益の整理

坂下(第1, 第1-2, 第2)地区

項 目	内 容	備 考															
維持管理費 節減効果	<p><b>1. 諸元の整理</b></p> <p><b>【労務単価】</b> 北陸農政局農村振興部通達資料に準拠した。 (「令和3～7年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について」参照)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">労務単価</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">1,490 円/hr</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">R3</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1,638 円/hr</td> <td style="text-align: center;">R4</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1,703 円/hr</td> <td style="text-align: center;">R5</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1,761 円/hr</td> <td style="text-align: center;">R6</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1,780 円/hr</td> <td style="text-align: center;">R7</td> </tr> </table>	労務単価	1,490 円/hr	R3		1,638 円/hr	R4		1,703 円/hr	R5		1,761 円/hr	R6		1,780 円/hr	R7	
	労務単価	1,490 円/hr	R3														
	1,638 円/hr	R4															
	1,703 円/hr	R5															
	1,761 円/hr	R6															
	1,780 円/hr	R7															
	<p><b>2. 維持管理の考え方</b></p> <p>○更新施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現 況 既往年経費の平均値を採用する。</li> <li>・なかりせば 既往年経費のうち安全管理・財産管理に必要な経費とする。</li> <li>・ありせば 計画年経費（福井県 諸元調査より）を採用する。</li> </ul>																

## 本事業により発生する便益の整理

坂下(第1, 第1-2, 第2)地区

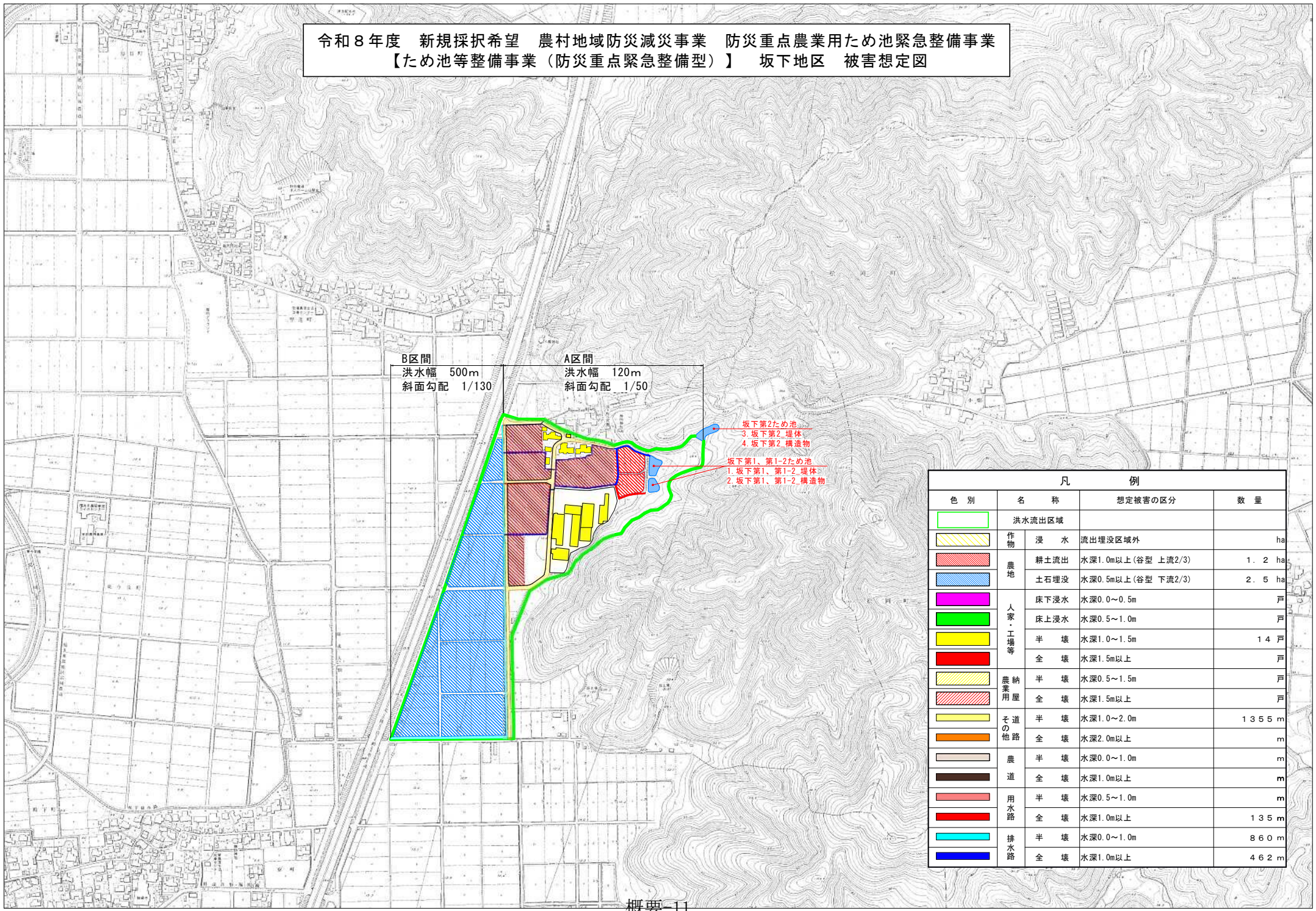
項 目	内 容	備 考				
国産農産物 安定供給 効	<p><b>1. 諸元の整理</b></p> <p><b>【原単位】</b> 当該効果における原単位は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">単位食料生産額当り効果額</td> <td style="padding: 2px;">49 円/千円(年増加粗収益額1,000円当たり)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">単位供給熱量当り効果額</td> <td style="padding: 2px;">9.9 円/千円(年増加粗収益額1,000円当たり)</td> </tr> </table> <p><b>2. 本地区において発生する効果</b></p> <p>本地区では、今後も食料生産を継続するとともに、計画において生産量が増減することから、当該効果を計上する。</p>	単位食料生産額当り効果額	49 円/千円(年増加粗収益額1,000円当たり)	単位供給熱量当り効果額	9.9 円/千円(年増加粗収益額1,000円当たり)	
	単位食料生産額当り効果額	49 円/千円(年増加粗収益額1,000円当たり)				
単位供給熱量当り効果額	9.9 円/千円(年増加粗収益額1,000円当たり)					

本事業により発生する便益の整理

坂下(第1, 第1-2, 第2)地区

項 目	内 容	備 考
災 害 防 止 効 果	<p><b>1. 被害想定のかえ方</b></p> <p>当該施設は、堤体の耐震アウト、漏水の発生が問題となっている。この施設状態において地震が発生した際、堤体の崩壊・洪水が発生し、下流農地及び住宅に被害が及ぶ為、その被害額を算定する。</p>	

令和8年度 新規採択希望 農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業  
 【ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）】 坂下地区 被害想定図



B区間  
 洪水幅 500m  
 斜面勾配 1/130

A区間  
 洪水幅 120m  
 斜面勾配 1/50

坂下第2ため池  
 3. 坂下第2 堤体  
 4. 坂下第2 構造物

坂下第1、第1-2ため池  
 1. 坂下第1、第1-2 堤体  
 2. 坂下第1、第1-2 構造物

凡 例			
色 別	名 称	想定被害の区分	数 量
	洪水流出区域		
	作物	浸 水	流出埋没区域外
	農 地	耕土流出	水深1.0m以上(谷型 上流2/3)
		土石埋没	水深0.5m以上(谷型 下流2/3)
	人 家・工 場 等	床下浸水	水深0.0~0.5m
		床上浸水	水深0.5~1.0m
		半 壊	水深1.0~1.5m
		全 壊	水深1.5m以上
	農 納 倉 庫 用 屋	半 壊	水深0.5~1.5m
		全 壊	水深1.5m以上
	そ 道 他 路	半 壊	水深1.0~2.0m
		全 壊	水深2.0m以上
	農 道	半 壊	水深0.0~1.0m
		全 壊	水深1.0m以上
	用 水 路	半 壊	水深0.5~1.0m
		全 壊	水深1.0m以上
	排 水 路	半 壊	水深0.0~1.0m
		全 壊	水深1.0m以上

総 費 用 総 便 益 比  
及 び 所 得 償 還 率

1. 総費用総便益比及び所得償還率の総括

(第1表)

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 費 用 ( 現 在 価 値 化 )	③=①+②	442,884 千円	
当 該 事 業 に よ る 費 用	①	193,358 千円	
そ の 他 費 用 ( 関 連 事 業 費 + 資 産 価 額 + 再 整 備 費 )	②	249,526 千円	
年 償 還 額	④	－ 千円/年	
う ち 機 能 向 上 分	④'	－ 千円/年	
年 総 効 果 ( 便 益 ) 額	⑤	24,300 千円	
現 況 年 総 農 業 所 得 額	⑥	1,131 千円	
年 総 増 加 農 業 所 得 額	⑦	0 千円	
評 価 期 間 ( 当 該 事 業 の 工 事 期 間 +40 年 )		45 年	工事期間 5 年 + 40 年 間
割 引 率		0.04	
総 便 益 額 ( 現 在 価 値 化 )	⑧	503,495 千円	
総 費 用 総 便 益 比	⑨=⑧÷③	1.13	≥1.00
総 所 得 償 還 率	⑩=④ ÷ ⑥ × 100	－ %	≤20.0%
増 加 所 得 償 還 率	⑪=④' ÷ ⑦ × 100	－ %	≤40.0%

2. 総費用の総括

(単位:千円) (第2表)

費用区分 区分・施設番号・整備区分・施設名		事業着工 時点の 資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間 における 予防保全 ・再整備費 ④	評価期間 修了 時点の 資産価額 ⑤	総費用 ①+②+③+④-⑤	備考
		1-1	廃) 坂下第1、1-2_堤体	-	-	-	-	-
1-2	更) 坂下第1、1-2_堤体	-	61,890	-	-	4,672	57,218	
2-1	廃) 坂下第1、1-2_構造物	-	-	-	-	-	-	
2-2	更) 坂下第1、1-2_構造物	-	44,831	-	-	8,669	36,162	
3-1	廃) 坂下第2_堤体	-	-	-	-	-	-	
3-2	更) 坂下第2_堤体	-	61,705	-	-	2,380	59,325	
4-1	廃) 坂下第2_構造物	-	-	-	-	-	-	
4-2	更) 坂下第2_構造物	-	24,932	-	-	4,812	20,120	
5	既) 末端用水路	10,411	-	-	266,137	6,489	270,059	
計		10,411	193,358	-	266,137	27,022	442,884	

3. 年総効果額及び年総増加農業所得額の総括

(第3表)

区分 効果項目	年 総 効 果 ( 便 益 ) 額	年 増 加 農 業 所 得 額		備 考
			う ち 機 能 向 上 分	
食糧の安定供給の確保に関する効果	814	—	—	
作物生産効果	1,006	—	—	
営農経費節減効果	△153	—	—	
維持管理費節減効果	△39	—	—	
農業の持続的発展に関する効果	8,262	—	—	
災害防止効果(農業資産)	8,262	—	—	
農村の振興に関する効果	2,663	—	—	
災害防止効果(一般資産)	2,663	—	—	
多面的機能の発揮に関する効果	12,407	—	—	
災害防止効果(公共資産)	12,341	—	—	
景観・環境保全効果	66	—	—	
その他の効果	154	—	—	
国産農産物安定供給効果	154	—	—	
合 計	24,300	—	—	

4. 農家負担年償還額の総括

(第4表)

事業名	事業費 A	負担率(%)				農家負担額 C=A×B	年賦金率 D	農家負担 年償還額 E=C×D	備考
		国	県	市町	地元 B				
当該事業 ため池緊急整備事業 坂下地区 【農業用排水施設】	449,000	55.0	35.0	10.0	—	0.0503	第4表の作業表より		
計	449,000				—		—		
合計	449,000				—		—		

# 農 家 負 担 年 償 還 額 算 定 資 料

(1) 全 体

(第4表の作業表)

区 分	【 農 業 用 用 排 水 施 設 】										合 計
	値・算定式	金 額	値・算定式	金 額	値・算定式	金 額	値・算定式	金 額	値・算定式	金 額	
① 総 事 業 費		450,000 千円		千円		千円		千円		千円	450,000 千円
② 国 補 助 金	55.0 %	247,500 千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	247,500 千円
③ 県 補 助 金	35.0 %	157,500 千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	157,500 千円
④ 市 町 補 助 金	10.0 %	45,000 千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	45,000 千円
⑤ 地 元 負 担 金	— %	— 千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	千円
⑥ 貸 付 対 象 額		— 千円		千円		千円		千円		千円	千円
⑦ 総 償 還 額	⑥*1.3506	— 千円		千円		千円		千円		千円	千円
⑧ 無 利 子 対 象 償 還 額		千円		千円		千円		千円		千円	千円
⑨ 有 利 子 対 象 償 還 額		千円		千円		千円		千円		千円	千円
⑩ 農 家 償 還 額 計	⑧+⑨	千円		千円		千円		千円		千円	千円
⑪ 国 金 利 負 担 額	⑦-⑩	千円		千円		千円		千円		千円	千円
⑫ 農 家 年 償 還 額	⑩/25年	千円		千円		千円		千円		千円	千円
⑬ 10 a 当 年 償 還 額	⑫/2.4ha	円		円		円		円		円	円
備 考	据 置 期 間	5 年	据 置 期 間	年	据 置 期 間	年	据 置 期 間	年	据 置 期 間	年	
	償 還 期 間 n=	25 年	償 還 期 間 n=	年	償 還 期 間 n=	年	償 還 期 間 n=	年	償 還 期 間 n=	年	
	年 利 率 i=	1.85 %	年 利 率 i=	%	年 利 率 i=	%	年 利 率 i=	%	年 利 率 i=	%	
	年 賦 金 率 =	0.0503									
		$= (i \times (1+i)^n) \div (1+i)^n - 1$									
	総 償 還 額 =	1.3506									
		$= 0.0185 \times 5年 + 0.0503 \times 25年$									
無 利 子 対 象 =	#VALUE!										
有 利 子 対 象 =	#VALUE!										
受 益 面 積 A	2.4 ha										236.5 ha



5. 総便益算出表

(第5表)

評 価 期 間	年 度	割 引 率 (1+割 引 率)	経 過 年	災害防止効果(一般資産)						災害防止効果(公共資産)						景観・環境保全効果						国産農産物安定供給効果						割 引 後  効果 額  合 計 H=ΣG (千円)				
				更新分 に係る 効果		新設及び機能 向上分に 係る 効果		計		更新分 に係る 効果		新設及び機能 向上分に 係る 効果		計		更新分 に係る 効果		新設及び機能 向上分に 係る 効果		計		更新分 に係る 効果		新設及び機能 向上分に 係る 効果		計						
				年効	年効	効果 発生 割合	効果額 E=C*D	年効	同左	年効	年効	効果 発生 割合	効果額 E=C*D	年効	同左	年効	年効	効果 発生 割合	効果額 E=C*D	年効	同左	年効	年効	効果 発生 割合	効果額 E=C*D	年効	同左		年効	年効	効果 発生 割合	効果額 E=C*D
				果額 B (千円)	果額 C (千円)	(%)	(千円)	果額 F=B+E (千円)	割引後 G=F/A (千円)	果額 B (千円)	果額 C (千円)	(%)	(千円)	果額 F=B+E (千円)	割引後 G=F/A (千円)	果額 B (千円)	果額 C (千円)	(%)	(千円)	果額 F=B+E (千円)	割引後 G=F/A (千円)	果額 B (千円)	果額 C (千円)	(%)	(千円)	果額 F=B+E (千円)	割引後 G=F/A (千円)		果額 B (千円)	果額 C (千円)	(%)	(千円)
0	R.7	1.0000	0																													
1	R.8	1.0400	1	2.663			2.663	2.561	12.341				11.866	66	0	0.0	0	66	63	154				154	148		23.364					
2	R.9	1.0816	2	2.663			2.663	2.462	12.341				11.410	66	0	35.0	0	66	61	154				154	142		22.467					
3	R.10	1.1249	3	2.663			2.663	2.367	12.341				10.971	66	0	70.0	0	66	59	154				154	137		21.602					
4	R.11	1.1699	4	2.663			2.663	2.276	12.341				10.549	66	0	100.0	0	66	56	154				154	132		20.771					
5	R.12	1.2167	5	2.663			2.663	2.189	12.341				10.143	66	0	100.0	0	66	54	154				154	127		19.972					
6	R.13	1.2653	6	2.663			2.663	2.105	12.341				9.753	66	0	100.0	0	66	52	154				154	122		19.205					
7	R.14	1.3159	7	2.663			2.663	2.024	12.341				9.378	66	0	100.0	0	66	50	154				154	117		18.466					
8	R.15	1.3686	8	2.663			2.663	1.946	12.341				9.017	66	0	100.0	0	66	48	154				154	113		17.756					
9	R.16	1.4233	9	2.663			2.663	1.871	12.341				8.671	66	0	100.0	0	66	46	154				154	108		17.074					
10	R.17	1.4802	10	2.663			2.663	1.799	12.341				8.337	66	0	100.0	0	66	45	154				154	104		16.418					
11	R.18	1.5395	11	2.663			2.663	1.730	12.341				8.016	66	0	100.0	0	66	43	154				154	100		15.785					
12	R.19	1.6010	12	2.663			2.663	1.663	12.341				7.708	66	0	100.0	0	66	41	154				154	96		15.177					
13	R.20	1.6651	13	2.663			2.663	1.599	12.341				7.412	66	0	100.0	0	66	40	154				154	92		14.594					
14	R.21	1.7317	14	2.663			2.663	1.538	12.341				7.127	66	0	100.0	0	66	38	154				154	89		14.033					
15	R.22	1.8009	15	2.663			2.663	1.479	12.341				6.853	66	0	100.0	0	66	37	154				154	86		13.495					
16	R.23	1.8730	16	2.663			2.663	1.422	12.341				6.589	66	0	100.0	0	66	35	154				154	82		12.973					
17	R.24	1.9479	17	2.663			2.663	1.367	12.341				6.336	66	0	100.0	0	66	34	154				154	79		12.474					
18	R.25	2.0258	18	2.663			2.663	1.315	12.341				6.092	66	0	100.0	0	66	33	154				154	76		11.996					
19	R.26	2.1068	19	2.663			2.663	1.264	12.341				5.858	66	0	100.0	0	66	31	154				154	73		11.534					
20	R.27	2.1911	20	2.663			2.663	1.215	12.341				5.632	66	0	100.0	0	66	30	154				154	70		11.089					
21	R.28	2.2788	21	2.663			2.663	1.169	12.341				5.416	66	0	100.0	0	66	29	154				154	68		10.665					
22	R.29	2.3699	22	2.663			2.663	1.124	12.341				5.207	66	0	100.0	0	66	28	154				154	65		10.253					
23	R.30	2.4647	23	2.663			2.663	1.080	12.341				5.007	66	0	100.0	0	66	27	154				154	62		9.858					
24	R.31	2.5633	24	2.663			2.663	1.039	12.341				4.814	66	0	100.0	0	66	26	154				154	60		9.479					
25	R.32	2.6658	25	2.663			2.663	999	12.341				4.629	66	0	100.0	0	66	25	154				154	58		9.115					
26	R.33	2.7725	26	2.663			2.663	961	12.341				4.451	66	0	100.0	0	66	24	154				154	56		8.766					
27	R.34	2.8834	27	2.663			2.663	924	12.341				4.280	66	0	100.0	0	66	23	154				154	53		8.427					
28	R.35	2.9987	28	2.663			2.663	888	12.341				4.115	66	0	100.0	0	66	22	154				154	51		8.102					
29	R.36	3.1187	29	2.663			2.663	854	12.341				3.957	66	0	100.0	0	66	21	154				154	49		7.791					
30	R.37	3.2434	30	2.663			2.663	821	12.341				3.805	66	0	100.0	0	66	20	154				154	47		7.491					
31	R.38	3.3731	31	2.663			2.663	789	12.341				3.659	66	0	100.0	0	66	20	154				154	46		7.204					
32	R.39	3.5081	32	2.663			2.663	759	12.341				3.518	66	0	100.0	0	66	19	154				154	44		6.927					
33	R.40	3.6484	33	2.663			2.663	730	12.341				3.383	66	0	100.0	0	66	18	154				154	42		6.661					
34	R.41	3.7943	34	2.663			2.663	702	12.341				3.253	66	0	100.0	0	66	17	154				154	41		6.405					
35	R.42	3.9461	35	2.663			2.663	675	12.341				3.127	66	0	100.0	0	66	17	154				154	39		6.158					
36	R.43	4.1039	36	2.663			2.663	649	12.341				3.007	66	0	100.0	0	66	16	154				154	38		5.921					
37	R.44	4.2681	37	2.663			2.663	624	12.341				2.891	66	0	100.0	0	66	15	154				154	36		5.693					
38	R.45	4.4388	38	2.663			2.663	600	12.341				2.780	66	0	100.0	0	66	15	154				154	35		5.475					
39	R.46	4.6164	39	2.663			2.663	577	12.341				2.673	66	0	100.0	0	66	14	154				154	33		5.264					
40	R.47	4.8010	40	2.663			2.663	555	12.341				2.571	66	0	100.0	0	66	14	154				154	32		5.063					
41	R.48	4.9931	41	2.663			2.663	533	12.341				2.472	66	0	100.0	0	66	13	154				154	31		4.866					
42	R.49	5.1928	42	2.663			2.663	513	12.341				2.377	66	0	100.0	0	66	13	154				154	30		4.681					
43	R.50	5.4005	43	2.663			2.663	493	12.341				2.285	66	0	100.0	0	66	12	154				154	29		4.500					
44	R.51	5.6165	44	2.663			2.663	474	12.341				2.197	66	0	100.0	0	66	12	154				154	27		4.326					
45	R.52	5.8412	45	2.663			2.663	456	12.341				2.113	66	0	100.0	0	66	11	154				154	26		4.159					
合 計(総便益額)								55.180					255.705					1.367						3.191		503.495						

ク 効果発生割合の算定基礎（作物生産効果、営農経費節減効果、国産農産物安定供給効果）

施設建設費による事業費割合（効果発生率）

（千円：第5表の参考表）

年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
当該事業	89,800	89,800	89,800	89,800	89,800	449,000
計	89,800	89,800	89,800	89,800	89,800	449,000
事業費累計	89,800	179,600	269,400	359,200	449,000	
事業費割合 （効果発生率）%	0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	

6. 現況年総農業所得額の算定

(第6表)

計画地目	作物名	現況 作付面積 A (ha)	現況単収 B (kg/10a)	生産量 C=A*B (t)	生産物 単価 D (円/kg)	粗収益額 E=C*D (千円/t)	所得率 F (%)	現況年 総農業 所得額 G=E*F (千円)
田	水 稲	1.1	500	5.5	253	1,392	23	320
田 ( 畑 利 用 )	大 麦	1.1	368	4.0	53	212	21	45
	き ゅ う り	0.1	5,820	5.8	287	1,665	46	766
	小 計	2.3				1,877		811
普 通 畑								
	小 計	—				—		—
合 計	2.3				3,269		1,131	

# 総費用の算出

(1) 対象施設の概要整理

(第1表)

区分	施設番号	施設名	管理団体名	設置年度	供用開始年度	大改修年度	施設の概要 構造・数量・機能	耐用年数	整備区分及び内容				予防保全対策
									事業区分	整備区分	整備理由	事業主体	
団体営造成	1-1	廃) 坂下第1、1-2_堤体	坂下町	S.1	S.1	-	【第1】 堤幅3.9m, 堤高2.7m 堤頂長49.2m, V=1,033m <sup>3</sup> 【第1-2】 堤幅3.9m, 堤高2.2m 堤頂長34.7m, V=578m <sup>3</sup>	80	前歴事業	廃止	-	団体営	
県営造成	1-2	更) 坂下第1、1-2_堤体	坂下町	R.12	R.13	-	【第1】 堤幅3.0m, 堤高4.1m 堤頂長51.0m, V=1,890m <sup>3</sup> 【第1-2】 堤幅3.0m, 堤高3.2m 堤頂長32.0m, V=912m <sup>3</sup>	80	当該事業	更新	耐震補強及び老朽化対策	県営	
団体営造成	2-1	廃) 坂下第1、1-2_構造物	坂下町	S.1	S.1	-	洪水吐、取水施設、斜樋	40	前歴事業	廃止	-	団体営	
県営造成	2-2	更) 坂下第1、1-2_構造物	坂下町	R.12	R.13	-	洪水吐、取水施設、斜樋	40	当該事業	更新	耐震補強及び老朽化対策	県営	
団体営造成	3-1	廃) 坂下第2_堤体	坂下町	S.1	S.1	-	堤幅3.9m, 堤高2.5m 堤頂長38.2m, V=729m <sup>3</sup>	80	前歴事業	廃止	-	団体営	
県営造成	3-2	更) 坂下第2_堤体	坂下町	R.12	R.13	-	堤幅3.0m, 堤高3.6m 堤頂長40.0m, V=1,012m <sup>3</sup>	80	当該事業	更新	耐震補強及び老朽化対策	県営	
団体営造成	4-1	廃) 坂下第2_構造物	坂下町	S.1	S.1	-	洪水吐、取水施設、斜樋	40	前歴事業	廃止	-	団体営	
県営造成	4-2	更) 坂下第2_構造物	坂下町	R.12	R.13	-	洪水吐、取水施設、斜樋	40	当該事業	更新	耐震補強及び老朽化対策	県営	
団体営造成	5	既) 末端用水路	坂下町	S.46	S.47	-	HF700×700	30	前歴事業	既設利用	-	団体営	

施設番号	項目	年度No	検索																		
			98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	
施設名	支出済費用換算係数	和暦	S.40	S.41	S.42	S.43	S.44	S.45	S.46	S.47	S.48	S.49	S.50	S.51	S.52	S.53	S.54	S.55	S.56	S.57	
		西暦	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	
施設名	基準年度 = R.7年度	和暦	6,5100	6,1980	5,8850	5,5730	5,2080	4,8430	4,5830	4,2710	3,9670	2,7600	2,6040	2,4660	2,3490	2,2530	2,0660	1,8700	1,8300	1,7870	
		西暦	0.0951	0.0989	0.1028	0.1069	0.1112	0.1157	0.1203	0.1251	0.1301	0.1353	0.1407	0.1463	0.1522	0.1583	0.1646	0.1712	0.1780	0.1852	
1-1	費用区分	費区1-1																			
1-1	工事費(償却施設)	換算	工事費(償却施設)	土地	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	
			用地	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
1-1	その他	換算	その他	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
			建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
1-1	計	換算	計	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
			建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
1-2	費用区分	費区1-2																			
			工事費(償却施設)	土地	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
1-2	その他	換算	その他	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
			建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
1-2	計	換算	計	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
			建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
2-1	費用区分	費区2-1																			
			工事費(償却施設)	土地	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
2-1	その他	換算	その他	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
			建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
2-1	計	換算	計	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
			建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
2-2	費用区分	費区2-2																			
			工事費(償却施設)	土地	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
2-2	その他	換算	その他	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
			建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
2-2	計	換算	計	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設
			建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設	建設

施設番号	項目	年度No																						
		116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	156	157
施設名	支出済費用換算係数 基準年度 = R.7年度	経過年数																						
		H.1	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14	H.15	R.5	R.6	R.7	R.8	R.9	R.10	R.11	R.12
1-1	費 用 引 分 割	1.7810	1.7700	1.7680	1.7920	1.8020	1.7650	1.6930	1.6260	1.5610	1.5370	1.5230	1.5170	1.4950	1.4860	1.4590	1.4870	1.4990	1.4950	1.5140	1.5180	1.5190	1.0180	1.0000
	工事費(償却施設)	0.1926	0.2003	0.2083	0.2166	0.2253	0.2343	0.2437	0.2534	0.2636	0.2741	0.2851	0.2965	0.3083	0.3207	0.3335	0.3468	0.3607	0.3751	0.3901	0.4057	0.4220	0.9246	0.9615
1-2	費 用 引 分 割	-42	-41	-40	-39	-38	-37	-36	-35	-34	-33	-32	-31	-30	-29	-28	-27	-26	-25	-24	-23	-22	-2	-1
	工事費(償却施設)																							
2-1	費 用 引 分 割																							
	工事費(償却施設)																							
2-2	費 用 引 分 割																							
	工事費(償却施設)																							

施設番号	項目	基年(評価年)																								
		年度No																								
		158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182
和暦	R.7	R.8	R.9	R.10	R.11	R.12	R.13	R.14	R.15	R.16	R.17	R.18	R.19	R.20	R.21	R.22	R.23	R.24	R.25	R.26	R.27	R.28	R.29	R.30	R.31	
西暦	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	...	...	...	...	...	...	
施設名	支出済費精算係数	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	
	基準年度 = R.7年度	1.0000	1.0400	1.0816	1.1249	1.1699	1.2167	1.2653	1.3159	1.3686	1.4233	1.4802	1.5395	1.6010	1.6651	1.7317	1.8009	1.8730	1.9479	2.0258	2.1068	2.1911	2.2788	2.3699	2.4647	2.5633
1-1	費用区分	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
1-1-1	工事費(償却施設)																									
	用地費																									
	その他																									
	換算額																									
	計																									
1-2	費用区分																									
1-2-1	工事費(償却施設)		9,390	11,300	11,300	11,291	11,291																			
	用地費			1,182	1,182	1,182	1,182																			
	その他			2,664	2,664	2,673	2,673																			
	換算額		9,390	11,300	11,300	11,291	11,291																			
	計		9,390	15,146	15,146	15,146	15,146																			
2-1	費用区分																									
2-1-1	工事費(償却施設)																									
	用地費																									
	その他																									
	換算額																									
	計																									
2-2	費用区分																									
2-2-1	工事費(償却施設)		7,309	10,827	10,827	10,836	10,836																			
	用地費																									
	その他																									
	換算額		7,309	10,827	10,827	10,836	10,836																			
	計		7,309	10,827	10,827	10,836	10,836																			
	換算率		7,026	10,010	9,829	9,262	8,906																			



施設番号	項目	年度No	検索																	
			98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115
	和暦		\$ 40	\$ 41	\$ 42	\$ 43	\$ 44	\$ 45	\$ 46	\$ 47	\$ 48	\$ 49	\$ 50	\$ 51	\$ 52	\$ 53	\$ 54	\$ 55	\$ 56	\$ 57
	西暦		1995	1996	1997	1998	1999	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982
施設名	支出済費用計算係数		6.5100	6.1980	5.8850	5.5730	5.2600	4.9430	4.6300	4.3170	3.9670	3.6600	3.3480	2.9850	2.6530	2.3480	2.0660	1.8700	1.8300	1.7870
R.7年度	割引率		0.9951	0.9889	0.9828	0.9768	0.9712	0.9657	0.9603	0.9551	0.9501	0.9452	0.9404	0.9358	0.9313	0.9269	0.9226	0.9184	0.9143	0.9102
	経過年数		-60	-59	-58	-57	-56	-55	-54	-53	-52	-51	-50	-49	-48	-47	-46	-45	-44	-43
3-1	費用区分	農区3-1																		
(廃) 坂下第2-1 堤体	字防保全																			
	工事費(償却施設)	法却																		
	用地費	法用																		
	その他	法他																		
	工事費(償却施設)	法却																		
	用地の償却	法用																		
計	法却																			
3-2	費用区分	農区3-2																		
(更) 坂下第2-1 堤体	字防保全																			
	工事費(償却施設)	法却																		
	用地費	法用																		
	その他	法他																		
	工事費(償却施設)	法却																		
	用地の償却	法用																		
計	法却																			
4-1	費用区分	農区4-1																		
(廃) 坂下第2-1 構造物	字防保全																			
	工事費(償却施設)	法却																		
	用地費	法用																		
	その他	法他																		
	工事費(償却施設)	法却																		
	用地の償却	法用																		
計	法却																			
4-2	費用区分	農区4-2																		
(更) 坂下第2-1 構造物	字防保全																			
	工事費(償却施設)	法却																		
	用地費	法用																		
	その他	法他																		
	工事費(償却施設)	法却																		
	用地の償却	法用																		
計	法却																			
5	費用区分	農区5																		
(既) 未端用水路	字防保全																			
	工事費(償却施設)	法却	3,330	840	940	950	1,052	1,131	1,196											
	用地費	法用																		
	その他	法他																		
	工事費(償却施設)	法却	21,678	5,206	5,532	5,294	5,479	5,477	5,481											
	用地の償却	法用																		
計	法却	3,330	840	940	950	1,052	1,131	1,196												
	法用	21,678	5,206	5,532	5,294	5,479	5,477	5,481												
	法他																			
	割引後	集計5	227,950	52,639	53,813	49,523	49,272	47,338	45,561											
合計	決算額		3,330	840	940	950	1,052	1,131	1,196											
	換算額		21,678	5,206	5,532	5,294	5,479	5,477	5,481											
	割引後		227,950	52,639	53,813	49,523	49,272	47,338	45,561											



施設番号	項目	基年(評価年)																									
		年度No	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182
和	和	R.7	R.8	R.9	R.10	R.11	R.12	R.13	R.14	R.15	R.16	R.17	R.18	R.19	R.20	R.21	R.22	R.23	R.24	R.25	R.26	R.27	R.28	R.29	R.30	R.31	
	和	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050
施設名	支出済費用総額	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	基準年度二割引率	1,000	1,040	1,081	1,124	1,169	1,217	1,265	1,315	1,366	1,423	1,482	1,535	1,591	1,651	1,717	1,789	1,847	1,847	2,025	2,108	2,191	2,278	2,369	2,464	2,563	
R.7年度	経過年数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
	費用区分	子防保全																									
3-1	工事費(償却施設)																										
	用地費																										
3-2	工事費(償却施設)																										
	用地費																										
4-1	工事費(償却施設)																										
	用地費																										
4-2	工事費(償却施設)																										
	用地費																										
5	工事費(償却施設)																										
	用地費																										
既(未)端用水路	工事費(償却施設)																										
	用地費																										
合計	決算額		31,780	46,637	46,637	46,655	46,655	46,655	46,655	46,655	54,147																
	割引後		30,558	43,118	41,459	39,878	38,345	42,794																			



(3) 資産価額の整理及び現在価値化

(第3表)

施設番号	項目	年度No																	
		98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115
施設名	支出済費用換算係数 基準年度=R.7年度 割引率	\$ 40	\$ 41	\$ 42	\$ 43	\$ 44	\$ 45	\$ 46	\$ 47	\$ 48	\$ 49	\$ 50	\$ 51	\$ 52	\$ 53	\$ 54	\$ 55	\$ 56	\$ 57
		1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982
R.7年度	経過年数	6.5100	6.1980	5.8850	5.5730	5.2080	4.8430	4.5830	4.2710	3.9670	3.6600	3.3500	3.0390	2.7270	2.4140	2.1000	1.7850	1.4700	1.1550
		0.0951	0.0989	0.1028	0.1069	0.1112	0.1157	0.1203	0.1251	0.1301	0.1353	0.1407	0.1463	0.1522	0.1583	0.1646	0.1712	0.1780	0.1852
1-1	費用区分																		
全	耐用年数 80年																		
	償却施設費 換算額																		
予防保全	耐用年数																		
	償却施設費 換算額																		
	用地費																		
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1-2	費用区分																		
全	耐用年数 80年																		
	償却施設費 換算額																		
予防保全	耐用年数																		
	償却施設費 換算額																		
	用地費																		
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2-1	費用区分																		
全	耐用年数 40年																		
	償却施設費 換算額																		
予防保全	耐用年数																		
	償却施設費 換算額																		
	用地費																		
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2-2	費用区分																		
全	耐用年数 40年																		
	償却施設費 換算額																		
予防保全	耐用年数																		
	償却施設費 換算額																		
	用地費																		
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 資産価額の整理及び現在価値化

(第3表)

施設番号	項目	年度No																			
		116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135
施設名	支出済費用換算係数 基準年度= 割引率	S. 58	S. 59	S. 60	S. 61	S. 62	S. 63	H. 1	H. 2	H. 3	H. 4	H. 5	H. 6	H. 7	H. 8	H. 9	H. 10	H. 11	H. 12	H. 13	H. 14
		1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
	R. 7年度 経過年数	-42	-41	-40	-39	-38	-37	-36	-35	-34	-33	-32	-31	-30	-29	-28	-27	-26	-25	-24	-23
1-1 施設 番号 1-1-1 1-2 施設 名称	費用区分																				
	全体																				
	耐用年数 80年																				
	償却施設費 換算額																				
	耐用年数																				
1-2 施設 番号 1-1-2 施設 名称	予防保全																				
	償却施設費 換算額																				
	耐用年数																				
	用地費																				
	計																				
2-1 施設 番号 1-1-2 施設 名称	費用区分																				
	全体																				
	耐用年数 40年																				
	償却施設費 換算額																				
	耐用年数																				
2-2 施設 番号 1-1-2 施設 名称	予防保全																				
	償却施設費 換算額																				
	耐用年数																				
	用地費																				
	計																				

(3) 資産価額の整理及び現在価値化

(第3表)

施設番号	項目	年度No																			
		136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155
施設名	支出済費用換算係数 基準年度= 割引率	H. 15	H. 16	H. 17	H. 18	H. 19	H. 20	H. 21	H. 22	H. 23	H. 24	H. 25	H. 26	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	R. 1	R. 2	R. 3	R. 4
		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
	R. 7年度 経過年数	-22	-21	-20	-19	-18	-17	-16	-15	-14	-13	-12	-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3
1-1 施設 番号 1-1-1 1-2 施設 名称	費用区分																				
	全体																				
	耐用年数 80年																				
	償却施設費 換算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	耐用年数																				
1-2 施設 番号 1-1-2 施設 名称	予防保全																				
	耐用年数																				
	償却施設費 換算額																				
	用地費																				
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2-1 施設 番号 1-1-2 施設 名称	費用区分																				
	全体																				
	耐用年数 40年																				
	償却施設費 換算額																				
	耐用年数																				
2-2 施設 番号 1-1-2 施設 名称	予防保全																				
	耐用年数																				
	償却施設費 換算額																				
	用地費																				
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 資産価額の整理及び現在価値化

(第3表)

施設番号	項目	基準年		評価期間：当該事業の工事期間								評価期間：一定期間 (40)									
		年度No	年度No	(評価年)	当該着工							当該完了									
		R.5	R.6	R.7	R.8	R.9	R.10	R.11	R.12	R.13	R.14	R.15	R.16	R.17	R.18	R.19	R.20	R.21	R.22	R.23	R.24
	西暦	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042
施設名	支出済費用換算係数	1.0180	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
	基準年度＝割引率	0.9246	0.9615	1.0000	1.0400	1.0816	1.1249	1.1699	1.2167	1.2653	1.3159	1.3686	1.4233	1.4802	1.5395	1.6010	1.6651	1.7317	1.8009	1.8730	1.9479
	R.7年度経過年数	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1-1	費用区分																				
1-1-1	全体	耐用年数 80年																			
		償却施設費 換算額																			
1-1-2	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																				
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1-2	費用区分				当該事業	当該事業	当該事業	当該事業	当該事業												
1-2-1	全体	耐用年数 80年							80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68
		償却施設費 換算額							54,572	53,890	53,208	52,526	51,844	51,162	50,480	49,798	49,116	48,434	47,752	47,070	46,388
1-2-2	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費				4,728			4,728													
	計	-	-	-	4,728	-	-	-	59,300	53,890	53,208	52,526	51,844	51,162	50,480	49,798	49,116	48,434	47,752	47,070	46,388
2-1	費用区分																				
2-1-1	全体	耐用年数 40年																			
		償却施設費 換算額																			
2-1-2	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																				
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2-2	費用区分																				
2-2-1	全体	耐用年数 40年							40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28
		償却施設費 換算額							50,635	49,369	48,103	46,837	45,571	44,305	43,039	41,773	40,507	39,241	37,975	36,709	35,443
2-2-2	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																				
	計	-	-	-	-	-	-	-	50,635	49,369	48,103	46,837	45,571	44,305	43,039	41,773	40,507	39,241	37,975	36,709	35,443

(3) 資産価額の整理及び現在価値化

(第3表)

施設番号	項目	評価期間：一定期間（40）																					
		年度No	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	
		和暦	R. 25	R. 26	R. 27	R. 28	R. 29	R. 30	R. 31	R. 32	R. 33	R. 34	R. 35	R. 36	R. 37	R. 38	R. 39	R. 40	R. 41	R. 42	R. 43	R. 44	
	西暦	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062		
施設名	支出済費用換算係数	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000		
	基準年度＝割引率	2.0258	2.1068	2.1911	2.2788	2.3699	2.4647	2.5633	2.6658	2.7725	2.8834	2.9987	3.1187	3.2434	3.3731	3.5081	3.6484	3.7943	3.9461	4.1039	4.2681		
	R.7年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37		
1-1	費用区分																						
	全体	耐用年数	80年																				
1-2	予防保全	耐用年数																					
	用地費																						
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1-2	費用区分																						
	全体	耐用年数	80年	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48
1-2	予防保全	耐用年数																					
	用地費																						
	計	45,706	45,024	44,342	43,660	42,978	42,296	41,614	40,932	40,250	39,568	38,886	38,204	37,522	36,840	36,158	35,476	34,794	34,112	33,430	32,748		
2-1	費用区分																						
	全体	耐用年数	40年																				
2-2	予防保全	耐用年数																					
	用地費																						
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2-2	費用区分																						
	全体	耐用年数	40年	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
2-2	予防保全	耐用年数																					
	用地費																						
	計	34,177	32,911	31,645	30,379	29,113	27,847	26,581	25,315	24,049	22,783	21,517	20,251	18,985	17,719	16,453	15,187	13,921	12,655	11,390	10,124		

(3) 資産価額の整理及び現在価値化

(第3表)

施設番号	項目	評価期間：一定期間 (40)							事業着工 時点の 資産価額	評価期間 終了時点 (工期+40) の資産 価額	
		年度No	196	197	198	199	200	201			202
		和暦	R.45	R.46	R.47	R.48	R.49	R.50			R.51
	支出済費用換算係数	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000		
	基準年度=	4.4388	4.6164	4.8010	4.9931	5.1928	5.4005	5.6165			
	R.7年度	38	39	40	41	42	43	44			
1-1	費用区分										
全 体	耐用年数	80年									
	償却施設費換算額										
予防保全	耐用年数										
	償却施設費換算額										
	用地費										
	計	-	-	-	-	-	-	-	-		
1-2	費用区分							再整備			
全 体	耐用年数	80年	47	46	45	44	43	42	41		
	償却施設費換算額		32,066	31,384	30,702	30,020	29,338	28,656	27,974		
予防保全	耐用年数										
	償却施設費換算額										
	用地費										
	計		32,066	31,384	30,702	30,020	29,338	28,656	27,974		
									4,672		
2-1	費用区分										
全 体	耐用年数	40年									
	償却施設費換算額										
予防保全	耐用年数										
	償却施設費換算額										
	用地費										
	計		-	-	-	-	-	-	-		
2-2	費用区分								再整備		
全 体	耐用年数	40年	7	6	5	4	3	2	1		
	償却施設費換算額		8,859	7,593	6,328	5,062	3,797	2,531	1,266		
予防保全	耐用年数										
	償却施設費換算額										
	用地費										
	計		8,859	7,593	6,328	5,062	3,797	2,531	1,266		
									8,669		

(3) 資産価額の整理及び現在価値化

(第3表)

施設番号	項目	年度No																		
		98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	
		和	層	層	層	層	層	層	層	層	層	層	層	層	層	層	層	層	層	
施設名	支出済費用換算係数	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	
	基準年度 = 割引率	0.0951	0.0989	0.1028	0.1069	0.1112	0.1157	0.1203	0.1251	0.1301	0.1353	0.1407	0.1463	0.1522	0.1583	0.1646	0.1712	0.1780	0.1852	
	R.7年度 経過年数	-60	-59	-58	-57	-56	-55	-54	-53	-52	-51	-50	-49	-48	-47	-46	-45	-44	-43	
3-1 廃 (坂下第2工 体)	費用区分																			
	全体	耐用年数	80年																	
		償却施設費	換算額																	
	予防保全	耐用年数																		
		償却施設費	換算額																	
	用地費																			
	計																			
3-2 更 (坂下第2工 体)	費用区分																			
	全体	耐用年数	80年																	
		償却施設費	換算額																	
	予防保全	耐用年数																		
		償却施設費	換算額																	
	用地費																			
	計																			
4-1 廃 (坂下第2工 体)	費用区分																			
	全体	耐用年数	40年																	
		償却施設費	換算額																	
	予防保全	耐用年数																		
		償却施設費	換算額																	
	用地費																			
	計																			
4-2 更 (坂下第2工 体)	費用区分																			
	全体	耐用年数	40年																	
		償却施設費	換算額																	
	予防保全	耐用年数																		
		償却施設費	換算額																	
	用地費																			
	計																			
5 既 (未端用水 路)	費用区分	施設建設	施設建設	施設建設	施設建設	施設建設	施設建設	施設建設												
	全体	耐用年数	30年						30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
		償却施設費	換算額						54,147	52,342	50,537	48,732	46,927	45,122	43,317	41,512	39,707	37,902	36,097	34,292
	予防保全	耐用年数																		
		償却施設費	換算額																	
	用地費																			
	計							54,147	52,342	50,537	48,732	46,927	45,122	43,317	41,512	39,707	37,902	36,097	34,292	

(3) 資産価額の整理及び現在価値化

(第3表)

施設番号	項目																						
	年度No		116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	
	和 暦		S. 58	S. 59	S. 60	S. 61	S. 62	S. 63	H. 1	H. 2	H. 3	H. 4	H. 5	H. 6	H. 7	H. 8	H. 9	H. 10	H. 11	H. 12	H. 13	H. 14	
	西 暦		1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	
施設名	支出済費用換算係数		1.7810	1.7700	1.7680	1.7920	1.8020	1.7650	1.6930	1.6260	1.5610	1.5370	1.5230	1.5170	1.4950	1.4860	1.4590	1.4870	1.4990	1.4950	1.5140	1.5180	
	基準年度 = 割引率		0.1926	0.2003	0.2083	0.2166	0.2253	0.2343	0.2437	0.2534	0.2636	0.2741	0.2851	0.2965	0.3083	0.3207	0.3335	0.3468	0.3607	0.3751	0.3901	0.4057	
	R. 7年度 経過年数		-42	-41	-40	-39	-38	-37	-36	-35	-34	-33	-32	-31	-30	-29	-28	-27	-26	-25	-24	-23	
3-1 廃 (坂下第2 工 体	費用区分																						
	全 体	耐用年数 80年																					
		償却施設費 換算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費 換算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
用地費		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3-2 更 (坂下第2 工 体	費用区分																						
	全 体	耐用年数 80年																					
		償却施設費 換算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費 換算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
用地費		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
4-1 廃 (坂下第2 工 構造物	費用区分																						
	全 体	耐用年数 40年																					
		償却施設費 換算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費 換算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
用地費		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
4-2 更 (坂下第2 工 構造物	費用区分																						
	全 体	耐用年数 40年																					
		償却施設費 換算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費 換算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
用地費		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
5 既 (未 端用水 路	費用区分																						
	全 体	耐用年数 30年	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	再整備	30	29
		償却施設費 換算額	32,487	30,682	28,877	27,072	25,267	23,462	21,657	19,852	18,047	16,242	14,437	12,632	10,827	9,023	7,218	5,414	3,609	1,805	54,147	52,342	
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費 換算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
用地費		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計		32,487	30,682	28,877	27,072	25,267	23,462	21,657	19,852	18,047	16,242	14,437	12,632	10,827	9,023	7,218	5,414	3,609	1,805	54,147	52,342		

(3) 資産価額の整理及び現在価値化

(第3表)

施設番号	項目	年度No																																							
		136		137		138		139		140		141		142		143		144		145		146		147		148		149		150		151		152		153		154		155	
		H.15		H.16		H.17		H.18		H.19		H.20		H.21		H.22		H.23		H.24		H.25		H.26		H.27		H.28		H.29		H.30		R.1		R.2		R.3		R.4	
		2003		2004		2005		2006		2007		2008		2009		2010		2011		2012		2013		2014		2015		2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022	
施設名	支出済費用換算係数	1.5190	1.4950	1.4440	1.4190	1.4080	1.3250	1.3630	1.3510	1.3330	1.3860	1.3280	1.2930	1.2920	1.3130	1.2630	1.2570	1.2360	1.2480	1.1560	1.0430																				
	基準年度= 割引率	0.4220	0.4388	0.4564	0.4746	0.4936	0.5134	0.5339	0.5553	0.5775	0.6006	0.6246	0.6496	0.6756	0.7026	0.7307	0.7599	0.7903	0.8219	0.8548	0.8890																				
	R.7年度 経過年数	-22	-21	-20	-19	-18	-17	-16	-15	-14	-13	-12	-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3																				
3-1 廃(坂下第2)埋体	費用区分																																								
	全体	耐用年数 80年																																							
		償却施設費 換算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	予防保全	耐用年数																																							
		償却施設費 換算額																																							
	用地費																																								
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
3-2 廃(坂下第2)埋体	費用区分																																								
	全体	耐用年数 80年																																							
		償却施設費 換算額																																							
	予防保全	耐用年数																																							
		償却施設費 換算額																																							
	用地費																																								
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
4-1 廃(坂下第2)構築物	費用区分																																								
	全体	耐用年数 40年																																							
		償却施設費 換算額																																							
	予防保全	耐用年数																																							
		償却施設費 換算額																																							
	用地費																																								
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
4-2 廃(坂下第2)構築物	費用区分																																								
	全体	耐用年数 40年																																							
		償却施設費 換算額																																							
	予防保全	耐用年数																																							
		償却施設費 換算額																																							
	用地費																																								
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
5 既(未端用水路)	費用区分																																								
	全体	耐用年数 30年	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9																			
		償却施設費 換算額	50,537	48,732	46,927	45,122	43,317	41,512	39,707	37,902	36,097	34,292	32,487	30,682	28,877	27,072	25,267	23,462	21,657	19,852	18,047	16,242																			
	予防保全	耐用年数																																							
		償却施設費 換算額																																							
	用地費																																								
	計	50,537	48,732	46,927	45,122	43,317	41,512	39,707	37,902	36,097	34,292	32,487	30,682	28,877	27,072	25,267	23,462	21,657	19,852	18,047	16,242																				

(3) 資産価額の整理及び現在価値化

(第3表)

施設番号	項目	基準年		評価期間：当該事業の工事期間								評価期間：一定期間 (40)										
		(評価年)		当該着工				当該完了														
		年度No	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175
和	R.5	R.6	R.7	R.8	R.9	R.10	R.11	R.12	R.13	R.14	R.15	R.16	R.17	R.18	R.19	R.20	R.21	R.22	R.23	R.24		
西	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042		
施設名	支出済費用換算係数	1.0180	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	
	基準年度＝割引率	0.9246	0.9615	1.0000	1.0400	1.0816	1.1249	1.1699	1.2167	1.2653	1.3159	1.3686	1.4233	1.4802	1.5395	1.6010	1.6651	1.7317	1.8009	1.8730	1.9479	
	R.7年度経過年数	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
3-1 廃 坂下第2 二 埋体	費用区分																					
	全体	耐用年数	80年																			
		償却施設費	換算額																			
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費	換算額																			
	用地費																					
	計																					
3-2 更 坂下第2 二 埋体	費用区分				当該事業	当該事業	当該事業	当該事業	当該事業													
	全体	耐用年数	80年						80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	
		償却施設費	換算額						27,808	27,460	27,112	26,764	26,416	26,068	25,720	25,372	25,024	24,676	24,328	23,980	23,632	
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費	換算額																			
	用地費				4,728			4,728														
	計				4,728			32,536	27,460	27,112	26,764	26,416	26,068	25,720	25,372	25,024	24,676	24,328	23,980	23,632		
4-1 廃 坂下第2 二 構築物	費用区分																					
	全体	耐用年数	40年																			
		償却施設費	換算額																			
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費	換算額																			
	用地費																					
	計																					
4-2 更 坂下第2 二 構築物	費用区分				当該事業	当該事業	当該事業	当該事業	当該事業													
	全体	耐用年数	40年						40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	
		償却施設費	換算額						28,109	27,406	26,703	26,000	25,297	24,594	23,891	23,188	22,485	21,782	21,079	20,376	19,673	
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費	換算額																			
	用地費																					
	計							28,109	27,406	26,703	26,000	25,297	24,594	23,891	23,188	22,485	21,782	21,079	20,376	19,673		
5 既 未端用水路	費用区分									再整備												
	全体	耐用年数	30年	8	7	6	5	4	3	2	1	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	
		償却施設費	換算額	14,437	12,632	10,827	9,023	7,218	5,414	3,609	1,805	54,147	52,342	50,537	48,732	46,927	45,122	43,317	41,512	39,707	37,902	36,097
	予防保全	耐用年数																				
		償却施設費	換算額																			
	用地費																					
	計		14,437	12,632	10,827	9,023	7,218	5,414	3,609	1,805	54,147	52,342	50,537	48,732	46,927	45,122	43,317	41,512	39,707	37,902	36,097	

(3) 資産価額の整理及び現在価値化

(第3表)

施設番号	項目	評価期間：一定期間（40）																					
		年度No		176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195
		和	層	R. 25	R. 26	R. 27	R. 28	R. 29	R. 30	R. 31	R. 32	R. 33	R. 34	R. 35	R. 36	R. 37	R. 38	R. 39	R. 40	R. 41	R. 42	R. 43	R. 44
		西	層	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062
施設名	支出済費用換算係数	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	
	基準年度＝	割引率	2.0258	2.1068	2.1911	2.2788	2.3699	2.4647	2.5633	2.6658	2.7725	2.8834	2.9987	3.1187	3.2434	3.3731	3.5081	3.6484	3.7943	3.9461	4.1039	4.2681	
	R.7年度	経過年数	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	
3-1 廃 （坂下第2） 二 一体	費用区分																						
	全体	耐用年数	80年																				
		償却施設費	換算額																				
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費	換算額																				
	用地費																						
	計																						
3-2 更 （坂下第2） 二 一体	費用区分																						
	全体	耐用年数	80年	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48
		償却施設費	換算額	23,284	22,936	22,588	22,240	21,893	21,545	21,198	20,850	20,503	20,155	19,808	19,460	19,113	18,765	18,418	18,070	17,723	17,375	17,028	16,680
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費	換算額																				
	用地費																						
	計		23,284	22,936	22,588	22,240	21,893	21,545	21,198	20,850	20,503	20,155	19,808	19,460	19,113	18,765	18,418	18,070	17,723	17,375	17,028	16,680	
4-1 廃 （坂下第2） 二 構築物	費用区分																						
	全体	耐用年数	40年																				
		償却施設費	換算額																				
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費	換算額																				
	用地費																						
	計																						
4-2 更 （坂下第2） 二 構築物	費用区分																						
	全体	耐用年数	40年	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
		償却施設費	換算額	18,970	18,267	17,564	16,861	16,158	15,455	14,753	14,050	13,348	12,645	11,943	11,240	10,538	9,835	9,133	8,430	7,728	7,025	6,323	5,620
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費	換算額																				
	用地費																						
	計		18,970	18,267	17,564	16,861	16,158	15,455	14,753	14,050	13,348	12,645	11,943	11,240	10,538	9,835	9,133	8,430	7,728	7,025	6,323	5,620	
5 既 （未端用） 水路	費用区分																					再整備	
	全体	耐用年数	30年	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	30	29
		償却施設費	換算額	32,487	30,682	28,877	27,072	25,267	23,462	21,657	19,852	18,047	16,242	14,437	12,632	10,827	9,023	7,218	5,414	3,609	1,805	54,147	52,342
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費	換算額																				
	用地費																						
	計		32,487	30,682	28,877	27,072	25,267	23,462	21,657	19,852	18,047	16,242	14,437	12,632	10,827	9,023	7,218	5,414	3,609	1,805	54,147	52,342	

(3) 資産価額の整理及び現在価値化

(第3表)

施設番号	項目	評価期間：一定期間(40)								事業着工 時点の 資産価額	評価期間 終了時点 (工期+40) の資産 価額
		評価期間							評価終了		
		年度No	196	197	198	199	200	201	202		
	和 暦	R.45	R.46	R.47	R.48	R.49	R.50	R.51			
	西 暦	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069			
施設名	支出済費用換算係数	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000			
	基準年度= 割引率	4.4388	4.6164	4.8010	4.9931	5.1928	5.4005	5.6165			
	R.7年度 経過年数	38	39	40	41	42	43	44			
3-1	費用区分										
(廃)坂下第2工区	全体	耐用年数	80年								
		償却施設費	換算額								
	予防保全	耐用年数									
		償却施設費	換算額								
	用地費									(割引後)	
	計										
3-2	費用区分								再整備		
(更)坂下第2工区	全体	耐用年数	80年	47	46	45	44	43	42	41	
		償却施設費	換算額	16,333	15,985	15,638	15,290	14,943	14,595	14,248	
	予防保全	耐用年数									
		償却施設費	換算額								
	用地費									(割引後)	
	計		16,333	15,985	15,638	15,290	14,943	14,595	14,248	2,380	
4-1	費用区分										
(廃)坂下第2工区	全体	耐用年数	40年								
		償却施設費	換算額								
	予防保全	耐用年数									
		償却施設費	換算額								
	用地費									(割引後)	
	計										
4-2	費用区分									再整備	
(更)坂下第2工区	全体	耐用年数	40年	7	6	5	4	3	2	1	
		償却施設費	換算額	4,918	4,215	3,513	2,810	2,108	1,405	703	
	予防保全	耐用年数									
		償却施設費	換算額								
	用地費									(割引後)	
	計		4,918	4,215	3,513	2,810	2,108	1,405	703	4,812	
5	費用区分										
(既)未端用水路	全体	耐用年数	30年	28	27	26	25	24	23	22	
		償却施設費	換算額	50,537	48,732	46,927	45,122	43,317	41,512	39,707	
	予防保全	耐用年数									
		償却施設費	換算額								
	用地費									(割引後)	
	計		50,537	48,732	46,927	45,122	43,317	41,512	39,707	10,411	
										6,488	





作物生產效果

〔 新 設 整 備 〕  
該 当 事 項 な し

〔 更 新 整 備 〕

1. 面積関係の算定

ア. 地目別面積及び本地面積一覧表

(第12表)

現況 (なかりせば)	計 (現況)	農用地				非農用地		合計 (ha)	うち 本地面積 (ha)
		田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	牧草畑 (ha)	計 (ha)	農道・ 用排水路 (ha)		
農 用 地	田 (ha)	( 2.39 ) ( 2.39 ) < - >	-			( 2.39 ) ( 2.39 ) < - >	( - ) ( - ) < - >	( 2.39 ) ( 2.39 ) < - >	( 2.30 ) ( 2.30 ) < - >
	輪換耕地 (ha)	( 2.39 ) ( 2.39 ) < - >	-			( 2.39 ) ( 2.39 ) < - >		( 2.39 ) ( 2.39 ) < - >	( 2.30 ) ( 2.30 ) < - >
	普通畑 (ha)					( - ) ( - ) < - >		( - ) ( - ) < - >	( - ) ( - ) < - >
	樹園地 (ha)					( - ) ( - ) < - >		( - ) ( - ) < - >	( - ) ( - ) < - >
	牧草畑 (ha)					( - ) ( - ) < - >		( - ) ( - ) < - >	( - ) ( - ) < - >
	計 (ha)	( 2.39 ) ( 2.39 ) < - >	( - ) ( - ) < - >	( - ) ( - ) < - >	( - ) ( - ) < - >	( 2.39 ) ( 2.4 ) < - >	( - ) ( - ) < - >	( 2.39 ) ( 2.39 ) < - >	( 2.30 ) ( 2.30 ) < - >
非 農 用 地	農道・ 用排水路 (ha)				( - ) ( - ) < - >	-	( - ) ( - ) < - >		
	その他 (ha)				( - ) ( - ) < - >		( - ) ( - ) < - >		
合 計 (ha)	( 2.39 ) ( 2.39 ) < - >	( - ) ( - ) < - >	( - ) ( - ) < - >	( - ) ( - ) < - >	( 2.39 ) ( 2.39 ) < - >	( - ) ( - ) < - >	( 2.39 ) ( 2.39 ) < - >		
うち本地面積 (ha)	( 2.30 ) ( 2.30 ) < - >	( - ) ( - ) < - >	( - ) ( - ) < - >	( - ) ( - ) < - >	( 2.30 ) ( 2.30 ) < - >				

※注記  
 ・田の( )は、水田の畑利用で内数  
 ・田の< >は、排水に係る不可避受益で外数

イ. 本地率

(第12表の作業表)

地 目 班	傾 斜、 区 画 の 条 件	本地率 (%)	備 考
		現 況	
田 → 田	1/1000, 30 a 区画	98.0	別添本地率算定表より

# 本地率算定表

(第12表の参考表)

区分	標準区画イメージ図	本地率算定
現況 (30a区画)	<p style="text-align: center;">30 m 畦畔 100 m 0.20 田面 0.15 0.20 0.15 0.15</p>	<p>区画面積： 100 m × 30 m = 3,000 m<sup>2</sup></p> <p>田面差： 0.20 m - 0.15 m = 0.05 m</p> <p>畦畔面積： ( 0.20 m + 0.15 m + 0.15 m ) × 100 m = 50 m<sup>2</sup></p> <p>本地面積： 3,000 m<sup>2</sup> - 50 m<sup>2</sup> = 2,950 m<sup>2</sup></p> <p>本地率： 2,950 m<sup>2</sup> ÷ 3,000 m<sup>2</sup> × 100 = 98 %</p>

ウ. 耕地区分(更新)

(第13表の作業表)

地 目 班	市町村名	区域番号	現 況 本 地 面 積 (ha)	対 策 工 種	事 業 な か り せ ば						備 考
					土 地 条 件	被 害 の 種 類 別 発 生 面 積					
					乾 質	干 害 (ha)	水 害 (ha)				
田 → 田	福 井 市	I	2.3	用水改良	I	-	-				
計			2.3		-	-	-	-	-	-	
普通畑 → 普通畑											
計			-		-	-	-	-	-	-	
その他 → その他											
計			-		-	-	-	-	-	-	
合 計			2.3		-	-	-	-	-	-	

工. 対策耕種と効果要因別面積（更新）

（第13表）

市町村名	区域 番号	面 積				更 新 整 備											備 考
		耕地面積		本地面積		対策工種			事業なかりせば効果の要因とその程度								
		現況 (ha)	計画 (ha)	現況 (ha)	計画 (ha)	用 水 再 建 設 (ha)	排 水 再 建 設 (ha)	畑 漕 再 建 設 (ha)	減産防止		立 地 条 件 の 好 転						
									干 害 防 止 (ha)	水 害 防 止 (ha)	乾田化		水管理 改 良		湿 潤 灌 漑 (ha)	田 畑 輪 換 (ha)	
											増収率(%)		増収率(%)				
6	3	58															
(ha)	(ha)	(ha)	(ha)														
福 井 市	I	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	-	用水改良
計		2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	-	
計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計		2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	-	

才、地目別作付面積（更新）

（第14表）

地 目		田					普 通 畑					計				
時 点		現 況 (ha)		計 画 (ha)		増減(ha)	現 況 (ha)		計 画 (ha)		増減(ha)	現 況 (ha)		計 画 (ha)		増減(ha)
本 地 面 積		2.3		2.3		—	—		—		—	2.3		2.3		—
表 裏	作 物 名	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)
表	水 稲	1.1	47.8	1.1	47.8	—						1.1	47.8	1.1	47.8	—
	大 麦	1.1	47.8	1.1	47.8	—						1.1	47.8	1.1	47.8	—
	き ゅ う り	0.1	4.3	0.1	4.3	—						0.1	4.3	0.1	4.3	—
小 計		2.3	99.9	2.3	99.9	—	—	—	—	—	—	2.3	99.9	2.3	99.9	—
裏																
小 計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		2.3	99.9	2.3	99.9	—	—	—	—	—	—	2.3	99.9	2.3	99.9	—

2. 作物増加生産量関係の算定  
ア. 現況単収の算定（更新）

(第15表)

作物名	市町村名		福井市						計（平均）							
	項目	年次	作付面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	作付面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	作付面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	作付面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)		
水	稲	R 1 年	2,550	525	13,400									2,550	525	13,400
		R 2 年	2,550	522	13,300									2,550	522	13,300
		R 3 年	2,540	511	13,000									2,540	512	13,000
		R 4 年	2,450	518	12,700									2,450	518	12,700
		R 5 年	2,420	500	12,100									2,420	500	12,100
		平均	2,502	515	12,900									2,502	515	12,900
大	麦	R 1 年	886	336	2,970									886	335	2,970
		R 2 年	928	329	3,050									928	329	3,050
		R 3 年	972	328	3,190									972	328	3,190
		R 4 年	1,040	361	3,740									1,040	360	3,740
		R 5 年	1,020	303	3,090									1,020	303	3,090
		平均	969	331	3,208									969	331	16,040
きゅうり		R 1 年		6,300											6,300	
		R 2 年		5,600											5,600	
		R 3 年		4,800											4,800	
		R 4 年		6,100											6,100	
		R 5 年		6,300											6,300	
		平均		5,820											5,820	
		平均														
		平均														



ウ. 効果要因別面積と生産増減量の算定（更新）

（第18表）

地 目 班	作物名	作付面積		効果要因 とその 程 度	効 果 発 生 面 積 X (ha)	単 収 等							生 産 増 減 量 あ り せ ば 単 収 増 H=X*F ( t )	備 考	
		現 況 〔 な かり せ ば 〕 (ha)	計 画 〔 現 況 〕 (ha)			あ り せ ば 現 況 単 収 A (kg/10a)	な かり せ ば					あ り せ ば 単 収 G=A-F (kg/10a)			
							立地条件好転			減産防止					機能喪 失によ り失わ れる 単 収 F=D+E (kg/10a)
							失れ る増 収率 B (%)	機 能 喪 失 時 の 単 収 C= A/(1+B) (kg/10a)	失われ る10 a 当 り 増加量 D= A-C (kg/10a)	失われ る10 a 当 被害 防止量 E (kg/10a)	な かり せ ば 単 収 G=A-F (kg/10a)				
田	水 稲	1.1	1.1	水 管 理 -3	1.1	529	58	222	307		307		3.4		
				小 計		529		222	307		307	222	3.4		
	大 麦	1.1	1.1	田 畑 輪 換	1.1	331	15	288	43		43		0.5		
				小 計		331		288	43		43	288	0.5		
	き ゅ う り	0.1	0.1	田 畑 輪 換	0.1	5,820	15	5,061	759		759		0.8		
				小 計		5,820		5,061	759		759	5,061	0.8		
	普通畑														
合 計	2.3	2.3													

工. 生産物単価の算定（更新）

単価算出年度：（ 令和5 年 消費者物価指数 = 106.4 ）

（第19表）

作物名	算出 単位	年度	出 回 り 期 価 格 （ 円 ）													出回り 期平均 価格 （円）	消費者 物 価 指 数	1 次 修正値	5ヶ年 相対平 均価格 （円）	決 定 価 格 （円）	単 位 当 り 価 格 （円/kg）	備 考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
水 稲	1.0kg	R.1	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	262	100.2	2.61	2.32	247	247	福井県調べ	
		R.2	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	250	100.0	2.50						
		R.3	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	206	100.1	2.06						
		R.4	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	222	103.3	2.15						
		R.5	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	244	106.4	2.29						
大 麦	1.0kg	R.1	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	50	100.2	0.50	0.49	52	52	福井県調べ		
		R.2	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	50	100.0	0.50						
		R.3	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	50	100.1	0.50						
		R.4	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	50	103.3	0.48						
		R.5	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	49	106.4	0.46						
き ゅ う り	1.0kg	R.1	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	259	100.2	2.58	2.55	271	271 /kg	福井市調べ		
		R.2	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	260	100.0	2.60						
		R.3	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	252	100.1	2.52						
		R.4	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	254	103.3	2.46						
		R.5	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	276	106.4	2.59						

才. 純益率・所得率の算定（更新）

（第20表）

作物名	純益率(%)		所得率(%)		備考
	作付増減	単収増加	作付増減	単収増加	
水 稲	—	89	27	89	通達資料(都府県)
大 麦	9	90	23	88	通達資料
き ゅ う り	17	91	45	92	通達資料:その他果菜類

カ. 生産増減効果の算定（更新）

(第21表)

地 目 班	作物名	作付面積		効果要因 とその 程度	効果 発生 面積 X (ha)	単 収 等						生産 増減量 あり せ ば 単収増 H=X*F (t)	生産物 単 価 (千円/t)	増 加 粗 収 益 額 (千円)	年 効 果 額		年増加所得額			
		現 況 〔 なかり せ ば 〕 (ha)	計 画 〔 現 況 〕 (ha)			あり せ ば 現 況 単 収 A (kg/10a)	な かり せ ば				あり せ ば 単収増 H=X*F (t)				純 益 率 (%)	増 加 純 益 額 (千円)	所 得 率 (%)	増 加 所 得 額 (千円)		
							立地条件好転		減産防止										機能喪 失によ り失わ れる 単 収 F=D+E (kg/10a)	なかり せ ば 単 収 G=A-F (kg/10a)
							失れ る増 収率 B (%)	機 能 喪 失 時 の 単 収 C= A/(1+B) (kg/10a)	失われ る10 a 当り 増加量 D= A-C (kg/10a)	失われ る10 a 当被害 防止量 E (kg/10a)										
田	水 稲	1.1	1.1	水管理-3	1.1	529	58	222	307	307	3.4	254	864	89	769					
				小 計		529		222	307	307	222	3.4		864		769				
	大 麦	1.1	1.1	田畑輪換	1.1	331	15	288	43	43	0.5	53	27	90	24					
				小 計		331		288	43	43	288	0.5		27		24				
	きゅうり	0.1	0.1	田畑輪換	0.1	5,820	15	5,061	759	759	0.8	293	234	91	213					
				小 計		5,820		5,061	759	759	5,061	0.8		234		213				
普通畑																				
合 計	2.3	2.3										1,125		1,006						

キ. 作物生産効果の総括（更新）

（第22表）

効果名	年効果額 (千円)	年増加所得額 (千円)	備考
事業なかりせば効果額	1,006		再建設整備
計	1,006	-	

〔 新 設 + 更 新 〕

キ. 生産増減効果の算定（新設+更新）

(第23表)

地 目 班	作物名	作付面積				効果要因 とその 程 度	効果 発生 面積 X (ha)	単 収 等								生産増減量		生産 物 単 価 K (千円/t)	増 加 粗 収 益 額 L= I・J* K (千円)	年 効 果 額		年増加所得額				
		更新整備		新設整備				現 況 単 収 A (kg/10a)	なかりせば		ありせば				単 作 付 増 減 J=X* A・H (t)	純 益 率 M (%)	純 益 額 N= L*M (千円)			所 得 率 O (%)	所 得 額 P= L*O (千円)					
		現況	計画	現況	計画				増減	立地条 件機能 喪失時 の単収 B (kg/10a)	機能喪 失によ り失わ れる 単 収 C= A-B (kg/10a)	D= A-C (kg/10a)	10a当 たり 被 害 防 止 量 E (kg/10a)	無被害 単 収 F= A-D (kg/10a)								10a当 たり 増加量 G (kg/10a)	計 画 単 収 H= F+G (kg/10a)	I=X*C ・E・G (t)	J=X* A・H (t)	
																										増 益
田 (更新整備)	水 稲	1.1	1.1				1.1	529	222	307						3.4		254	864	89	769					
		小 計						529	222	307	222					3.4			864		769					
	大 麦	1.1	1.1				1.1	331	288	43						0.5		53	27	90	24					
		小 計						331	288	43	288					0.5			27		24					
	き ゅ う り	0.1	0.1				0.1	5,820	5,061	759						0.8		293	234	91	213					
		小 計						5,820	5,061	759	5,061					0.8			234		213					
普 通 畑 (更新整備)																										
	小 計																									
小 計	2.3	2.3																1,125		1,006						
合 計																		1,125		1,006						

ク. 作物生産効果の総括

(第24表)

効果名	年効果額 (千円)	年増加所得額 (千円)	備考
作物生産効果 (事業ありせば効果額)	-	-	新設整備
作物生産効果 (事業なかりせば効果額)	1,006		再建設整備
計	1,006	-	

# 當農經費節減效果

ア. 営農の土地基盤条件

(第1表)

地 目		田									
項目	区分名	現 況					計 画				
		標準区画 湿 田					標準区画 乾 田				
区 画	30 a						30 a				
形 状	m × m 40m × 30m	m × m	m × m	m × m	m × m	m × m	m × m 40m × 75m	m × m	m × m	m × m	m × m
農道 { 幹線 支線	m/ha As舗装	m/ha	m/ha	m/ha	m/ha	m/ha	m/ha As舗装	m/ha	m/ha	m/ha	m/ha
	砂利舗装						砂利舗装				
土 壤	中粒質						中粒質				
水 利	用排水 不備						用排水 完備				
乾 湿	湿						乾				
面 積	ha 2.3	ha	ha	ha	ha	ha	ha 2.3	ha	ha	ha	ha
構 成 比	% 100.0	%	%	%	%	%	% 100.0	%	%	%	%

〔 更 新 整 備 〕

ア. 営農の現状

作物名		水 稲		現 況	30a(標 準)乾 田	用水供給	用 水 路		排水管理	排 水 路		改良区分	用 水			(第8表)
作業名	種子与措	苗代一切	本田耕起			本田整地	田植	追肥	除草	水管理(用)	”(排)	防除	稲刈脱穀	運搬	乾燥調整(稲)	計
作業期間	10上-03下	03下-04下	10下-04下			04下-05上	05上-05上	05下-07下	06中-07上	04下-09上	04下-09上	06中-09上	08下-10上	08下-10上	08下-10上	
作業方法回数等																
作業手段(機械名)		共同施設	トラクタ-32ps ローリー			トラクタ-32ps ハー	田植機 5条	動力散粒機	動力散粒機	人力	人力	動力散粉機	コンバイン	トラック(軽)	共同施設	
ha当り所要時間	人力		18.1			10.0	15.8	4.0	49.0	41.0	30.0	1.2	20.2	9.0		198.3
	機械力		18.1			10.0	7.9	2.0	2.0			0.6	10.1	9.0		59.7
時間当り費用	人力		1,761			1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761		
	機械力		0			0	0	0	0			0	0	0		
ha当り経費	人力		31,874			17,610	27,824	7,044	86,289	72,201	52,830	2,113	35,572	15,849		349,206
	機械力		0			0	0	0	0			0	0	0		
ha当り使用資材量								追肥1号 150kg	ハクサ-10kg			ラバッサ 40kg				

作物名		大 麦		現 況	30a(標 準)乾 田	用水供給	用 水 路		排水管理	排 水 路		改良区分	用 水			(第8表)
作業名	圃場排水	石灰散布	種子与措	耕起	施肥播種	防除			栽培管理(用)	”(排)	”(栽)	収穫	運搬	乾燥調整(麦)		計
作業期間	09下	09下-10上		09下-10上	10上-10中	05上			11上-05下	11上-05下	11上-05下	06中	06中-06下	06中-06下		
作業方法回数等																
作業手段(機械名)	トラクタ-32ps トレンチャー	人力	人力	トラクタ-32ps ローリー	トラクタ-32ps グレンドリル	動力散粉機			人力	人力	人力	コンバイン	トラック(軽)	共同施設		
ha当り所要時間	人力	2.8	10.0	2.1	9.1	10.4	2.4		0.5	1.5	5.6	17.0	5.4			66.8
	機械力	1.4			9.1	5.2	1.2					8.5	5.4			30.8
時間当り費用	人力	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761		1,761	1,761	1,761	1,761	1,761			
	機械力	0			0	0	0					0	0			
ha当り経費	人力	4,931	17,610	3,698	16,025	18,314	4,226		881	2,642	9,862	29,937	9,509			117,635
	機械力	0			0	0	0					0	0			
ha当り使用資材量		珪酸2t, 熔燐0.4t	ハントT			7ラジ ン400kg			ニカブ ラック 400kg							

作物名	きゅうり		現況	30a(標準)乾田		用水供給	用水路		排水管理	排水路		改良区分	用水			(第8表)
作業名	育苗	石灰散布	施肥	耕起整地	畦立	定植	除草剤散布	防除	栽培管理(用)	“(排)	“(栽)	収穫	運搬	出荷調整	跡地整地	計
作業期間		04上	04上	04上	04中	04中-04下	05中	05中	04下-08中	04下-08中	04下-08中	07上-08中	07上-08中	07上-08中	07上-08中	
作業方法回数等																
作業手段(機械名)	共同施設	人力	動力散粒機	トラクタ-32ps ローリー-	人力	人力	動力噴霧機	動力噴霧機	人力	人力	人力	人力	トラック(軽)	共同施設	トラクタ-32ps ローリー-	
ha当り所要時間	人力	10.0	2.0	9.1	30.0	112.0	1.7	13.3	575.8	121.2	697.0	1,583.0	46.4		167.1	3,368.6
	機械力		1.0	9.1			1.7	13.3					46.4		9.1	80.6
時間当り費用	人力	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761		1,761	
	機械力		0	0			0	0					0		0	
ha当り経費	人力	17,610	3,522	16,025	52,830	197,232	2,994	23,421	1,013,984	213,433	1,227,417	2,787,663	81,710		294,263	5,932,104
	機械力		0	0			0	0					0		0	
ha当り使用資材量		7ホ <sup>ン</sup> 1t, 燐200g	そさい3号400kg				リンザ <sup>ク</sup> -水和剤300ml	クリーンヒッター-300ml								

作物名			現況			用水供給			排水管理			改良区分				(第8表)
作業名																計
作業方法																
作業期間																
作業方法回数等																
作業手段(機械名)																
ha当り所要時間	人力															
	機械力															
時間当り費用	人力															
	機械力															
ha当り経費	人力															
	機械力															
ha当り使用資材量																

イ. 事業なかりせば想定される営農作業体系

作物名		水 稲		なかりせば	30a(標準)乾 田		用水供給	用 水 供 給 な し		排水管理	排 水 路		改良区分	用 水		(第9表)
作業名	種子与措	苗代一切	本田耕起			本田整地	田植	追肥	除草	水管理(用)	”(排)	防除	稲刈脱穀	運搬	乾燥調整(稲)	計
作業期間	10上-03下	03下-04下	10下-04下			04下-05上	05上-05上	05下-07下	06中-07上	04下-09上	04下-09上	06中-09上	08下-10上	08下-10上	08下-10上	
作業方法回数等																
作業手段(機械名)		共同施設	トラクタ-32ps ローラー			トラクタ-32ps ハー	田植機 5条	動力散粒機	動力散粒機	人力	人力	動力散粉機	コンバイン	トラック(軽)	共同施設	
ha当り所要時間	人力		18.1			10.0	15.8	4.0	49.0	10.0	30.0	1.2	20.2	9.0		167.3
	機械力		18.1			10.0	7.9	2.0	2.0			0.6	10.1	9.0		59.7
時間当り費用	人力		1,761			1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761		
	機械力		0			0	0	0	0			0	0	0		
ha当り経費	人力		31,874			17,610	27,824	7,044	86,289	17,610	52,830	2,113	35,572	15,849		294,615
	機械力		0			0	0	0	0			0	0	0		
ha当り使用資材量								追肥1号 150kg	ﾊﾞｸﾞﾀ-10kg			ﾗｯﾊﾞｯﾀ 40kg				

作物名		大 麦		なかりせば	30a(標準)乾 田		用水供給	用 水 供 給 な し		排水管理	排 水 路		改良区分	用 水		(第9表)
作業名	圃場排水	石灰散布	種子与措	耕起	施肥播種	防除			栽培管理(用)	”(排)	”(栽)	収穫	運搬	乾燥調整(麦)	計	
作業期間	09下	09下-10上		09下-10上	10上-10中	05上			11上-05下	11上-05下	11上-05下	06中	06中-06下	06中-06下		
作業方法回数等																
作業手段(機械名)	トラクタ-32ps トレンチャー	人力	人力	トラクタ-32ps ローラー	トラクタ-32ps グレンドリル	動力散粉機			人力	人力	人力	コンバイン	トラック(軽)	共同施設		
ha当り所要時間	人力	2.8	10.0	2.1	9.1	10.4	2.4		0.5	1.5	5.6	17.0	5.4		66.8	
	機械力	1.4			9.1	5.2	1.2					8.5	5.4		30.8	
時間当り費用	人力	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761		1,761	1,761	1,761	1,761	1,761			
	機械力	0			0	0	0					0	0			
ha当り経費	人力	4,931	17,610	3,698	16,025	18,314	4,226		881	2,642	9,862	29,937	9,509		117,635	
	機械力	0			0	0	0					0	0			
ha当り使用資材量		珪酸2t, 熔燐0.4t	ﾊﾞﾝﾄﾞ				ﾌﾗｼﾞﾝ400kg									

作物名	きゅうり		なかりせば	30a(標準)乾田		用水供給	用水供給なし		排水管理	排水路		改良区分	用水			(第9表)
作業名	育苗	石灰散布	施肥	耕起整地	畦立	定植	除草剤散布	防除	栽培管理(用)	“(排)”	“(栽)”	収穫	運搬	出荷調整	跡地整地	計
作業期間		04上	04上	04上	04中	04中-04下	05中	05中	04下-08中	04下-08中	04下-08中	07上-08中	07上-08中	07上-08中	07上-08中	
作業方法回数等																
作業手段(機械名)	共同施設	人力	動力散粒機	トラクタ-32ps ローリー-	人力	人力	動力噴霧機	動力噴霧機	人力	人力	人力	人力	トラック(軽)	共同施設	トラクタ-32ps ローリー-	
ha当り所要時間	人力	10.0	2.0	9.1	30.0	112.0	1.7	13.3	45.5	121.2	697.0	1,583.0	46.4		167.1	2,838.3
	機械力		1.0	9.1			1.7	13.3					46.4		9.1	80.6
時間当り費用	人力	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761	1,761		1,761	
	機械力		0	0			0	0					0		0	
ha当り経費	人力	17,610	3,522	16,025	52,830	197,232	2,994	23,421	80,126	213,433	1,227,417	2,787,663	81,710		294,263	4,998,246
	機械力		0	0			0	0					0		0	
ha当り使用資材量		7ホ <sup>ン</sup> 1t, 燐200g	そさい3号 400kg				リンザ <sup>ン</sup> -水和 剤300ml	クリーンヒッター 300ml								

作物名			なかりせば			用水供給			排水管理			改良区分				(第9表)
作業名																計
作業方法																
作業期間																
作業方法回数等																
作業手段(機械名)																
ha当り所要時間	人力															
	機械力															
時間当り費用	人力															
	機械力															
ha当り経費	人力															
	機械力															
ha当り使用資材量																

ウ. 事業なかりせばと事業ありせば（現況）との対比

(第10表)

改良区分	用水	事業なかりせば			事業ありせば		
区	分	水			水		
作	物	30a(標準)乾田			30a(標準)乾田		
ほ	場	用水供給なし			用水供給なし		
用	水	排水			排水		
排	水	水路			水路		
労働費		所要時間(時/ha) ①	労賃単価(円/時) ②	労働費(円/ha) ③=①*②	所要時間(時/ha) ①	労賃単価(円/時) ②	労働費(円/ha) ③=①*②
種	子						
苗	代						
本	田	18.1	1,761	31,874	18.1	1,761	31,874
耕	起						
本	田	10.0	1,761	17,610	10.0	1,761	17,610
整	地						
田	植	15.8	1,761	27,824	15.8	1,761	27,824
追	肥	4.0	1,761	7,044	4.0	1,761	7,044
除	草	49.0	1,761	86,289	49.0	1,761	86,289
水	管	10.0	1,761	17,610	41.0	1,761	72,201
理	(	30.0	1,761	52,830	30.0	1,761	52,830
"	)						
防	刈	1.2	1,761	2,113	1.2	1,761	2,113
稲	脱	20.2	1,761	35,572	20.2	1,761	35,572
運	穀	9.0	1,761	15,849	9.0	1,761	15,849
搬							
乾	調						
燥	整						
(	稲)						
小計		167.3		294,615	198.3		349,206
機械経費		稼働時間(時/ha) ①	稼働単価(円/時) ②	機械経費(円/ha) ③=①*②	稼働時間(時/ha) ①	稼働単価(円/時) ②	機械経費(円/ha) ③=①*②
種	子						
苗	代						
本	田	18.1	0	0	18.1	0	0
耕	起						
本	田	10.0	0	0	10.0	0	0
整	地						
田	植	7.9	0	0	7.9	0	0
追	肥	2.0	0	0	2.0	0	0
除	草	2.0	0	0	2.0	0	0
水	管						
理	(						
"	)						
防	刈	0.6	0	0	0.6	0	0
稲	脱	10.1	0	0	10.1	0	0
運	穀	9.0	0	0	9.0	0	0
搬							
乾	調						
燥	整						
(	稲)						
小計		59.7			59.7		
その他の生産資材経費		生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)	生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)
苗	箱	200	700	140,000	200	700	140,000
乾	調	5,350	22.4	119,840	5,350	22.4	119,840
燥	整						
費							
小	計			259,840			259,840
合	計			554,455			609,046

(第10表)

改良区分	用水		事業なかりせば			事業ありせば		
区	分		大			大		
作	物		30a(標準)乾田			30a(標準)乾田		
ほ	場		用水供給なし			用水路		
用	水		排			路		
排	管		水			水		
給	理		給			給		
給	理		給			給		
給	理		給			給		
給	理		給			給		
労働費	所要時間(時/ha)	労賃単価(円/時)	労働費(円/ha)	所要時間(時/ha)	労賃単価(円/時)	労働費(円/ha)		
	①	②	③=①*②	①	②	③=①*②		
圃場排水	2.8	1,761	4,931	2.8	1,761	4,931		
石灰散布	10.0	1,761	17,610	10.0	1,761	17,610		
種子与措	2.1	1,761	3,698	2.1	1,761	3,698		
耕起	9.1	1,761	16,025	9.1	1,761	16,025		
施肥播種	10.4	1,761	18,314	10.4	1,761	18,314		
防除	2.4	1,761	4,226	2.4	1,761	4,226		
栽培管理(用)	0.5	1,761	881	0.5	1,761	881		
"(排)	1.5	1,761	2,642	1.5	1,761	2,642		
"(栽)	5.6	1,761	9,862	5.6	1,761	9,862		
收穫	17.0	1,761	29,937	17.0	1,761	29,937		
運搬	5.4	1,761	9,509	5.4	1,761	9,509		
乾燥調整(麦)								
小計	66.8		117,635	66.8		117,635		
機械経費	稼働時間(時/ha)	稼働単価(円/時)	機械経費(円/ha)	稼働時間(時/ha)	稼働単価(円/時)	機械経費(円/ha)		
	①	②	③=①*②	①	②	③=①*②		
圃場排水	1.4	0	0	1.4	0	0		
石灰散布								
種子与措								
耕起	9.1	0	0	9.1	0	0		
施肥播種	5.2	0	0	5.2	0	0		
防除	1.2	0	0	1.2	0	0		
栽培管理(用)								
"(排)								
"(栽)								
收穫	8.5	0	0	8.5	0	0		
運搬	5.4	0	0	5.4	0	0		
乾燥調整(麦)								
小計	30.8			30.8				
その他の生産資材経費	生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)	生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)		
乾燥調整費	3,200	22.4	71,680	3,200	22.4	71,680		
小計			71,680			71,680		
合計			189,315			189,315		

(第10表)

改良区分	用 水	事業なかりせば			事業ありせば		
区 分	名	き ゆ う り			き ゆ う り		
作 物	件	30a(標準)乾田			30a(標準)乾田		
ほ 場 条 件		用 水 供 給 な し			用 水 路		
用 水 供 給		排 水 路			排 水 路		
排 水 管 理							
労 働 費	所要時間(時/ha)	労賃単価(円/時)	労働費(円/ha)	所要時間(時/ha)	労賃単価(円/時)	労働費(円/ha)	
	①	②	③=①*②	①	②	③=①*②	
育 苗							
石 灰 散 布	10.0	1,761	17,610	10.0	1,761	17,610	
施 肥	2.0	1,761	3,522	2.0	1,761	3,522	
耕 起 整 地	9.1	1,761	16,025	9.1	1,761	16,025	
畦 立 植	30.0	1,761	52,830	30.0	1,761	52,830	
定 植	112.0	1,761	197,232	112.0	1,761	197,232	
除 草 剤 散 布	1.7	1,761	2,994	1.7	1,761	2,994	
防 除	13.3	1,761	23,421	13.3	1,761	23,421	
栽 培 管 理 ( 用 )	45.5	1,761	80,126	575.8	1,761	1,013,984	
〃 ( 排 )	121.2	1,761	213,433	121.2	1,761	213,433	
〃 ( 栽 )	697.0	1,761	1,227,417	697.0	1,761	1,227,417	
収 穫	1,583.0	1,761	2,787,663	1,583.0	1,761	2,787,663	
運 搬	46.4	1,761	81,710	46.4	1,761	81,710	
出 荷 調 整							
跡 地 整 地	167.1	1,761	294,263	167.1	1,761	294,263	
小 計	2,838.3		4,998,246	3,368.6		5,932,104	
機 械 経 費	稼働時間(時/ha)	稼働単価(円/時)	機械経費(円/ha)	稼働時間(時/ha)	稼働単価(円/時)	機械経費(円/ha)	
	①	②	③=①*②	①	②	③=①*②	
育 苗							
石 灰 散 布							
施 肥	1.0	0	0	1.0	0	0	
耕 起 整 地	9.1	0	0	9.1	0	0	
畦 立 植							
定 植							
除 草 剤 散 布	1.7	0	0	1.7	0	0	
防 除	13.3	0	0	13.3	0	0	
栽 培 管 理 ( 用 )							
〃 ( 排 )							
〃 ( 栽 )							
収 穫							
運 搬	46.4	0	0	46.4	0	0	
出 荷 調 整							
跡 地 整 地	9.1	0	0	9.1	0	0	
小 計	80.6			80.6			
その他の生産資材経費	生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)	生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)	
小 計							
合 計			4,998,246			5,932,104	

エ. 再建設整備による営農経費節減効果の総括

(第11表)

作物名	なかりせば区分名	用水供給・排水管理区分				単位面積当たり営農経費節減額(円/ha)			効果発生面積 (ha)	年効果額 (千円)	備考
		事業なかりせば		事業ありせば		事業なかりせば	事業ありせば	差			
		用水供給	排水管理	用水供給	排水管理	①	②	③=①-②			
水 稲	30a(標準)乾田	用水供給なし	排水路	用水路	排水路	554,455	609,046	△ 54,591	1.1	△ 60	用水
大 麦	30a(標準)乾田	用水供給なし	排水路	用水路	排水路	189,315	189,315	0	1.1	0	用水
きゅうり	30a(標準)乾田	用水供給なし	排水路	用水路	排水路	4,998,246	5,932,104	△ 933,858	0.1	△ 93	用水
合 計										△ 153	

才. 営農経費節減効果の総括

(第12表)

効果名	年効果額 (千円)	年増加所得額 (千円)	備考
営農経費節減効果 (事業ありせば効果額)	-	-	新設整備
営農経費節減効果 (事業なかりせば効果額)	△ 153		再建設整備
計	△ 153	-	

維持管理費節減效果

4. 維持管理費節減効果  
ア 施設管理団体一覧

(第1表)

団 体 名	団 体 の 所 在 地	団 体 の 賦 課 面 積 (ha)								最近年における ha当り賦課金(円)		賦課戸数(戸)	
						本 計 画 の 受 益 区 域				経 常 費	特 別 賦 課 金	7	本計画の 受益戸数
		田	畑	その他	計	田	畑	その他	計				
坂下町	福井市坂下町	2.4	-	-	2.4	2.4	-	-	2.4			7	7

イ. 受益範囲内の団体に管理する水利施設の概要及び変更区分

(第2表)

現況 施設 番号	施設名	団体名	設置 年度	大改修 年度	現況施設の概要		今後の 予想耐 用年数	本事業による改良・廃止 維持管理費の変更の区分 及びその理由	
					構造・数量及び機能	維持管理方法		区分	理由
1	坂下第1、1-2_堤体	坂下町	S. 48	H8	堤幅3.9m、堤高2.7m 堤頂長49.2m、V=2,200m <sup>3</sup>	坂下町管理	0	既設利用	耐震補強及び老朽化対策
2	坂下第1、1-2_構造物	坂下町	S. 48	H8	洪水吐、取水施設、底樋	坂下町管理	0	既設利用	〃
3	坂下第2_堤体	坂下町	S. 48	H8	堤幅3.9m、堤高2.5m 堤頂長38.2m、V=1,300m <sup>3</sup>	坂下町管理	0	既設利用	〃
4	坂下第2_構造物	坂下町	S. 48	H8	洪水吐、取水施設、底樋	坂下町管理	0	既設利用	〃
5	末端用水路	坂下町	S. 48	H8	HF700×700	坂下町管理	0	既設利用	〃

ウ. 受益範囲内の団体で管理する  
水利施設の既往年経費

(第3表)

施設番号及び施設名 改良・廃止等の区分		1		2		3		4		5		計	
		坂下第1、1-2_堤体		坂下第1、1-2_構造物		坂下第2_堤体		坂下第2_構造物		末端用水路			
		既設利用	既設利用	既設利用	既設利用	既設利用	既設利用	既設利用	既設利用	既設利用	既設利用		
区分		決算額 (千円)	換算額 (千円)	決算額 (千円)	換算額 (千円)	決算額 (千円)	換算額 (千円)	決算額 (千円)	換算額 (千円)	決算額 (千円)	換算額 (千円)		
維持 管理 費	年々 経常的 なもの	R 2 年度 (1.248)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		R 3 " (1.156)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		R 4 " (1.043)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		R 5 " (1.018)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		R 6 " (1.000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		既往年平均経費		0		0		0		0		0	
		本地区分 ①	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	
維持 管理 費	短期 周期的 なもの	R 2 年度 (1.248)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		R 3 " (1.156)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		R 4 " (1.043)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		R 5 " (1.018)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		R 6 " (1.000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		既往年平均経費		0		0		0		0		0	
		本地区分 ②	1.000	0	1.000	0	1.000	0	1.000	0	1.000	0	
賦 役 ・ そ の 他	その他 経費	R 1 年度 (1.248)	60	75	0	0	60	75	0	0	0	0	
		R 2 " (1.156)	66	76	0	0	66	76	0	0	0	0	
		R 3 " (1.043)	68	71	0	0	68	71	0	0	0	0	
		R 4 " (1.018)	70	71	0	0	70	71	0	0	0	0	
		R 5 " (1.000)	71	71	0	0	71	71	0	0	0	0	
		既往年平均経費		73				73				73	
	本地区分 ③	1.000	73	1.000		1.000	73	1.000		1.000		146	
そ の 他	事業 内容  (算出 基礎)	・草刈り 10人*2hr/回*2回/年		・賦役なし		・草刈り 10人*2hr/回*2回/年		・賦役なし		・賦役なし			
	既往年平均経費 ① + ② + ③		73		0		73		0		0	146	

エ. 受益範囲内の団体で管理する水利施設の事業ありせば維持管理費

(第4表)

計画 施設 番号	施設名	新設 改良等 の区分	現況 施設 番号	管理団体	計画施設の概要		施設の維持管理等に要する事業ありせば年経費					
					構造・数量・機能	工事費 (千円)	予定 耐用 年数	維持修繕費		運 転 費		経費計 (千円) ① + ②
								経 費 (千円) ①	算 出 基 礎	経 費 (千円) ②	算 出 基 礎	
1-2	坂下第1、1-2_堤体	既設利用	1	坂 下 町	堤幅3.9m、堤高2.7m V=11,000m <sup>3</sup>	-	80	73	既往年経費(第3表)より転記		73	
2	坂下第1、1-2_構造物	更 新	2	坂 下 町	洪水吐、取水施設、底樋 V=3,448m <sup>3</sup>	-	80		既往年経費(第3表)より転記 -			
3	坂下第2_堤体	更 新	3	坂 下 町	堤幅3.9m、堤高2.5m L=0.0m	-	40	73	既往年経費(第3表)より転記		73	
4	坂下第2_構造物	更 新	4	坂 下 町	洪水吐、取水施設、底樋	-	40		既往年経費(第3表)より転記			
5	末端用水路	既設利用	5	坂 下 町	HF700×700	-	30		既往年経費(第3表)より転記			
合 計											146	

オ. 受益範囲内の団体で管理する水利施設の事業なかりせば維持管理費

(第5表)

施設番号及び施設名 改良・廃止等の区分 区 分		1		2		3		4		5		計	
		坂下第1、1-2_堤体		坂下第1、1-2_構造物		坂下第2_堤体		坂下第2_構造物		末端用水路			
		既設利用	既設利用	既設利用	既設利用	既設利用	既設利用	既設利用	既設利用	既設利用	既設利用		
区 分		決算額 (千円)	換算額 (千円)	決算額 (千円)	換算額 (千円)	決算額 (千円)	換算額 (千円)	決算額 (千円)	換算額 (千円)	決算額 (千円)	換算額 (千円)	決算額 (千円)	換算額 (千円)
維持管理費	年々経常的なもの												
	R 2 年度 (1.248)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	R 3 " (1.156)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	R 4 " (1.043)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	R 5 " (1.018)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	R 6 " (1.000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	既往年平均経費		0		0		0		0		0		
	本地区分 ①	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0		
賦役・その他	その他経費												
	R 2 年度 (1.248)			0	0	30	37	0	0	0	0		
	R 3 " (1.156)			0	0	33	38	0	0	0	0		
	R 4 " (1.043)			0	0	34	35	0	0	0	0		
	R 5 " (1.018)			0	0	35	36	0	0	0	0		
	R 6 " (1.000)			0	0	36	36	0	0	0	0		
	既往年平均経費		71		0		36				107		
	本地区分 ③	1.000	71	1.000	0	1.000	36	1.000		1.000	107		214
その他	事業内容 (算出基礎)	・草刈り 10人*2hr/回*2回/年 *2hr/回*2回/年 =71千円/年		・賦役なし		・草刈り 10人*1780円/hr *2hr/回*1回/年 =36千円/年		・賦役なし		・草刈り 15人*1780円/hr *2hr/回*2回/年 =107千円/年			
	既往年平均経費 ① + ② + ③		71		0		36		0		107		214

カ. 団体の管理する水利施設以外の施設等の年経費

(第6表)

施設番号 及び施設名	番 号		変 更 区 分	管 理 者 名				合 計
	現 況							
	計 画							
現 況	施設の概要	構造・数量						
	既往年経費	経費(千円)① 算出基礎						
計 画	施設の概要	構造・数量	該 当 事 項 な し					
	計画年経費	経費(千円)③ 算出基礎						
な か り せ ば	既往年経費	経費(千円)② 算出基礎						
	維持管理費 節減額	効果額 更新分 ②-① 新設分 ①-③ 所得額 ①-③						



ク. 維持管理費節減効果の総括

(第8表)

効果名	年効果額 (千円)	年増加所得額 (千円)	備考
維持管理費節減効果 (事業ありせば効果額)	0	0	新設整備
維持管理費節減効果 (事業なかりせば効果額)	△ 39		再建設整備
計	△ 39	-	

（ 災 害 防 止 効 果  
た め 池 等 整 備 ）

洪水量・被災区域  
及び湛水深の決定

## 1. 被害発生のお考え方

### (1) 想定被災地域の設定

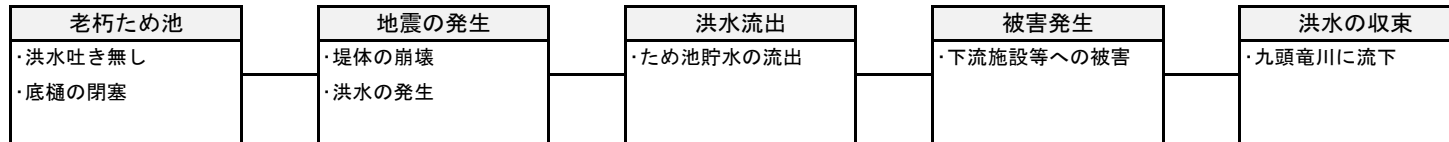
ため池周辺の地形条件を整理した結果、ため池型、受益地の区分は次のとおりとする。

項目	型	受益地	内容
ため池区分	谷池	谷型受益	山間や丘陵地で谷をせき止めて造られたため池
	皿池	皿型受益	平地の窪地の周囲に堤防を築いて造られたため池

### (2) 被害発生のお考え方

当該地区のため池は、明治時代、昭和時代に築造され現在に至っているが、堤体及び附帯構造物の老朽化が進んでおり、また洪水吐がなく、且つ斜樋、底樋とも泥土で閉塞され、常に満水状態となっているため、危険な状態である。このため、大規模な地震が発生した際に、堤体が崩壊し洪水が発生した場合を想定し、被害額を算定する。

発生した洪水は、ため池下流の住宅、農地に流れ込み、県道を越水し、九頭竜川に流下するものとする。



## 2. 洪水量の算定

### (1) 洪水量の想定

洪水量は防災事業便覧 [図2-30 決壊箇所の流積 (堤体決壊想定断面)] に準拠する。

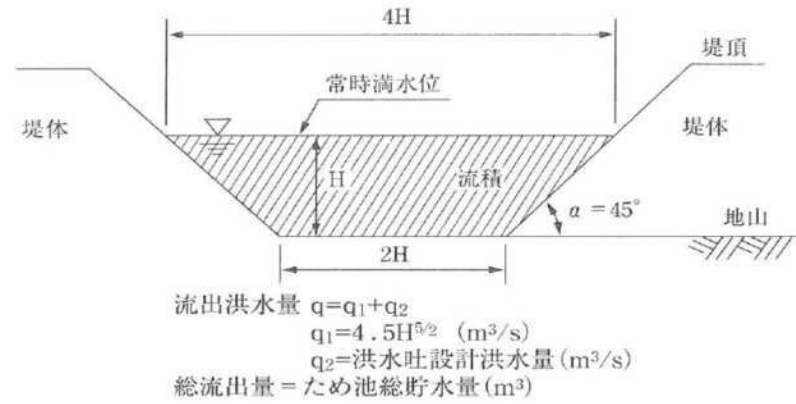
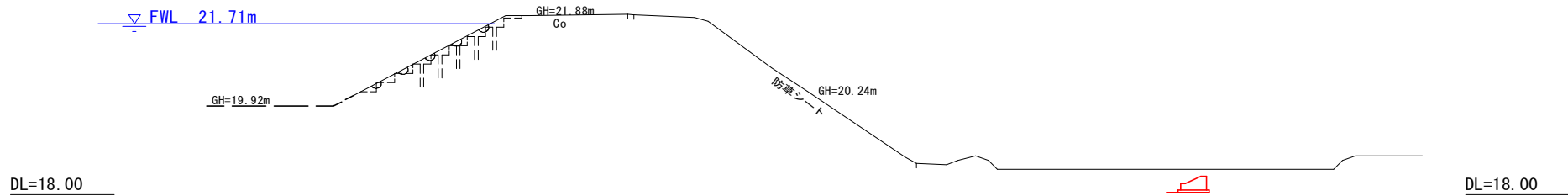
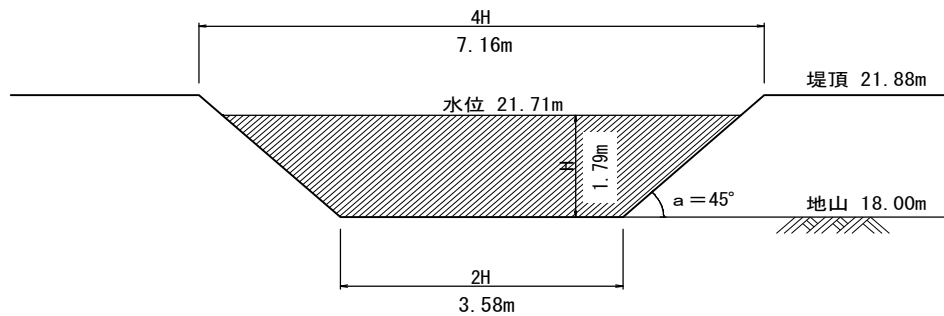


図2-30 決壊箇所の流積

(2) 堤体の決壊断面想定  
 1) 坂下第1ため池  
 【堤体横断】



【堤体決壊想定断面】



項目	数量	備考
堤頂地盤高①	21.88 m	
地山地盤高②	18.00 m	
水面水位③	21.71 m	
池底高④	19.92 m	
破堤水深⑤=③-④	1.79 m	
破堤上幅⑥=⑤×4	7.16 m	
破堤下幅⑦=⑤×2	3.58 m	

【流出洪水量】

決壊想定断面から次式により求められる洪水量は 19.7 m<sup>3</sup>/s とする。

流出洪水量 (q) = q<sub>1</sub> + q<sub>2</sub>

$$q_1 = 4.5 \times H^{5/2}$$

$$= 4.5 \times 1.79^{5/2}$$

$$= 4.5 \times 4.29$$

$$= 19.3 \text{ m}^3/\text{s}$$

q<sub>2</sub> = 0.36 m<sup>3</sup>/s (ため池台帳より)

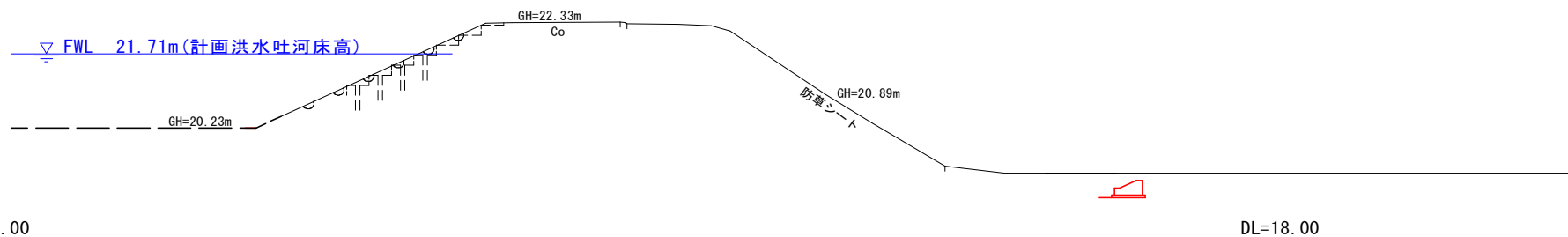
$$q = 19.3 + 0.36$$

$$= 19.7 \text{ m}^3/\text{s}$$

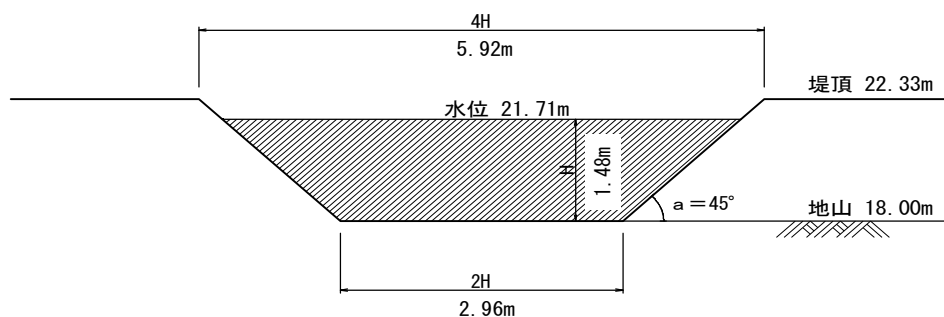
常時満水位FWL (m)	最低水位LWL (m)	H=FWL-LWL (m)	流出洪水量 (m <sup>3</sup> /s)
21.71	18.00	3.71	19.7

## 2) 坂下第1-2ため池

### 【堤体横断】



### 【堤体決壊想定断面】



項目	数量	備考
堤頂地盤高①	22.33 m	
地山地盤高②	18.00 m	
水面水位③	21.71 m	
池底高④	20.23 m	
破堤水深⑤=③-④	1.48 m	
破堤上幅⑥=⑤×4	5.92 m	
破堤下幅⑦=⑤×2	2.96 m	

### 【流出洪水量】

決壊想定断面から次式により求められる洪水量は 12.8 m<sup>3</sup>/s とする。

$$\text{流出洪水量 } (q) = q_1 + q_2$$

$$q_1 = 4.5 \times H^{5/2}$$

$$= 4.5 \times 1.48^{5/2}$$

$$= 4.5 \times 2.66$$

$$= 12.0 \text{ m}^3/\text{s}$$

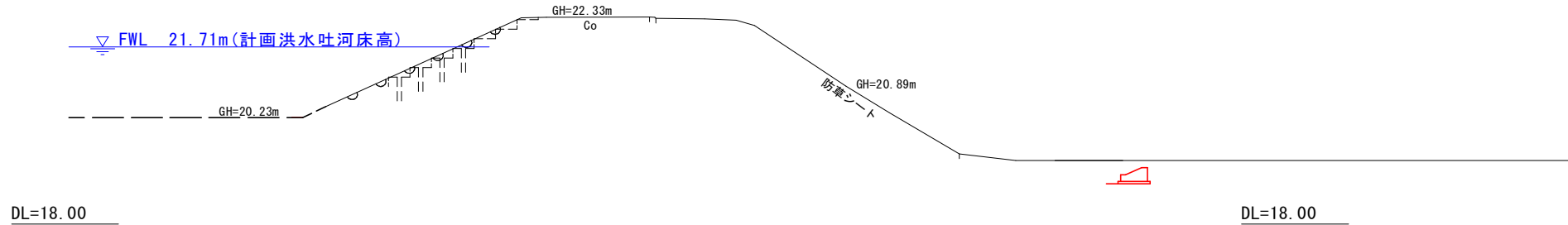
$$q_2 = 0.78 \text{ m}^3/\text{s} \text{ (ため池台帳より)}$$

$$q = 12.0 + 0.78$$

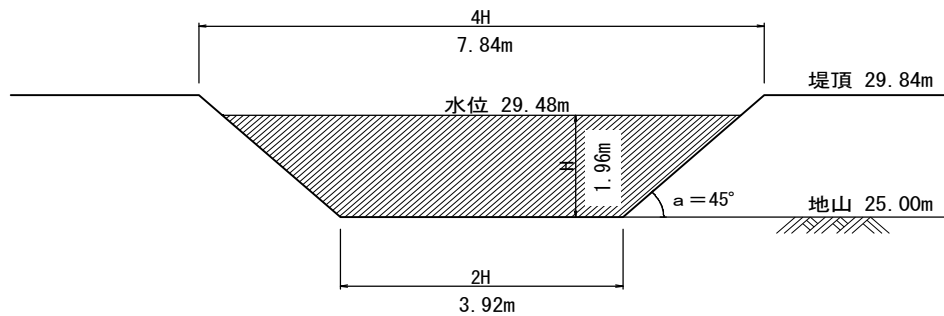
$$= 12.8 \text{ m}^3/\text{s}$$

常時満水位FWL (m)	最低水位LWL (m)	H=FWL-LWL (m)	流出洪水量 (m <sup>3</sup> /s)
21.71	18.00	3.71	12.8

3) 坂下第2ため池  
【堤体横断】



【堤体決壊想定断面】



項目	数量	備考
堤頂地盤高①	29.84 m	
地山地盤高②	25.00 m	
水面水位③	29.48 m	
池底高④	27.52 m	
破堤水深⑤=③-④	1.96 m	
破堤上幅⑥=⑤×4	7.84 m	
破堤下幅⑦=⑤×2	3.92 m	

【流出洪水量】

決壊想定断面から次式により求められる洪水量は 25.6 m<sup>3</sup>/s とする。

$$\text{流出洪水量 } (q) = q_1 + q_2$$

$$\begin{aligned} q_1 &= 4.5 \times H^{5/2} \\ &= 4.5 \times 1.96^{5/2} \\ &= 4.5 \times 5.38 \\ &= 24.2 \text{ m}^3/\text{s} \end{aligned}$$

$$q_2 = 1.38 \text{ m}^3/\text{s} \text{ (ため池台帳より)}$$

$$\begin{aligned} q &= 24.2 + 1.38 \\ &= 25.6 \text{ m}^3/\text{s} \end{aligned}$$

常時満水位FWL (m)	最低水位LWL (m)	H=FWL-LWL (m)	流出洪水量 (m <sup>3</sup> /s)
29.48	25.00	4.48	25.6



#### 4. 被害程度の想定

発生する被害の程度は、農地防災事業便覧P256 [表2-7 想定被害算定基礎表] に準拠する。

事項	項目	細目	対象地域等	想定被害の程度	備考	
農業被害	農地	耕土流出	水深1.0m以上の洪水流出区域	上流1/2(平野型受益地) または上流2/3(谷型受益地)	} 耕土流出被害と土砂埋没被害の重複を避けること	
		土砂埋没	水深0.5m以上の洪水流出区域	下流1/2(平野型受益地) または下流2/3(谷型受益地)		
	農業用施設	コンクリート水路	水深0.5m以上の洪水流出区域	水深0.5～1.0mは半壊 水深1.0m以上は全壊		
		土水路	水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～0.5mは半壊 水深0.5m以上は全壊		
		排水路及び農道	水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～1.0mは半壊 水深1.0m以上は全壊		
		下流ため池、揚水機場、取水ゼキ	水深0.5m以上の洪水流出区域	壊水深0.5～1.5mは半壊 壊水深1.5m以上は全壊		
	農作物	流出・埋没被害	農地欄で算定した全面積	収量0	} 相互に重複しないこと	
		浸水・埋没被害	全洪水流出区域から上記を除いた面積	適宜の減収		
		干魃被害	被災を想定した全かんがい施設がかり面積	適宜の減収		
	農業用納屋等		水深0.5m以上の洪水流出区域	水深0.5～1.5mは半壊 水深1.5m以上は全壊		
	家畜		水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～1.5mは半壊 水深1.5m以上は全壊		
	公共関係	人家、工場、公共建物等		水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～0.5mは床下浸水 水深0.5～1.0mは床上浸水 水深1.0～1.5mは半壊 水深1.5m以上は全壊	
		道路、橋梁、鉄道等		水深1.0m以上の洪水流出区域	水深1.0～2.0mは半壊 水深2.0m以上は全壊	
	人命			半壊以上家屋の住人	半壊家屋は1/2の危険 全壊家屋は全員の危険	

当該地区で想定される被害。

# 被害額の算定

# 農業資産の被害

## 農業被害の考え方

### (1) 農地・農作物

農地及び農作物被害の考え方は、以下のとおりである。

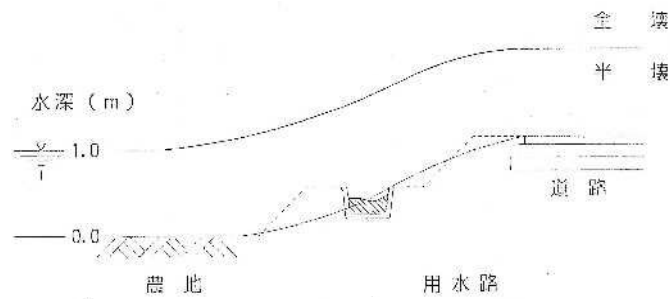
農地	a. 耕土流出	谷型	水深1.0メートル以上の洪水流出区域の上流 2 / 3 の面積
		皿型	水深1.0メートル以上の洪水流出区域の上流 1 / 2 の面積
	b. 土砂埋没	谷型	水深0.5メートル以上の洪水流出区域の下流 2 / 3 の面積 ( a の区域と重複しないこと )
		皿型	水深0.5メートル以上の洪水流出区域の下流 1 / 2 の面積 ( a の区域と重複しないこと )

### (2) 農業用施設被害

農業用施設被害の考え方は、以下のとおりである。

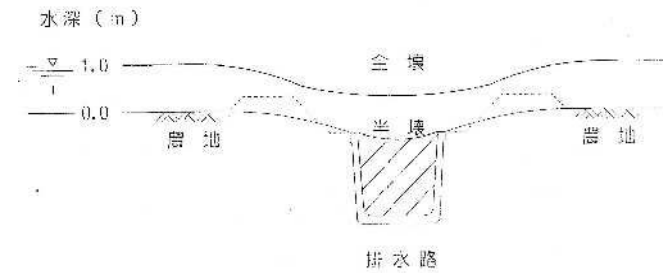
農道		半壊	水深0.0~1.0m
		全壊	水深1.0m以上
用水路	土水路	半壊	水深0.0~0.5m
		全壊	水深0.5m以上
	コンクリート水路	半壊	水深0.5~1.0m
		全壊	水深1.0m以上
排水路		半壊	水深0.0~1.0m
		全壊	水深1.0m以上
その他		半壊	壊水深0.5~1.5m
		全壊	壊水深1.5m以上

【 農業用水路 】



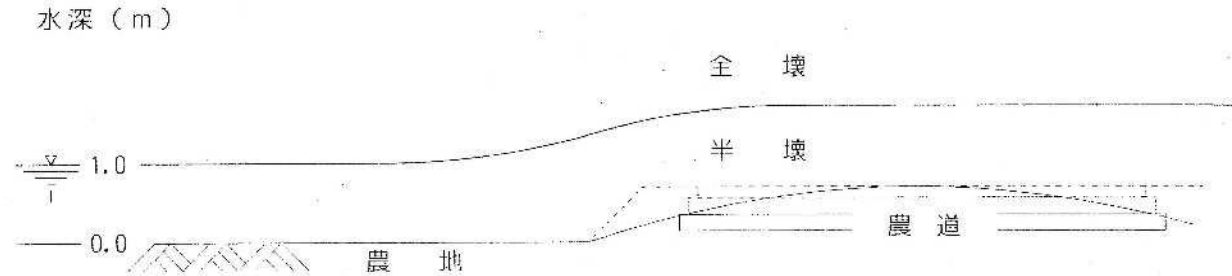
※洪水は常に流下しているため、用水路の土砂埋没や崩壊が予想され、水路機能の低下が考えられる。  
 そのため、農地からの洪水が用水路縦方向に流下するよりもむしろ、道路側への越流がほとんどである。  
 このことから、農地、用水路共に想定被害水深は一定とするのが妥当である。

【 農業排水路 】



※洪水は常に流下しているため、農地の耕土流出や畦畔の崩壊による、排水路の土砂埋没や破壊が予想される。  
 そのため、排水路機能の著しい低下が予想され、全洪水を流下させる能力はなくなり、次の農地へと越流するものと考えられる。このことから、農地、排水路共に想定被害水深は一定とするのが妥当である。

【 道路 】



※洪水は常に流下しているが、簡易的構造で壊れるため、農道により閉鎖的な区域にはならない。  
 つまり、農地に滞留した洪水が溢水として農道に越流するのではなく、農地と一定水深のまま農道に  
 流下するものと考えられる。

復 旧 単 価  
( 農 地 ・ 農 作 物 )

## 農地復旧単価

### 【 耕土流出 】

流出した耕土を復旧する客土工費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	備 考
耕土搬入(10km未満)	500 m <sup>3</sup>	1,658 円	829,000 円/ha	10,000 m <sup>2</sup> × 0.05 m = 500 m <sup>3</sup>
押土	500 m <sup>3</sup>	197 円	98,500 円/ha	
整地	1 ha	514,400 円	514,400 円/ha	
諸経費	100 %	1,441,900 円	1,441,900 円/ha	
計			2,883,800 円/ha	

### 【 土砂埋没 】

堆積した土砂を搬出処分し、整地を行う費用を見込んだものである。

費 目	数 量	単 価	金 額	備 考
掘削	500 m <sup>3</sup>	237 円	118,500 円/ha	10,000 m <sup>2</sup> × 0.05 m = 500 m <sup>3</sup>
機械小運搬(運搬+積込)	500 m <sup>3</sup>	1,027 円	513,500 円/ha	
残土処分(運搬のみ)	500 m <sup>3</sup>	675 円	337,500 円/ha	
整地	1 ha	514,400 円	514,400 円/ha	
諸経費	100 %	1,483,900 円	1,483,900 円/ha	
計			2,967,800 円/ha	

復 旧 単 価  
( 農 業 用 排 水 路 ・ 道 路 )

## 用水路復旧単価

### 【半壊】

溢水区域内の復旧は、水路溝畔が洗掘崩壊し水路内に堆砂した土砂を除去する費用を見込んだものである。

費目	数量	単価	金額	備考
掘削(人力)	0.10 m <sup>3</sup>	8,568 円	857 円/m	用水路半壊 
残土処分	0.10 m <sup>3</sup>	2,427 円	243 円/m	
購入土	0.10 m <sup>3</sup>	4,000 円	400 円/m	
盛土転圧(人力併用)	0.10 m <sup>3</sup>	2,318 円	232 円/m	
法面仕上げ	0.5 m <sup>2</sup>	439 円	220 円/m	
諸経費	100 %	1,952 円	1,952 円/m	
計			3,904 円/m	

### 【全壊】

溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

費目	数量	単価	金額	備考
掘削(人力)	0.11 m <sup>3</sup>	8,568 円	942 円/m	用水路全壊 
残土処分	0.11 m <sup>3</sup>	2,427 円	267 円/m	
購入土	0.11 m <sup>3</sup>	4,000 円	440 円/m	
盛土転圧(人力併用)	0.11 m <sup>3</sup>	2,318 円	255 円/m	
法面仕上げ	1.0 m <sup>2</sup>	439 円	439 円/m	
B F布設	1.0 m	7,261 円	7,261 円/m	
撤去	1.0 m	1,911 円	1,911 円/m	
諸経費	100 %	11,515 円	11,515 円/m	
計			23,030 円/m	

## 排水路復旧単価

### 【半壊】

溢水区域内の復旧は、水路溝畔が洗堀崩壊し水路内に堆砂した土砂を除去する費用を見込んだものである。

費目	数量	単価	金額	備考
掘削(人力)	0.21 m <sup>3</sup>	8,568 円	1,799 円/m	排水路半壊 
機械小運搬	0.21 m <sup>3</sup>	790 円	166 円/m	
残土処分	0.21 m <sup>3</sup>	2,427 円	510 円/m	
購入土	0.40 m <sup>2</sup>	4,000 円	1,600 円/m	
機械小運搬	0.40 m <sup>3</sup>	790 円	316 円/m	
盛土転圧(人力併用)	0.40 m <sup>3</sup>	2,318 円	927 円/m	
法面仕上げ	1.7 m <sup>2</sup>	439 円	746 円/m	
水替・仮設・その他	30 %	6,064 円	1,819 円/m	
諸経費	100 %	7,883 円	7,883 円/m	
計			15,766 円/m	

### 【全壊】

溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

費目	数量	単価	金額	備考
掘削(人力)	0.21 m <sup>3</sup>	8,568 円	1,799 円/m	排水路全壊 
機械小運搬	0.21 m <sup>3</sup>	790 円	166 円/m	
残土処分	0.21 m <sup>3</sup>	2,427 円	510 円/m	
購入土	1.20 m <sup>2</sup>	4,000 円	4,800 円/m	
機械小運搬	1.20 m <sup>3</sup>	790 円	948 円/m	
盛土転圧(人力併用)	1.20 m <sup>3</sup>	2,318 円	2,782 円/m	
法面仕上げ	1.7 m <sup>2</sup>	439 円	746 円/m	
H F 布設	1.0 m	11,261 円	11,261 円/m	
水替・仮設・その他	30 %	23,012 円	6,904 円/m	
諸経費	100 %	29,916 円	29,916 円/m	
計			59,832 円/m	

## 農道復旧単価

### 【半壊】

溢水区域内の復旧は、路肩洗掘（アスファルト舗装）を復旧する費用を見込んだものである。

費目	数量	単価	金額	備考
購入土	0.60 m <sup>3</sup>	4,000 円	2,400 円/m	農道半壊 
盛土転圧(人力併用)	0.60 m <sup>3</sup>	2,318 円	1,391 円/m	
法面仕上げ	1.7 m <sup>2</sup>	439 円	746 円/m	
表層復旧	1.2 m <sup>2</sup>	1,647 円	1,976 円/m	
上層路盤復旧	1.2 m <sup>2</sup>	810 円	972 円/m	
下層路盤復旧	1.2 m <sup>2</sup>	767 円	920 円/m	
諸経費	100 %	8,405 円	8,405 円/m	
計			16,810 円/m	

### 【全壊】

溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

費目	数量	単価	金額	備考
購入土	0.60 m <sup>3</sup>	4,000 円	2,400 円/m	農道全壊 
盛土転圧(人力併用)	0.60 m <sup>3</sup>	2,318 円	1,391 円/m	
法面仕上げ	1.7 m <sup>2</sup>	439 円	746 円/m	
表層復旧	4.0 m <sup>2</sup>	1,647 円	6,588 円/m	
上層路盤復旧	4.0 m <sup>2</sup>	810 円	3,240 円/m	
下層路盤復旧	4.0 m <sup>2</sup>	767 円	3,068 円/m	
諸経費	100 %	17,433 円	17,433 円/m	
計			34,866 円/m	

# 一般資産の被害

## 一般資産被害

### (1) 被害の考え方

一般資産被害額の算出については、農地防災事業便覧P284に記載の、「一般資産水害被害率」の表を基に算出する。  
本地区での家屋に関する被災は、地形勾配が1/500以上であるため、水害被害率は「Cグループ」を採用する。

〔一般資産水害被害率〕

資産種類等	浸水深等の規模		床上浸水			土砂堆積(床上)		全壊 (流失)
	床下浸水		50cm未満	50～99cm	100cm以上	50cm未満	50cm以上	
家屋 (木造+ 非木造)	Aグループ	0.03	0.053	0.072	0.117	0.43	0.57	1.0
	Bグループ		0.083	0.126	0.192			
	Cグループ		0.124	0.210	0.330			
家庭用品	—	0.086	0.191	0.366	0.50	0.69		
事業所	償却資産	—	0.180	0.314	0.443	0.54	0.63	
	在庫資産	—	0.127	0.276	0.398	0.48	0.56	
農・漁家	償却資産	—	0.156	0.237	0.311	0.37	0.45	
	在庫資産	—	0.199	0.370	0.510	0.58	0.69	

(注) 1. A, B, Cの各グループ区分は、地盤勾配の区分で、Aは1/1,000未満、Bは1/1,000～1/500未満、Cは1/500以上である。

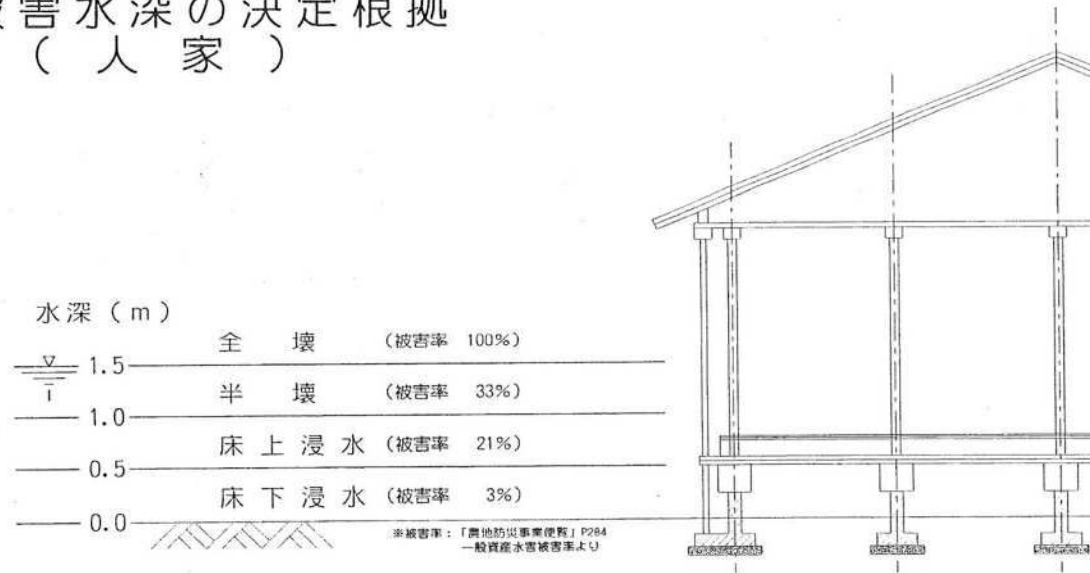
2. 家屋の被害率は、木造、非木造の別の値を合成したものである。

なお、各資産の単位当たり評価額(いわゆる単価)については、「水害統計」を参照されたい。

(2) 一般資産（建築物）被害の考え方

建築物（人家）の被害の考え方は、以下の図のとおりである。

### 想定被害水深の決定根拠 （人家）



※宅地基礎地盤標高は、道路標高と同等と考えられる。つまり、道路における想定被害水深と宅地における想定被害水深は等しいこととした。

また、宅地における床高は「建築基準法」によると地盤より45cm以上と定められていることから、床高を概ね50cm以上とし、床上下浸水の境界とした。

( 復 舊 單 価  
建 築 物 )

建築物復旧単価

【1戸当り評価額】

建築の種類	区分	建築物の数 (棟) A	工事予定額 (百万円) B	1戸当り 工事予定額 (百万円) C=B/A	支出済費用 換算係数 D	1戸当り 工事予定額 (千円) E=C*D	備 考
住 宅	木造					27,100	別紙参照
事 務 所	木造					14,200	〃
工 場	木造					40,500	〃

【被害単価】

建築の種類	区分	単位当り 評価額 (千円)	浸 水 深								備考
			0.5m未満(床下浸水)		0.5~1.0m(床上浸水)		1.0~1.5m(半壊)		1.5m以上(全壊)		
			被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	
住 宅	建物A										
	建物B										
	建物C	27,100	0.030	813	0.210	5,691	0.330	8,943	1.000	27,100	

建築の種類	区分	単位当り 評価額 (千円)	浸 水 深								備考
			0.5m未満(床上浸水)		0.5~1.0m(床上浸水)		1.0~1.5m(半壊)		1.5m以上(全壊)		
			被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	
事 務 所	償却資産	14,200	0.156	2,215	0.237	3,365	0.311	4,416	1.000	14,200	
	在庫資産										

建築の種類	区分	単位当り 評価額 (千円)	浸 水 深								備考
			0.5m未満(床上浸水)		0.5~1.0m(床上浸水)		1.0~1.5m(半壊)		1.5m以上(全壊)		
			被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	被害率	被害額 (千円)	
工 場	償却資産	40,500	0.180	7,290	0.314	12,717	0.443	17,942	1.000	40,500	
	在庫資産										

福井県における用途別・構造別 建築物予定工事費整理表

用途	年度	木造				鉄骨鉄筋コンクリート造				鉄筋コンクリート造				鉄骨造				コンクリートブロック造				その他				
		建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	建築数 (棟)	工事費 (百万円)	換算 係数	1棟当り (千円)	
1 住宅	R.2	2,908	65,548	1.248	28,131	1	39	1.248	48,422	2	165	1.248	102,960	224	10,146	1.248	56,527					201	187	1.248	1,162	
	R.3	3,082	70,855	1.156	26,576	4	3,017	1.156	871,789	10	2,434	1.156	281,359	295	15,925	1.156	62,012					228	279	1.156	1,416	
	R.4	2,865	68,963	1.043	25,106	4	3,059	1.043	797,634	1	35	1.043	36,505	280	14,563	1.043	54,247	1	26	1.043	27,118	243	293	1.043	1,258	
	R.5	2,505	66,563	1.018	27,050	2	29	1.018	14,761	5	3,747	1.018	762,889	207	13,017	1.018	64,016	1	2	1.018	2,036	245	333	1.018	1,384	
	R.6	2,508	71,951	1.000	28,689	1		1.000	1,000	4	1,759	1.000	439,750	164	7,016	1.000	42,780					303	416	1.000	1,373	
	平均				27,100				346,700				324,600				55,900				14,500				1,300	
2 産業用物	R.2	231	5,476	1.248	29,585	2	83	1.248	51,667	16	18,856	1.248	1,470,745	301	42,498	1.248	176,206					31	68	1.248	2,723	
	R.3	222	6,010	1.156	31,295	3	56	1.156	21,386	23	13,544	1.156	680,738	414	60,547	1.156	169,065					53	390	1.156	8,500	
	R.4	219	7,228	1.043	34,424	2	892	1.043	459,963	14	4,284	1.043	319,158	35	61,098	1.043	180,015	5	32	1.043	6,675	36	350	1.043	10,140	
	R.5	238	10,265	1.018	43,907	6	11,397	1.018	1,933,691	26	17,231	1.018	674,660	308	49,077	1.018	162,209	1	3	1.018	3,054	41	97	1.018	2,408	
	R.6	247	9,326	1.000	37,757	5	10,800	1.000	2,160,000	17	9,028	1.000	531,059	338	53,908	1.000	159,491	3	60	1.000	20,000	36	237	1.000	6,583	
	平均				35,300				925,300				735,200				169,300				9,900				6,000	
3 事務所	R.2	61	1,731	1.248	35,424	1	80	1.248	99,840			1.248	48	10,789	1.248	280,509					1	1	1.248	1,123		
	R.3	48	1,047	1.156	25,223	2	1,797	1.156	1,038,666	2	452	1.156	261,256	59	7,708	1.156	151,026					3	69	1.156	26,619	
	R.4	45	1,200	1.043	27,813			1.043		1	25	1.043	26,075	41	4,726	1.043	120,225					1	1	1.043	939	
	R.5	53	1,920	1.018	36,878			1.018				1.018	40	9,768	1.018	248,596								1	1	1.018
	R.6	68	2,246	1.000	33,029	1	5	1.000	5,000	2	406	1.000	203,000	40	13,563	1.000	339,075					1	8	1.000	8,000	
	平均				31,600				381,100				163,400				227,800								9,100	
4 店舗	R.2	14	286	1.248	25,459			1.248		1	660	1.248	823,680	34	5,678	1.248	208,416								1.248	
	R.3	23	620	1.156	31,174			1.156				1.156	44	5,117	1.156	134,442						1	6	1.156	6,520	
	R.4	43	967	1.043	23,455			1.043				1.043	31	4,747	1.043	159,714						2	2	1.043	1,043	
	R.5	21	973	1.018	47,167			1.018				1.018	36	8,354	1.018	236,233									1.018	
	R.6	21	725	1.000	34,524			1.000		2	430	1.000	215,000	34	6,258	1.000	184,059	1	45	1.000	45,000				1.000	
	平均				32,300							519,300				184,500					45,000				3,700	
5 工場	R.2	28	1,096	1.248	48,843			1.248		2	6,424	1.248	4,008,576	61	13,067	1.248	267,347					4	17	1.248	5,210	
	R.3	27	839	1.156	35,909			1.156		2	2,160	1.156	1,248,480	102	18,353	1.156	208,003					13	146	1.156	13,009	
	R.4	21	652	1.043	32,383			1.043				1.043	89	29,596	1.043	346,839	1	2	1.043		2	5	1.043	2,608		
	R.5	13	309	1.018	24,197	2	6,600	1.018	3,359,400			1.018	75	18,280	1.018	248,121									1.018	
	R.6	17	1,042	1.000	61,294			1.000		1	19	1.000	19,000	48	13,413	1.000	279,438	1	10	1.000		2	9	1.000	4,500	
	平均				40,500				3,359,400				1,758,600				269,900								6,300	
6 倉庫	R.2	48	510	1.248	13,267	1	3	1.248	3,494			1.248	62	2,388	1.248	48,070						3	11	1.248	4,455	
	R.3	42	568	1.156	15,646	1	10	1.156	11,560	2	134	1.156	77,452	93	11,350	1.156	141,076						112	1,156	18,479	
	R.4	36	435	1.043	12,603			1.043		4	159	1.043	41,459	81	8,908	1.043	114,704	4	30	1.043	7,823				1.043	
	R.5	36	574	1.018	16,231			1.018		3	1,135	1.018	385,143	59	3,168	1.018	54,661					4	20	1.018	5,090	
	R.6	38	521	1.000	13,711	1	15	1.000	15,000	3	1,842	1.000	614,000	83	7,533	1.000	90,759	1	5	1.000	5,000	9	41	1.000	4,556	
	平均				14,200				10,000				279,500				89,800				6,400				8,100	
7 学校校舎	R.2			1.248				1.248		2	1,616	1.248	1,008,384	4	962	1.248	300,250								1.248	
	R.3	1	15	1.156	17,340	1	33	1.156	38,148	2	850	1.156	491,300	1	30	1.156	34,680								1.156	
	R.4			1.043				1.043		1	1,498	1.043	1,562,414	1	2	1.043	2,086								1.043	
	R.5	1	100	1.018	101,800	1	2,700	1.018	2,748,600	3	515	1.018	174,757	6	678	1.018	115,034								1.018	
	R.6	2	156	1.000	78,000	1	3,200	1.000	3,200,000	1	4,000	1.000	4,000,000	17	1,344	1.000	79,059						36	1,000	36,000	
	平均				65,700				1,995,500				1,447,300				106,200								36,000	
8 病院	R.2	9	482	1.248	66,812			1.248		1	4,273	1.248	5,332,704	2	14	1.248	8,736								1.248	
	R.3	7	423	1.156	69,789			1.156		2	1,088	1.156	628,962	2	1,017	1.156	587,942								1.156	
	R.4	8	252	1.043	32,855	1	847	1.043	883,421			1.043	3	383	1.043	133,156									1.043	
	R.5	9	900	1.018	101,800	1	300	1.018	305,400			1.018	1	60	1.018	61,080									1.018	
	R.6	10	810	1.000	81,000			1.000				1.000	1	25	1.000	25,000									1.000	
	平均				70,400				594,400				2,980,800				163,100									

※この表は建築着工統計調査(国土交通省)から抜粋したものである。

# 一般資産の被害

## 公共資産被害の考え方

### (1) 公共資産被害

施設被害の考え方は、以下のとおりである。

市町村道・県道	半 壊	水深1.0~2.0m
	全 壊	水深2.0m以上

（ 復 旧 単 価  
市 町 村 道 ・ 県 道 ）

## 市町村道・県道復旧単価

### 【半壊】

溢水区域内の復旧は、路肩洗掘（アスファルト舗装）を復旧する費用を見込んだものである。

費目	数量	単価	金額	備考
購入土	0.60 m <sup>3</sup>	4,000 円	2,400 円/m	市道・県道半壊 
盛土転圧(人力併用)	0.60 m <sup>3</sup>	2,318 円	1,391 円/m	
法面仕上げ	1.7 m <sup>2</sup>	439 円	746 円/m	
表層復旧	2.0 m <sup>2</sup>	5,668 円	11,336 円/m	
上層路盤復旧	2.0 m <sup>2</sup>	1,740 円	3,480 円/m	
下層路盤復旧	2.0 m <sup>2</sup>	1,516 円	3,032 円/m	
諸経費	100 %	22,385 円	22,385 円/m	
計			44,770 円/m	

### 【全壊】

溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

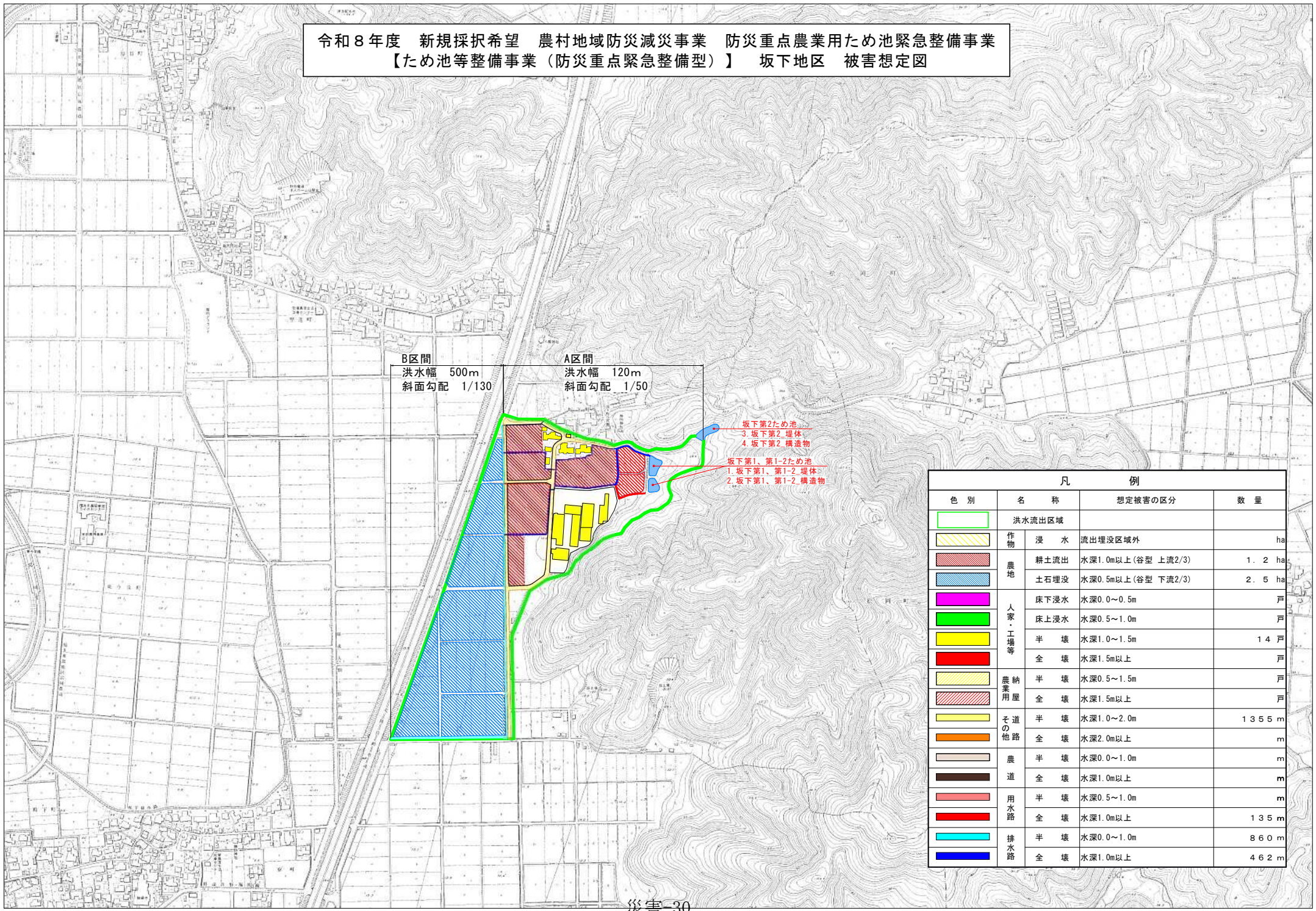
費目	数量	単価	金額	備考
購入土	0.60 m <sup>3</sup>	4,000 円	2,400 円/m	市道・県道全壊 
盛土転圧(人力併用)	0.60 m <sup>3</sup>	2,318 円	1,391 円/m	
法面仕上げ	1.7 m <sup>2</sup>	439 円	746 円/m	
表層復旧	6.7 m <sup>2</sup>	3,922 円	26,147 円/m	
上層路盤復旧	6.7 m <sup>2</sup>	1,740 円	11,600 円/m	
下層路盤復旧	6.7 m <sup>2</sup>	1,516 円	10,107 円/m	
諸経費	100 %	52,391 円	52,391 円/m	
計			104,782 円/m	

# 想定被害額総括表

単位[単価:円, 被害想定額:千円]

種目	区分		数量	単価	被害想定額	算出基礎	種目	区分		数量	単価	被害想定額	算出基礎		
農地	耕地	田	1.2 ha	2,883,800	3,461	谷型:水深1.0m以上, 上流2/3	人家	木造	床下浸水	戸	813,000		水深0.0~0.5m		
		畑	ha						床上浸水	戸	5,691,000		水深0.5~1.0m		
	土石	田	2.5 ha	2,967,800	7,420	谷型:水深0.5m以上, 下流2/3	工場	木造	半壊	7.0 戸	8,943,000	62,601		水深1.0~1.5m	
		畑	ha						全壊	戸	27,100,000		水深1.5m以上		
	埋没	用水路	半壊	m					床上浸水	戸	12,717,000		水深0.5~1.0m		
		(土水路)	全壊	m					半壊	7.0 戸	17,942,000	125,594		水深1.0~1.5m	
	農業用施設	用水路	(コンクリート)	全壊	m	23,030	水深1.0m以上	事務所	木造	床上浸水	戸	40,500,000		水深1.5m以上	
			排水路	半壊	1,322.0 m	15,766	20,843			水深0.0~1.0m	床上浸水	戸			水深0.5~1.0m
		農道	半壊	m						半壊	戸			水深1.0~1.5m	
			全壊	m	34,866			全壊	戸			水深1.5m以上			
農業被害								一般被害 (計)				188,195			
		農業用施設(その他)							公共被害	国道	半壊	m			水深1.0~2.0m
							全壊	m					水深2.0m以上		
	農産物		かんばつ	ha				受益農地のうち次の区域外 流出・浸没・漏水		県道	半壊	1,355.0 m	44,770	60,663	水深1.0~2.0m
			浸水	ha				農地の流出埋没区域外			全壊	m			水深2.0m以上
			流出埋没	ha				農地の流出埋没区域		市道	半壊	m	44,770		水深1.0~2.0m
			納屋	半壊	戸			水深0.5~1.5m			全壊	m			水深2.0m以上
	農機具等	全壊	戸	4,416,000		水深1.5m以上	その他						水深1.0~1.5m		
							公共被害 (計)				60,663				
	家畜							被害額 (合計)				281,109			
牛		頭					人命被害	全壊家屋住人		人					
豚		頭						半壊家屋住人		人					
鶏	羽					人命被害 (計)		人							
農業被害 (計)					32,251										

令和8年度 新規採択希望 農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業  
 【ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）】 坂下地区 被害想定図



B区間  
 洪水幅 500m  
 斜面勾配 1/130

A区間  
 洪水幅 120m  
 斜面勾配 1/50

坂下第2ため池  
 3. 坂下第2堤体  
 4. 坂下第2構造物

坂下第1、第1-2ため池  
 1. 坂下第1、第1-2堤体  
 2. 坂下第1、第1-2構造物

凡 例				
色 別	名 称	想定被害の区分	数 量	
	洪水流出区域			
	作物	浸 水	流出埋没区域外	ha
	農地	耕土流出	水深1.0m以上(谷型 上流2/3)	1. 2 ha
		土石埋没	水深0.5m以上(谷型 下流2/3)	2. 5 ha
	人家・工場等	床下浸水	水深0.0~0.5m	戸
		床上浸水	水深0.5~1.0m	戸
		半 壊	水深1.0~1.5m	14 戸
		全 壊	水深1.5m以上	戸
	農納 業用屋	半 壊	水深0.5~1.5m	戸
		全 壊	水深1.5m以上	戸
	そ道 その他路	半 壊	水深1.0~2.0m	1355 m
		全 壊	水深2.0m以上	m
	農道	半 壊	水深0.0~1.0m	m
		全 壊	水深1.0m以上	m
	用水路	半 壊	水深0.5~1.0m	m
		全 壊	水深1.0m以上	135 m
	排水路	半 壊	水深0.0~1.0m	860 m
		全 壊	水深1.0m以上	462 m

# 年 効 果 額 の 算 定

総合耐用年数算定表

種別	区分 工種等 (施設名)	耐用年数 ① (年)	工事費 ② (千円)	工事費年減価 ③=①*② (千円)
当該事業	坂下第1, 第1-2_堤体	80	66,900	836
	坂下第1, 第1-2_構造物	40	36,600	915
	坂下第2_堤体	80	63,900	799
	坂下第2_構造物	40	17,400	435
	小計	62	184,800	2,985
	その他費用	62	50,000	806
	計	62	234,800	3,791
関連事業				
	小計			
	計			
合	計	62	234,800	3,791

災害防止効果

(1) 災害防止効果

農業資産

(第1表)

区 分		想定被害軽減額 ① (千円)	還 元 率 ②	年 効 果 額 ③=①*② (千円)	備 考
坂下ため池		32,251	0.0439	1,416	
計		32,251		1,416	

一般資産

区 分		想定被害軽減額 ① (千円)	還 元 率 ②	年 効 果 額 ③=①*② (千円)	備 考
坂下ため池		188,195	0.0439	8,262	
計		188,195		8,262	

公共資産

区 分		想定被害軽減額 ① (千円)	還 元 率 ②	年 効 果 額 ③=①*② (千円)	備 考
坂下ため池		60,663	0.0439	2,663	
計		60,663		2,663	

全 体

区 分		想定被害軽減額 ① (千円)	還 元 率 ②	年 効 果 額 ③=①*② (千円)	備 考
坂下ため池		281,109	0.0439	12,341	
計		281,109		12,341	

$$\begin{aligned}
 \text{還 元 率} &= \frac{i \times (1+i)^n}{i \times (1+i)^n - 1} = \frac{0.04 \times (1+0.04)^{62}}{(1+0.04)^{62} - 1} && i = 4\% \\
 &= \frac{0.45512}{10.37803} && n = 62 \text{ 年} \\
 &= 0.0439
 \end{aligned}$$

景觀・環境保全效果

2) 効果算定資料 景観・環境保全効果

①景観・環境保全施設の概要

(第1表)

番号	土地改良施設名	景観・環境保全施設	構造・数量・機能	景観・環境保全施設の事業費 千円	当該土地改良事業				その他事業				維持管理者等	設置理由
					事業費 千円	耐用年数 年	還元率	資本還元額 千円	事業費 千円	耐用年数 年	還元率	資本還元額 千円		
1	坂下第1, 第1-2, 第2	提体・貯水池	個体移動	450,000	450,000	80	0.0578	26,010	-	-	-	-	坂下町	土地改良法の規定による

②景観・環境保全施設の効果額の算定

(第2-2表)

番号	土地改良施設名	世帯当たりWTP ①	受益範囲 世帯数 ②	CVMによる効果額 ③=①×②
		円/世帯・年	世帯	千円
1	坂下第1, 第1-2, 第2	9,422	7	66

※世帯当たりWTP①は別表1により参照

③複数の土地改良施設で同様の水辺環境施設の整備が行われる場合の効果額の推計

(第3表)

番号	土地改良施設名	CVMによる効果額①	水辺環境施設の事業費②	推計効果額 =①×(2番の②÷1番の②) ③
		千円	千円	千円
—	該当なし			

## ④当該土地改良事業の効果額の算定

(第4表)

番号	土地改良施設名	CVMによる効果額 ①	景観・環境 保全施設の 資本還元額 ②=③+④		当該土地改良事業の 資本還元額 ③	その他事業の 資本還元額 ④	当該土地改良事業に おける効果額 ⑤=①×(③/②)
			千円	千円			
1	坂下第1, 第1-2, 第2	66	26,010	26,010	-	66	
	合計					66	

別表 1

大項目	小項目	記載内容	記入欄		係数	計算値	
			a	b			
評価時期	事前	1：該当する 0：該当しない	1	0.00000000	0.00000000	5.6459133	
	実施中		0	0.03743990			0.00000000
	完了後		0	0.30195291			0.00000000
農政局等	北海道	1：該当する 0：該当しない	0	0.00000000	0.00000000	0.00000000	
	東北		0	1.63875630			0.00000000
	関東		0	0.95035273			0.00000000
	北陸		1	1.25223330			1.25223330
	東海		0	2.20112090			0.00000000
	近畿		0	0.84281134			0.00000000
	中国四国		0	1.73799450			0.00000000
	九州		0	0.79031080			0.00000000
	沖縄		0	3.26242500			0.00000000
	工事期間(年数)			数値を記入			3
事業種	かんがい排水	1：該当する 0：該当しない	0	0.00000000	0.00000000	0.00000000	
	防災		1	0.61988055			0.61988055
	農用地整備		0	0.15292345			0.00000000
	用水整備		0	-0.23761544			0.00000000
事業目的	排水整備	1：該当する 0：該当しない	1	-0.29953837	-0.29953837	0.00000000	
	畑地かんがい		0	-0.82812123			0.00000000
	農地整備		0	-0.09118428			0.00000000
	農道整備		0	-0.11538377			0.00000000
受益	受益戸者数(対数)	数値を記入	-4.962	-0.05196849	0.25785960	2.55160714	
	受益面積(対数)		-6.032	-0.42299170			2.55160714
	受益田割合		100	-0.005153129			-0.515312900
事業効果	事業費(対数)	数値を記入	e	-0.799	0.17118938	-0.92785037	
	総費用(対数)		f	-0.829			1.11927590
	事業費(対数)と総費用(対数)の交差	exf(自動計算)	0.662	-0.11420461	-0.07559682		
	作物生産効果(対数)	数値を記入	-6.902	-0.05544990	0.38270263		
保全分類	景観	1：該当する 0：該当しない	0	0.04373118	0.00000000	-0.56631037	
	環境		1	-0.56631037			

別表 1

大項目	小項目	記載内容	記入欄		計算値
			a	b	
対象生物 ※対象は2種まで ※植物を対象としな い	魚類	1：該当する	1	0.76654315	0.76654315
	他動物	0：該当しない	1	0.38990543	0.38990543
	植物		0	1.62309630	0.00000000
景観・環境保全 対象施設	貯水池	1：該当する	1	-0.28139687	-0.28139687
	頭首工	0：該当しない	0	-0.51082080	0.00000000
	用水路		0	-0.37369060	0.00000000
	排水路		0	-0.19410404	0.00000000
	機場		0	0.25825530	0.00000000
	水門		0	-0.15149699	0.00000000
	農道		0	0.31054555	0.00000000
	区画整理		0	0.01862092	0.00000000
	文化・学習		1：該当する 0：該当しない	1	-0.15129909
農業人口割合		割合の数值を記入	3	0.00472961	0.01418883
地域類型1次	都市的	1：該当する	0	0.00000000	0.00000000
	平地	0：該当しない	0	0.47976200	0.00000000
	中間		1	-0.09808757	-0.09808757
	山間		0	1.75476510	0.00000000
地域類型2次	水田型	1：該当する	1	0.00000000	0.00000000
	田畑型	0：該当しない	0	0.54132674	0.00000000
	畑地型		0	0.35286912	0.00000000
合計(i)					9.15079380
予測 一世帯当たりWTP(円/世帯・年) exp(i)					9,422

【参考：対数に変換する計算式】

	ここに入力	計算式
受益者数A	7人	$\text{LN}(A/1000)$
受益面積B	2.4ha	$\text{LN}(B/1000)$
		10億円の対数
事業費C	450,000千円	$\text{LN}(C/1000/1000)$
総費用D	436,497千円	$\text{LN}(D/1000/1000)$
作物生産効果E	1,006千円	$\text{LN}(E/1000/1000)$
		= -4.962
		= -6.032
		= -0.799
		= -0.829
		= -6.902

# 国産農産物安定供給効果



イ 増加供給熱量の算定

(第2表)

地目	作物名	生産増減量		作物別重量 当たり 供給熱量 ③	増加供給熱量		備 考
		再建設整備 ①	新設整備 ②		再建設整備 ①*③	新設整備 ②*③	
田	水稻	t 3.4	t —	千kcal/t 3,040	千kcal 10,336	千kcal —	水稻(飼料用を除く)
	大麦	0.5	—	1,460	730	—	
	きゅうり	0.8	—	240	192	—	果菜類
畑							
合 計					11,258	0	

ウ 国産農産物安定供給効果の総括

(第3表)

効果名	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 ②	単位食料生産額 当たり効果額 ③	単位供給熱量当 たり効果額 ④	当該土地改良事業 における年効果額 ①*③+②*④	備考
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円	
国産農産物安定供給効果 (事業ありせば年効果額)	—	—	49	9.9	—	新設整備
国産農産物安定供給効果 (事業なかりせば年効果額)	864	11,258	49	9.9	154	再建設整備
計	864	11,258			154	

## 別表

## 作物別重量当たり供給熱量

類別	作物名	重量当たり供給熱量 (千kcal/t)	備考
穀類	水稲（飼料用を除く）	3,040	
	小麦	2,610	
	大麦	1,460	
	雑穀	1,810	
	その他の雑穀	2,160	
いも類	かんしょ	1,140	
	ばれいしょ	510	
でん粉	かんしょ	1,000	
	ばれいしょ	710	
豆類	大豆	3,680	
	その他の豆類	3,340	
野菜	果菜類	240	
	葉茎菜類	180	
	根菜類	250	
果実	うんしゅみかん	310	
	りんご	410	
	その他の果実	470	
砂糖類	てんさい	610	
	さとうきび	460	
油脂類	なたね	2,480	
肉類	飼料作物（牛肉（枝肉））	1,580	牛肉（枝肉）の値 飼料用米19kgを牛肉（枝肉）1kgとして換算
	飼料作物（豚肉（枝肉））	1,330	豚肉（枝肉）の値 飼料用米9kgを豚肉（枝肉）1kgとして換算
	飼料作物（鶏肉（骨付き肉））	1,020	鶏肉（骨付き肉）の値 飼料用米4kgを鶏肉（骨付き肉）1kgとして換算
	WCS用稲（牛肉（枝肉））	1,580	牛肉（枝肉）の値 WCS用稲4kgを牛肉（枝肉）1kgとして換算
鶏卵	飼料作物（鶏卵）	1,180	鶏卵の値
牛乳	飼料作物（生乳）	620	生乳の値
	WCS用稲（生乳）	620	WCS用稲3.3kgを生乳1kgとして換算